第5次香芝市総合計画及び第2期総合戦略の進捗管理 (個別事業の方向性の検討)について

1. 進捗管理の方法について

政策・施策及び事業の実施内容について、指標等を用いて客観的に評価することにより、「事業の現状を認識し、課題の発見につなげ、改善案を考える」というPDCAサイクルのもと、毎年度行政評価を実施します。

2. 行政評価のながれについて

以下のとおり、事前記入・事中評価・事後評価の3回実施

6月 <事前記入>

- …「事業の実施計画」および「目標値」の設定
- 目的 事業の位置づけ・目的の確認、実施内容・指標設定の検討
- 6月下旬 都市経営市民会議で報告

10月下旬 <事中評価>

- …3視点評価(必要性・有効性・効率性)による今後の方向性(成果・コスト)の決定
- 目的事業の進捗確認、課題整理・改善点の分析、次年度の事業計画と必要予算の検討
- 11月下旬 都市経営市民会議で審議

|月 <事後評価>

- …事業の実績評価、成果・課題点の分析
- 目的 事業の実績確認、最終的な次年度の方向性の決定
- 2月 都市経営市民会議で審議
- 4月 行政評価の公表(市ホームページ)

3. 評価対象事業について

第5次香芝市総合計画に記載している33の施策、および施策ごとに紐づけた各事業(111事業)を評価対象とします。

◎令和5年度 行政評価 進捗管理シート 目次

	政策	ページ	施策	主な取り組み	事業数
	来を創造する子どもたちのために。	-	妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援	①妊産婦の健康づくりの推進	事第
(-	子育で・教育)			②乳幼児の健康づくりの推進	3 事第
		2	子育て支援の充実	①子育で家庭への支援	2 事第
				②児童虐待防止の推進	事業
1		3	就学前教育・保育の充実	①就学前教育・保育の推進	2事第
				②就学前教育・保育環境の整備	2 事第
		4	学校教育の充実	①字びの推進・又抜 ②安心して学べる教育環境の整備	2 事第
				①地域ぐるみの子ども支援	3 事第
		5	家庭・地域・学校の連携	②青少年の健やかな育成	2 事第
健	速康で自分らしく過ごせる毎日のために。			①総合的な福祉サービスの提供	事第
	(健康·福祉)	6	地域福祉の推進	②地域で支え合う仕組みづくり	事第
(①地域医療体制の充実	事第
		7	医療提供体制の充実	②感染症対策の推進	2 事第
				①健康的な生活習慣の推進	3 事第
		8	健康づくりの推進	②心の健康づくりの推進	2 事第
2				③望ましい食生活の定着推進	I 事業
2				①自立支援・介護予防・重度化防止の推進	事業
		9	高齢者福祉の充実	②日常生活を支援する体制の整備	3 事業
				③介護保険給付の適正化	事美
		10	障がい者福祉の充実	①障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり	事業
		11	生活困窮者支援の充実	①生活困窮者への相談支援・就労支援の充実	事美
誰	もが等しく、生涯輝き続けるために。	1.0	1 佐 夕祥州 5 苗 壬	①人権啓発の推進と学習機会の提供	事
1	人権・協働・文化)	12	人権・多様性の尊重	②男女共同参画によるまちづくりの推進	事
		12	地位フェーニ / の軽光 江州ル	①自治会活動の支援	事
		13	地域コミュニティの醸成・活性化	②市民公益活動団体の支援	事
		1.4	文化芸術の振興・多文化共生	①文化の発信・創造・交流の支援	2 事
3		14	大化芸術の旅典・多文化共生	②多文化理解と国際交流の推進	事
				①生涯学習機会の充実	事
		15	生涯学習とスポーツ活動の充実	②スポーツ活動の充実	事
				③図書館機能の充実	2 事
			歴史文化財の保存と継承・展開	①二上山博物館機能の充実	事
				②文化財の保護・啓発	2 事
	ちの活力と魅力の向上のために。	17	商工業の振興	①企業の活性化	1事
()	産業·観光)			②創業の促進	事
4		18	農業の振興	①農業体制の整備および市内農作物の魅力創造	2 事
		Ιa	観光の振興	①観光情報の発信	事
		17	1000000000000000000000000000000000000	②観光資源の魅力向上	事
ま	まちと人の安全・安心のために。			①災害時緊急体制の確立	2 事
(!	安全·安心)	20	 災害対策の強化	②防災・減災対策の強化	3 事
			7 (2)	③消防団体制の充実	事
5				④自主防災力の向上	1事
		21	 生活安全対策の強化	①防犯意識の向上	事
				②消費者保護の推進	事
		22	交通安全対策の強化	①交通安全対策の推進	3 事
				②交通安全施設の整備	事
	然と調和した快適で便利な暮らしのため 。(自然・環境・都市基盤)	23	環境問題への取り組み強化	①ごみ減量と資源化の推進	事
1	0、日州《水九 即中坐置》			②環境保全対策の推進	2 事
		24	自然環境・景観の保全	①美しい自然環境・景観の保全	4 事
		25	良好な市街地・持続可能な公共交通	①良好な市街地の形成	事
			ネットワークの形成	②持続可能な地域公共交通の確立	事
			生活基盤・地域拠点の整備・機能の	①公園整備の推進	3 事
5		26	充実	②バリアフリー化の推進	3 事
				③地域拠点としての駅周辺整備	事
		27	道路整備の充実	①幹線道路の整備 ②サングが88.25 またかりません。	事
				②生活道路等の安全性の確保	3 事
		28	上水道の基盤強化	①安心、安全、安定した水道の供給	事
				②健全な水道事業の運営	事
		29	下水道の整備	①下水道の整備・更新	事
		29	小足い正開	②水洗化の促進 ③持続的な下水道機能の確保	事
7	マートブフリノか行功率 豊の中 ちゃく			③持続的な下水垣機能の碓休 ①総合計画・総合戦略の進行管理	事
	マートでスリムな行政運営の確立のため (行政経営)	30	行財政運営の最適化	①総合計画・総合戦略の進行官理 ②財政運営の健全化	- +
		30	TO THE DEVIANCE IN	②射 政連 目の 健全化 ③公有財産の維持管理及び活用	事
				③公有財産の維持管理及の活用 ①適正課税の推進および収納(徴収)率の向上	3事
		31	歳入の確保と財源の創出	②財産調査の強化と適正な債権管理	2事
		31	2007 フェンド マン・スコ ペン・スカゴ 山	②財産調査の強化と適正な債権官理 ③自主財源の確保	4
7				③目王財源の確保 ①市政情報の提供と広報力の強化	2 事
		32	情報とICTの利活用	②ICTを活用した業務の効率化・利便性の向上	4
		32	13.16.2.0 197/13/2/13	③情報セキュリティの確保	事
				①適正な人事評価	事
		33	 行政組織の活性化・組織力の強化	②職員研修の推進	事
			II SELVE POPPER TO THE SELECTION OF THE	③効果的な人員配置	2 事
					計

4. 事中評価結果

<3視点評価(所管自己評価)の結果分布>

	低い (0-50点)	やや低い (51-65点)	やや高い (66-85点)	高い (86-100点)
必要性	事業	3事業	49事業	58事業
有効性	事業	8事業	78事業	24事業
効率性	0事業	2事業	61事業	48事業



	「低い」または「やや低い」と 評価された事業				
必要性	4事業	3.6%			
有効性	9事業	8.1%			
効率性	2事業	1.8%			

全||事業

※必要性と効率性で、I事業が重複。

◎必要性が「低い」または「やや低い」と評価された事業

必要性とは・・・

事業開始時と比較して社会環境や市民ニーズの変化に対応しているか、市民や民間企業との役割分担は適正であるかなどの観点から、市が事業を行うことについて妥当であるか。

政策一施策	事業名	必要性の点数	評価に影響した評価項目
I-5	青少年体験交流事業	59点	影響度·主体性
I-5	青少年健全育成事業	59点	影響度·主体性
3-14	文化施設管理·運営事業	64点	量的適正性·主体性
3-15	生涯学習機会提供事業	43点	需要度・影響度・主体性・緊急性

(参考)

影響度・・・市民の生活や市政の満足度への影響(事業を取りやめた場合に影響があるか)

主体性・・・国・県・民間・他の部局等における類似事業の実施状況

量的適正性・・・需要に対する事業の成果やサービスの供給量

需要度・・・事業に対する市民ニーズ

緊急性・・・事業の緊急性

◎有効性が「低い」または「やや低い」と評価された事業

有効性とは・・・

総合計画の体系から、事業の成果とその上位施策の目標達成に結びついているか、目標がどの程度達成されているか。

政策-施策	事業名	有効性の点数	評価に影響した評価項目
I-4	教育相談支援事業	50点	達成度(単年)・達成度(長期)
I <i>-</i> 5	学校・地域パートナーシップ事業	56点	達成度(単年)・達成度(長期)・実現性
2-8	医療費適正化事業	55点	達成度(単年)・達成度(長期)
4-17	企業支援事業	59点	達成度(単年)・達成度(長期)
4-17	創業促進事業	59点	達成度(単年)・達成度(長期)
5-21	防犯意識啓発事業	62点	達成度(単年)・達成度(長期)
6-26	香芝市スポーツ公園整備事業	62点	達成度(単年)・達成度(長期)
6-26	既存道路バリアフリー化事業	55点	達成度(単年)・達成度(長期)
7-32	情報セキュリティ対策事業	64点	達成度(単年)・達成度(長期)

(参考)

達成度(単年)・・・評価指標の単年度目標に対する達成状況

達成度(長期)・・・評価指標の最終目標(R6目標値)に対する達成状況

実現性・・・事業の将来的な理想形や目標とする姿に対する事業の進捗状況

◎効率性が「低い」または「やや低い」と評価された事業

効率性とは・・・

投入したコスト(費用や時間)に見合った成果が上がっているか、実施方法が効率的に行われているか。

政策-施策	事業名	効率性の点数	評価に影響した評価項目
2-9	介護予防支援事業	64点	生産性・コスト効率(人件費)
3-14	文化施設管理·運営事業	56点	生産性・コスト効率(事業費)・事務効率性

(参考)

生産性・・・成果の最大化のための実施方法や手法の工夫(事業の実施方法や内容の見直しによって、さらなる成果の向上を図ることができるか)

コスト効率(人件費)・・・投入コスト(人件費)に対する効率性(成果を維持したまま、人件費をより削減できるか)

コスト効率(事業費)・・・投入コスト(事業費)における効率性(成果を維持したまま、コストがより削減できるか)

事務効率性・・・事務効率向上のための手法の導入(電子化や業務委託等を導入し、業務の効率化を図っているか)

<成果・コストの方向性の各判断における事業数>

◎成果の方向性

	評 価 項 目				
拡充	今年度以上に成果を拡充する場合	22 事業			
現状維持	今年度と同等の成果を維持する場合	89 事業			
縮小	「費用対効果が低い」「市が実施する必要性がない」等の理 由で、事業を縮小する場合	0 事業			
休廃止	「費用対効果が低い」「市が実施する必要性がない」等の理 由で、事業を休止または廃止する場合	0 事業			

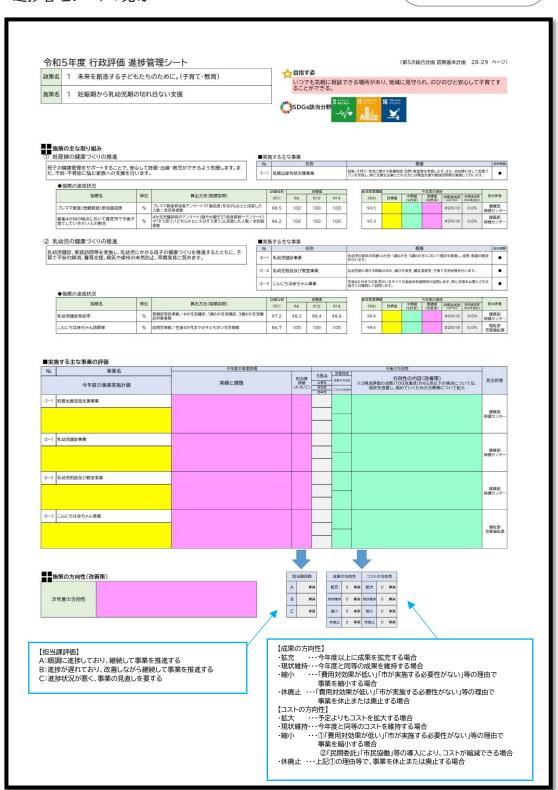
◎コストの方向性

	評 価 項 目	事 業 数
拡大	予定よりもコストを拡大する場合	20 事業
現状維持	今年度と同等のコストを維持する場合	91 事業
縮小	①「費用対効果が低い」「市が実施する必要性がない」等の理由 で、事業を縮小する場合 ②「民間委託」「市民協働」等の導入により、コストが縮減できる場合	0 事業
休廃止	上記①の理由等で、事業を休止または廃止する場合	0 事業

令和5年度行政評価進捗管理シート



<進捗管理シートの見方>



政策名 1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育) 施策名 1 妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援

☆目指す姿

いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、のびのびと安心して子育てすることができる。







■■ 施策の主な取り組み ① 妊産婦の健康づくりの推進

母子の健康管理をサポートすることで、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援します。また、不妊・不育症に悩む家族への支援を行います。

■実施する主か事業

	■大ルダの工み事未							
No.	名称	概要	総合戦略					
⊕-1	妊娠出産包括支援事業	妊娠・子育て・育児に関する各種相談・訪問・教室等を実施します。また、全妊婦に対して支援プランを作成し、特に支援を必要とされる方には電話支援や個別訪問等を継続して行います。	•					

◆指標の達成状況

▼泊切り住成がル						
			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
プレママ教室(母親教室)参加満足度	%	プレママ教室参加者アンケートで「満足度」を80%以上と回答した 人数/全回答者数	98.5	100	100	100
産後4か月の時点において香芝市で今後子 育てしていきたい人の割合	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21奈良県統一アンケート)で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人数/全回答者数	96.2	100	100	100

前年度実績値		今年度の進捗					
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管	
99.1	100	100		0.0%	0.0%	健康部 保健センター	
95.1	100	95.0	·	0.0%	0.0%	健康部 保健センター	

② 乳幼児の健康づくりの推進

乳幼児健診、家庭訪問等を実施し、乳幼児にかかる母子の健康づくりを推進するとともに、子育て不安の解消、養育支援、病気や虐待の未然防止、早期発見に努めます。

	■ 天心り る主な事業						
No.	名称	概要	総合戦略				
⊘−1	乳幼児健診事業	乳幼児の節目の年齢(4か月・1歳6か月・3歳6か月)において健診を実施し、成長・発達の確認を行います。	•				
②-2	乳幼児相談及び教室事業	乳幼児期に関する相談のほか、歯びか教室、離乳食教室、子育て交流会等を行います。	•				
②-3		生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を助産師等が訪問します。特に支援を必要とされる 母子には継続して訪問します。	•				

◆指標の達成状況

			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)		R6	R10	R14
乳幼児健診受診率		各健診受診者数/4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健 診対象者数	97.2	98.2	98.4	98.6
こんにちは赤ちゃん訪問率	%	訪問世帯数/生後4か月までの子どもがいる世帯数	86.7	100	100	100

前年度実績値						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
98.3	99.0	98.2		0.0%	0.0%	健康部 保健センター
99.1	100	99.3		0.0%	0.0%	福祉部

■実施する主な事業の評価

	■大ル9 るエグ 事 未の計画 						
No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			ļ
	7771		担当課	3視点	所管判定 成果の方向性	方向性の内容(改善策)	担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価 (A/B/C)	必要性 有効性		※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	1037116
			(, , _ / ,	効率性	コストの方向性	2017年以上の1月の10年11月の10月が存在して10日の1	
⊕−1	妊娠出産包括支援事業			95	現状維持	・出産・子育て応援事業を活用した、妊娠期からの切れ目のない支援の必要性から、関係部署との連携、専門職(助産師・保健師等)による相談支援体制の役割の明確化を図	
				90		りながら、現状の支援を継続していく。(成果の現状維持) ・前年度と比較し、産後ケア施設は増加しており、適正な事業展開と利用者のニーズに	健康部
	育て応援事業を活用し、妊娠期からの切れ目のない支援体制の充実を図る。 P事業の利用施設の拡充により、住民の利便性及び支援体制の充実を図る。				現状維持	対応しながら、継続的な支援を行う。(成果の現状維持) ・コストの方向性については、現年度に事業を拡充しているため、コストを維持しなが	保健センター
12.07	THE PROPERTY OF THE PROPERTY O			90	現仏能付	ら事業を継続していく。(コストの現状維持)	
⊘−1	乳幼児健診事業			100	現状維持	・母子保健法に基づき乳幼児健診を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなぐとと	
				0.5	-50 0 (1142) 3	もに、乳幼児健診未受診者に対しては、関係機関と連携し、虐待等のリスク評価を実施 し、虐待予防に努めるよう継続支援していく。	健康部
・母子保信	建法に基づく乳幼児健診を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなぐとと 署が必要な乳幼児には個別支援を実施する。			85		・乳幼児健診事業のコストについては、必要な職種・人員で実施しており、現状維持と する。	保健センター
	なが必要は私別だには個別又接を天施りる。 者の現状を確認し虐待の疑いがある場合は、関係部署と連携する。			90	現状維持	(成果の現状維持・コストの現状維持)	
②-2	乳幼児相談及び教室事業			95	現状維持		
						・乳幼児相談や栄養相談、乳幼児に関する各教室にて、専門職が知識の普及や個別相談・指導を行うことで、育児不安の軽減を図り、安心して子育てができることに繋がっ	健康部
	を活かした個別支援や、乳幼児の年齢に応じた保護者に対する集団教室を実		8			ているため、現状の事業を継続実施する。(成果の現状維持) ・各相談・教室の事業のコストについては、必要な職種・人員・消耗品等で実施してお	保健センター
施するこ	とにより、保護者の不安軽減を図る。			82	現状維持	り、次年度も現状維持とする。(コストの現状維持)	
				02			
②-3	こんにちは赤ちゃん事業			100	現状維持		
·利旧のI	 いるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する				200 111111	・出生数の減少に伴い訪問数は減少傾向ではあるが、引き続き全戸訪問を実施し、養育環境の把握・子育で特別の提供を行っていく	
情報提供	いるすべての家庭を訪问し、稼べなべ女や人であかを聞き、子育で文法に関する 等を行う。 い身の状況や養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適			100		育環境の把握・子育て情報の提供を行っていく。 ・訪問の結果、子育な情報の提供を行っていく。 ・訪問の結果、子費が必要な際に、対しては積極的に養育支援訪問を実施し、伴走的 支援を行うことで児輩連合の未然防止を図る。	福祉部 児童福祉課
切なサー	ビスの提供に繋げる。				771 DANIE	文援を行うことで児童虐待の未添防止を図る。 (成果の現状維持・コストの現状維持)	20至1四1匹55
的支援·	育が必要な家庭や児童虐待のリスクの高い家庭に対して、養育支援訪問(専門 家事支援)に繋ぎ、継続した支援を実施する。 否の家庭に対して、4か月児健診で家庭の事情を把握する。			80	現状維持		

■■施策の方向性(改善策)

|--|



担当課評価				
Α	事業			
В	事業			
С	事業			

—										
成果(の方向	性	コストの方向性							
拡充	0	事業	拡大	0	事業					
現状維持	4	事業	現状維持	4	事業					
縮小	0	事業	縮小	0	事業					
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業					

1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育) 政策名 2 子育て支援の充実 施策名

🛖 目指す姿

地域の中で、周りの人々に支えられ、喜びや楽しさを感じながら安心して子育てができている。



■■ 施策の主な取り組み ① 子育て家庭への支援

子育てに関する経済的・精神的な負担や不安を軽減するために、子育て支援拠点の機能の充実、子育て相談、相互協力の仕組みづくり、情報提供、助言等さまざまな取り組みを推進し、一人ひとりのニーズに合ったサービスにつなげます。

■実施する主な事業

	370167*		
No.	名称	概要	総合戦略
⊕−1	地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者がつどえる場を確保するとともに、育児コーディネーターが巡回し、子育 て相談等を行います。また、4か月児への絵本配布(ブックスタート)、相互協力の仕組みづくり (ファミリーサポート)等を行います。	•
①-2	ひとり親家庭相談・支援事業	相談窓口を設置し、助言・支援を行うほか、教育訓練講座の受講及び、資格取得の促進等のため の補助を行います。また、自立支援プログラムを策定して、ハローワークと連携し、就労までをサ ポートしませ、	•

◆指標の達成状況

▼1日15·00 EDX (1/1)									
					目標値				
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14			
3つの子育て支援拠点で開催する行事の参加率	%	参加者数/3つの子育て支援拠点で年1回ずつ開催する行事の定員 総数	72.5	100	100	100			
ファミリー・サポート・センター新規登録者数	人	ファミリーサポートセンターの利用会員・サポート会員の新規登録者数	49	50	50	50			
自立支援プログラム策定により就労につな がった割合	%	就労につながった件数/就労を目標とした自立支援プログラムの策 定件数	0	100	100	100			

前年度実績値		今年度の進捗								
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管				
93.9	100	86.1		0.0%	0.0%	福祉部 児童福祉課				
43	75	32		0.0%	0.0%	福祉部 児童福祉課				
0	50	0		0.0%	0.0%	福祉部 児童福祉課				

② 児童虐待防止の推進

香芝市要保護児童対策地域協議会が中心となり、関係機関と連携して、児童虐待の未然防止、 早期発見に努めます。また、相談窓口について広く周知し、地域全体で児童虐待を見逃さない 取り組みを進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1		関係機関連携のもと、支援検討会議等を実施。対象児童の支援ブランを作成し、継続した訪問等 の支援を行います。	•

◆指標の達成状況

▼ 10 13(•)						
II-III-I-		算出方法(指標説明)			目標値	
指標名	単位			R6	R10	R14
児童虐待防止の啓発回数		広報誌等による啓発回数	14	15	15	15
児童虐待終結率		香芝市要保護児童対策協議会において終結と判断されたケース/虐待として管理しているケース	61	70	70	70

前年度実績値						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
31	31	7		0.0%	0.0%	福祉部 児童福祉課
54	65	20		0.0%	0.0%	福祉部

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	
INO.	争未有		担当課	3視点	所管判定 成果の方向性	方向性の内容(改善策)	担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価 (A/B/C)	必要性 有効性	コストの方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	123/116
①—1	地域子育て支援拠点事業			効率性 100	拡充		
し、楽しく ・つどいの る。委託事 ・つどいの 周知を行				85	ШАЭС	・令和6年度に設置されるこども家庭センターを補完するため、子育て世帯の身近な相談場所である「地域子育て相談機関」の整備に努める。これに伴い、育児コーディネーター(専門職)による巡回相談を従来の月各3回から4回に増加させるため、成果及びコストが拡大となる。(成果・コストの拡大)・またファミリー・サポート・センター事業において、令和6年度より新たに自家用車を	福祉部 児童福祉課
い、生後6 もらい、子 ・子育て支	は赤ちゃん訪問で、"きっきひろば"が開催するベビーブログラムの周知を行 がり見未満の親子に参加してもらうことで、仲間作りと親子の絆を深めて F育て期の孤立と児童虐待の未然防止を図る。 支援情報を5月号の広報紙で特集し、周知を行う。 タート事業で、調整会議を年2回開催し、支援状況の把握をする。また、ホー					活用した送迎を開始し、乳幼児の送迎をより安全かつ広域的に行えるようにする。(成 果・コストの拡大) ・子どもの居場所づくり事業では、6名の講師と12名の児童で本年度より事業を開始 した。その後、児童の学習ニーズに対応するため講師を1名増員し、不登校児童の新規 利用も増えた。年間を通じて安定して連営が出来ており、引き続き事業を実施してい	
ムスタート・妊婦を対及び親サポーに、どものというという。 ・対域が孤立い、新規サポーに、そどもの 及び不登	事業を利用した保護者の効果を委託事業者に報告させる。 対象に子育て応援調座を開催し、地域の子育で情報を伝え、産後の育児不安 の予防に繋げる。 ボーターを増やすため、サポーター養成講座を2回開催する。また安全のため ーターと一緒に育児アドバイザーが送迎ルートの確認を行う。 の居場所事業「たんぽぼ教室」を毎週土曜日に開催し、生活困窮世帯の子ども 校・引きこもり状態にある子どもに居場所を提供するとともに、学習及び精 援を行う。			75	拡大	<.	
①-2	ひとり親家庭相談・支援事業			90	現状維持		
は、相談さ	度手当現況届提出時に就労状況の確認をし、求職中であるなど未就労の場合 支援を行う。 度手当現況届提出時にひとり親支援事業についてのチラシを配布し、制度の る.			77		・現況届提出時の案内や広報により、ひとり親家庭に対して引き続き自立支援制度の周知を行い、利用の促進を図る。(成果・コストの現状維持)	福祉部 児童福祉課
·未就労の	D方は、自立支援プログラム策定で、就労支援を図る。 HPなどでひとり親家庭支援に関する制度の周知、啓発をする。(広報紙掲載8			82	現状維持		
②-1	家庭児童相談・支援事業			100	拡充	・子育て世代包括支援センター(母子保健)と子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)の機能を維持した上で、全ての妊産婦、子育て世帯・子どもハー体的に相談支援を実施	
回覧を依頼センター	特防止啓発として、8月に自治会約2500の班に対して児童虐待のチラシの頼する。11月にはオレンジリボンキャンペーンに参加し、啓発のぼりを総合福・、市役が、保健センターに設置、啓発グッズの配布を行う。また、市民がメッ記入して参加できるオレンジリボンツリーを総合福祉センター等に設置する。			85		する機関である「こども家庭センター」を令和6年度に設置する。 ・「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」に基づき、子どもの育ちを把握 し、支援が必要な家庭に介入することを目的に、地域とつながりのない未就園児の子 どもを対象として家庭訪問を令和6年度より新たに実施する。(概ね2歳児を対象、約	福祉部
月間中、市 ・民生委員 ・広報紙(市職員のオレンジリボンの着用を依頼する。 員・教職員に研修会を実施する。 10月号∫に「子育て支援と児童虐待」の特集を掲載する。					300世帯)これに伴い、会計年度任用職員(保育士等)を増員するため、成果及びコストが拡大する。 ・11月のオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンについても、こども家庭庁が 掲げる「こどもまんなか」にちなんだイベント(オレンジリボンのフォトスポットとオレン	児童福祉課
会議:1回・健康かる 護児童等 を図る。	R童対策地域協議会の代表者会議:1回/年、実務者会議:3回/年、支援検討 //迦を開催し、各支援機関の参加を促し、他機関・多職種連携を図る。 5てに要保護児童対策地域協議会における管理ケースを入力し、厚労省要保 に関する情報を共有システムに定期的にアップロードすることで、情報連携 長かるてにて、保健センターとの連携の強化に努める。			74	拡大	ジリボンツリー設置)を実施し、市民が関心を寄せる啓発活動を引き続き行う。	

■■ 施策の方向性(改善策)



担	当課語	平価
Α	0	事業
В	0	事業
U	0	事業

成果の	の方向	性	コスト	の方向	句性
拡充	2	事業	拡大	2	事業
現状維持	1	事業	現状維持	1	事業
縮小	0	事業	縮小	0	事業
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業

1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育) 政策名 3 就学前教育・保育の充実 施策名

☆ 目指す姿

子どもたちが、安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けている。











■■ 施策の主な取り組み ① 就学前教育・保育の推進

幼稚園・保育所・認定こども園が連携し、健やかな育ちを保障する質の高い教育・保育を行うとともに、仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実を図ります。また、今後の子どもの人数の推移に合わせ、効果的・効率的な運営を推進します。

■実施する主な事業

	5 7 O T O T A		
No.	名称	概要	総合戦略
⊕−1	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	延長保育や預かり保育などの保育サービスの実施、小規模保育施設の新設や市立幼稚園の認定 こども園化による保育利用枠の拡大、3年保育の拡充を進めます。また、園庭の開放や未就園児 との交流等、地域の子育でをサポートする事業を実施します。	•
①-2	特別保育等補助事業	私立の保育施設が行う園の整備や延長保育・一時預かり・病児保育など多様な保育サービスに 対して補助を行います。	•

◆指標の達成状況

			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
保育所等の待機児童数	人	4月1日時点の保育所等利用待機児童数(厚生労働省の要領による)	0	0	0	0
保育サービスの実施数	事業	4月1日時点において市立及び私立保育所・幼稚園・認定こども園で 実施している延長保育・病児保育・一時預かり事業(一般型/幼稚園 型)の数	46	49	51	51
認定こども園の設置数	施設	4月1日時点の市内の認定こども園数(累計)	9	11	12	13

則中度美績値			今年度の進捗	7		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
0	0	0		0.0%	0.0%	福祉部 保育課
51	53	55		0.0%	0.0%	福祉部 保育課
10	10	10		0.0%	0.0%	福祉部 保育課

② 就学前教育・保育環境の整備

子どもたちが安全・安心、快適に過ごせるよう、施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、時代のニーズに応じて施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
⊘−1	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備 事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を行います。また、状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行います。	•

◆指標の達成状況

			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
保育所・幼稚園・認定こども園施設の長寿 命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2年度からの累計)	0	3	5	5

前年度実績値			今年度の進捗	7		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
1	1	0		0.0%	0.0%	教育部教育総務課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	
INO.	学来石 今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性	所管判定 成果の方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
			(A/B/C)	効率性	コストの方向性	現状を以善し、高めていくための方束寺にプいて記入	
⊕−1	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業			90	現状維持	・評価指標は達成できる見込みであるため、成果・コストともに現状維持とする。	福祉部
	『も園新設に係る市場調査 『・預かり保育等の保育サービスの実施			90		・評価指標は達成できる見込みであるため、成果・コストともに現状維持とする。 ・令和6年度以降、公立園を認定こども園等の保育施設に一本化し、民営化するための 業所に取り掛かるため、そのための予算措置は必要と考えられるが、「公立幼稚園及 び公立保育所の再編等に関する基本方針」に則ったものであるため、成果・コストとも に拡充とはしない。	保育課教育部
·園庭開加	x、未就圖児との交流などの地域の子育てサポートの実施			72	現状維持	に加力でにはしつます。	こども課
①-2	特別保育等補助事業			80	現状維持	- 評価指標は達成できる見込みであるため、成果・コストともに現状維持とする。 ・民間保育所等保育士確保対策について、民間園の保育士が増える見込みであり、そ の分の米年度の補助額が増えるため、予算措置は必要と考えられるが、受動的な理由	
チャウル	保育施設が行う園の整備や延長保育・一時預かり・病児保育など多様な保育			85		民間時代所得を得る「職業別によい、これでは、 の分の第年度の補助額が増えるため、予算措置に必要と考えられるが、受動的な理由 であるため、拡充とはしない。 ・民間保育所等保育士権保対策については、この施策によって民間保育施設において	福祉部 保育課
サービス	ド月旭以が引り国の走場で延迟保育では「現がりが成儿保育などがな保育」 こ対する補助の実施 『所等保育士確保対策の実施				現状維持	・民間保育所等保育士確保対策については、この施策によって民間保育施設において 保育士が確保できたかどうか、効果測定する必要がある。	体 月麻
DOING	11) 4 M B T I E W V J W V V III			100			
②-1	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業			95	現状維持		
·認定こと	でも園三和幼稚園公共下水道接続工事 (現存所 見まる)(大工事 (2) (2)			75		・真美ヶ丘保育所長寿命化工事についてR5~R6で工事施工を実施している。 ・老朽化している施設、設備の更新、施設整備などを順次実施する。	教育部 教育総務課
・遊具改修	:保育所長寿命化工事(2カ年) 第15 在位堂幼、路ご園下田幼、若葉保) 11 保育所・認定ことも園施設改修工事				現状維持	・個別計画の更新を行いながら、計画を実施していく。	我目総務課
•各幼稚園	N'休月灯' 認定ことも園池改成1914年 N'保育所・認定こども園遊具整備工事			85	シロング小田1八		





■■施策の方向性(改善策)

|--|

担	当課語	平価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業

成果(の方向	性	コストの方向性				
拡充	0	事業	拡大	0	事業		
現状維持	3	事業	現状維持	3	事業		
縮小	0	事業	縮小	0	事業		
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業		

政策名 1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育) 施策名 4 学校教育の充実

☆目指す姿

すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。









■■ 施策の主な取り組み ① 学びの推進・支援

一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことで、学ぶ意欲と確かな学力を身に付け、未来を担う子どもたちを育成します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	学力向上推進事業	知・徳・体のバランスの取れた教育内容(誘書活動、外国語教育、遠徳教育、体力向上等)の充実 を図り、学ぶ楽しさと分かる喜びが実感できる授業の創造に向けて、教職員の資質向上を進め ます。	•
①-2	教育相談支援事業	一人ひとりに応じた学習環境(特別支援教育・教育相談)を提供します。また、福祉等の関係機関と連携して、いじめの防止や不登校児童生徒の支援に取り組むなど、きめ細かな教育を進めます。	•

◆指標の達成状況

7 374 1375 7 227 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7			計画当初			
14 T O		AMALA I AL CHETTENAN			目標値	
指標名	単位 算出方法(指標説明)		(R1)	R6	R10	R14
学校に行くのが楽しい子どもの割合	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で「楽しいと思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	84.0	84.4	84.8	85.2
国語・算数(数学)の勉強が好きな子どもの 割合	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で「好き」どちらかと言えば好き」と回答した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	62.0	64.0	66.0	68.0
国語・算数(数学)の平均正答率	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で問題に正解した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	65.0	67.0	69.0	71.0
児童・生徒のICT活用を指導する能力	%	学校における教育の情報化の実態等に関する調査(文部科学省)で 指導する能力4項目に対して「できる」「ややできる」と回答した教員 数/全回答者数(市内小中学校教員対象)	56.0	61.0	66.0	67.0

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
83.0	84.0	80.9		0.0%	0.0%	教育部 学校支援室
<u>56.0</u>	63.0	55.6		0.0%	0.0%	教育部 学校支援室
62.0	66.0	63.0		0.0%	0.0%	教育部 学校支援室
86.3	90.0	-		0.0%	0.0%	教育部 学校支援室

② 安心して学べる教育環境の整備

児童生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう、学校施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
⊘−1	小学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各小学校施設の状況に応して修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	•
②−2	中学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各中学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	•

◆指標の達成状況

▼ 1日1ボックを上みれてかし						
	単位 算出方法(指標説明)		計画当初		目標値	
指標名			(R1)	R6	R10	R14
小学校・中学校施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2年度からの累計)	0	0	10	19
学校トイレの洋式化	%	トイレの洋式化改修工事が完了した便器数(累計)/改修工事対象便 器総数	39.2	68.4	93.0	99.5

前年度実績値						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
0	1	0		0.0%	0.0%	教育部 教育総務課
59.1	65.2	65.2		0.0%	0.0%	教育部教育総務課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			
IVO.	今年度の事業実施計画	実績と課題 実績と課題 (A/		3視点 必要性 有効性		方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
			(7 (7 15 7 15 7	効率性	コストの方向性	がんで以替び、同めていてための力を守について記入	
	学力向上推進事業 変によるアドバイザリー訪問の実施			90	現状維持	【成果の方向性】 教員の資質向上については、学校支援室主催の研修講座やアドバイザリー訪問によ	***
·学校支持 ·若手教員	爰室による教員研修講座の実施 員支援プログラムによる教科指導力、生徒指導力等の充実			70	現状維持	り、一層質の高い教育を行えるように取組を続けていく。また、児童生徒のニーズに 合った図書を充実させ、読書活動の効果を高める。 【コストの方向性】	教育部 学校支援室
外国語技学校図書	旨導助手による英語教育 書の整備及び児童生徒の読書習慣の確立			77	現仏維持	現状の予算を有効に活用できるようにこれまでの執行や予算要望を精査していく。	
①-2	教育相談支援事業			100	拡充	【成果の方向性】 いずれの事業も、今後も継続していく必要がある。不登校や子どもの発達に悩みを抱 えている保護者は増加傾向にあるため、カウンセラーの配当時間数を増やす。(525	
	下登校等対応委員会の開催 ※及び就学指導委員会の実施			50		時間→555時間)また、学校や保護者の相談を受け、必要に応じて関係機関と連携を 引き続き図るとともに、不登校等相談員を新たに配置し相談支援を拡大していく	教育部 学校支援室
・スクール	が及りが子目等を見ないそル カウンセラーの配置 見童生徒を対象とした支援スタッフの派遣			95	拡大	「コストの方向性」 相談は増加傾向にあり、カウンセリングの受入れに応じることができない状況である。 成果の方向性に記載したように、スクールカウンセラーおよび不登校等相談員の予算 を拡大する。	
⊘−1	小学校施設維持管理事業			95	現状維持	二上小学校長寿命化改修工事をR5~R7で実施。	
・二上小学・関屋小学	学校長寿命化改修工事 学校トイレ改修工事(前年度繰越事業)]		75		下田小学校長寿命化改修工事に伴う設計業務について、現在設計中であり、来年度工事施工を予定している。	教育部 教育総務課
·下水道技 ·下田小学 ·各小学材	き続工事(三和小、鎌田小)(前年度繰越事業) 学校長寿命化改修工事に伴う設計業務委託 交改修工事等 交遊具整備工事			85	現状維持	- 老朽化している施設、設備の更新、施設整備などを順次実施する。 個別計画の更新を行いながら、計画を実施していく。	我 目标约 加
②-2	中学校施設維持管理事業			95	現状維持		
・香芝中等	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			75		香芝中学校トイル改修工事(II 押)については、完了。 老朽化している施設、設備の更新、施設整備などを順次実施する。 個別計画の更新を行いながら、計画を実施していく。	教育部 教育総務課
	交改修工事等			85	現状維持	昭の38 國心実制で13 いらかつ、8 國で夫が50 (しい 、。	

■■ 施策の方向性(改善策)

|--|





成果の	の方向	性	コストの方向性							
拡充	1	事業	拡大	1	事業					
現状維持	3	事業	現状維持	3	事業					
縮小	0	事業	縮小	0	事業					
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業					

1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育) 政策名 5 家庭・地域・学校の連携 施策名

☆目指す姿

地域ぐるみで子どもを育て、教育するという意識が共有されており、地域の大人に見守られて子どもがいきいきと活動している。



施策の主な取り組み ① 地域ぐるみの子どもの支援

経験や専門性をもった地域の人材の参画を進め、家庭と地域と学校が効果的に連携を取り合い、地域ぐるみの教育力向上に取り組みます。また、児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるような居場所づくりを進めます。

■実施する主な事業

	りの工の子木				
No.	名称	概要			
⊕-1		既存の地域力を集約し、学校支援につなげる人材としてコーディネーターを配置し、地域ぐるみの学校づくりを行います。また、児童の体験・交流活動を行う放課後子ども教室や、生徒の通常 学習の補完的な役割としての学習支援等を行う地域未来塾を実施します。	•		
⊕−2	学童保育運営事業	学童保育所で安定した保育を提供できるよう、指定管理者制度による効果的・効率的な運営を 行います。また、保育ニーズに合わせて、小学校の余裕教室等を活用した入所定員枠の拡充を図 ります。	•		
①-3	学童保育所施設維持管理事業	今後の児童数の増減、多様化するニーズに対応した施設の整備及び維持・管理を行います。	•		

◆指標の達成状況

▼1日1示りたり入れ						
	指標名 単位 算出方法(指標説明)		計画当初		目標値	
指標名			(R1)	R6	R10	R14
学校・地域パートナーシップ事業地域ボラン ティア参加者数	人	学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア年間延べ参加者 数	35,695	36,000	38,000	40,000
学童保育所の待機児童数	人	5月1日時点の待機児童数	6	0	0	0

前年度実績値		今年度の進捗						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管		
35.021	35,500	1		0.0%	0.0%	まなび推進局 生涯学習課		
0	0	0		0.0%	0.0%	福祉部 保育課		

② 青少年の健やかな育成

青少年の社会性の萌芽や新たな気付き、地域の魅力発見につながる機会の創出、また地域・家庭・学校・行政等が連携して青少年の健全育成に資する環境づくりを進めます。

■実施する主な事業

	3 7 0 1 6 7 7		
No.	名称	概要	総合戦略
@-1	青少年体験交流事業	子どもフェスティバルのほか、自然体験・生活体験など年間を通じて各種イベント・講座等を開催します。	•
②−2	青少年健全育成事業	「	•

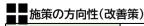
◆指標の達成状況

			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)		R6	R10	R14
青少年交流事業参加者数	人	人 子どもフェスティバル及び青少年指導員協議会等による体験学習の 参加者数		2,500	2,500	2,500
「少年の主張」作文参加割合	%	「少年の主張」作文応募者数/対象学年総数(小学校5・6年生及び中学校1・2・3年生)	83.8	84	85	86

前年度実績値		今年度の進捗						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度(当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管		
54	2,500	62		0.0%	0.0%	まなび推進局 生涯学習課		
84.0	85	81.2		0.0%	0.0%	まなび推進局生涯学習課		

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			
110.	ナベロ		担当課	3視点	所管判定 成果の方向性	方向性の内容(改善策)	担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価 (A/B/C)	必要性 有効性		※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	프크NE
				効率性	コストの方向性	SINCE SCIENCE CO. CO. CO. CO. C.	
①—1	学校・地域パートナーシップ事業			72	拡充	【成果の方向性】 本事業は子どもたちの健やかな成長を「学校と地域」一丸となって支える仕組みを整えていくことが目標であり、重要な事業として位置づけている。それを支える地域学校 協働活動推進員は昨年より2名増え、より地域に根さした活動を行う環境が整いつつ	
中学校区 年3回×4 ・地域学村	交協働活動推進員会議			56		ある校区もあるが、一方で不在の校区もあり、課題となっている。引き続き推進員を 全校区に配置できるよう取り組みを進め、地域と学校が一体となり子結ちを支える環 境作りを行っていく。 放課後子ども教室は市内10小学校中7校で、今年度3年ぶりに開催することができ、 冬学校にネルフ学校では学ぶことができない体験を、地域のスタッフにより提供した。	まなび推進局 生涯学習課
ら、地域で ・放課後 9~2月の	会議を開催し、地域学校協働活動推進員との情報共有、意見交換を図りなが での活動状況を把握する。 子ども教室 の間に、月2~3回の教室を市内小学校8校で開き、スタッフ募集やスタッフ会					各学校において学校では学ぶことができない体験を、地域のスタッフにより提供いた だいている。地域未来塾についてもコロナ禍明けで通常の運営が可能となっている。 両事業とも子ともたちの成長を地域が支える重要な事業であるため、今後も改善を行 いながら事業の拡大を図っていく。 [コストの方向性]	工准于自际
・地域未列 市内4中 を図る。 ・地域学校 地域学校	者募集などを図る。 来塾 学校において、長期休暇中の学習支援を行うため、学校やスタッフとの調整 対協働活動に係る研修会 協働活動推進員や学校関係者、教育委員会関係者との本活動に係る意識の 学校での活動内容の情報共有を図るため、年2-3回の研修会を開催する。			87	拡大	地域学校協働活動事業は地域からの要望やニーズが複雑・多様化しており、コスト・業務量の増大が予想される。放課後子ども教室、地域未来塾協力者への謝礼は最低資金の上昇を受け、拡大を図る。	
①-2	学童保育運営事業			67	拡充	・現状の学童保育所における待機児童はO人であるが、児童数の多い校区では学童保育所への入所児童数も多く、次年度は定員数を増員するため、拡充とする。	
・小学校の	の余裕教室の活用による入所定員枠の拡充	による入所定員枠の拡充		90		・現在、公立小学校の余裕教室を活用できないか、小学校側と交渉中であるほか、余 裕教室のない小学校区の場合は、通学路近辺で空き店舗等を探す必要がある。	福祉部 保育課
	がにおよるがたな学童保育所の拠点となり得る場所の調査			90	拡大	・場所が確保できれば学童保育所として整備が必要となってくるため、予算措置が必要となる。	
①-3	学童保育所施設維持管理事業			80	現状維持	・評価指標は達成できる見込みであるため、成果・コストともに現状維持とする。 ・令和6年度以降、下田学童保育所を修繕する予定であり、そのための予算措置は必	1-11-4 0
·学童保育	育所施設における修繕業務の準備			77 85	現状維持	要と考えられるが、「香芝市個別施設計画、第1期アクションプラン(2017~2026)」内に記載されている中規模修繕に則ったものであるため、成果・コストともに拡充とはしない。	福祉部 保育課
②-1	青少年体験交流事業			59		【成果の方向性】 子どもフェスティバルは「個別事業の方向性」で示されたとおり、ふれあいフェスタと	
.ヱν±=	 				現状維持	の統合等を図ることで、コスト削減を図るだけでなく、より一体的なイベントとして、市 民の満足度の高い実施を目指す。	
青少年の 育関係団	体験の機会を創出するため、ふれあいフェスタと同日開催(11/5)で、社会教 体と連携のもと、子どもフェスティバルを開催する。事前準備として、内容の るための会議を3回程度開催。			72		然体験活動等を行う機会が減少している。こうした時代だからこそ、自然や人と係わり、様々な体験を通し子どもたちの健全な育成を目指すことについては、重要性と	まなび推進局 生涯学習課
·青少年的	建全育成協議会 体験学習委員 体験学習(共催) 各種体験の機会を創出するため、年3回程度、野外体験や工作体験の機会を			72	現状維持	ニーズは増しているため、引き続きニーズに即した様々な事業を行っていく。 【コストの方向性】 コストを維持しながら、内容の充実を図っていく。	
②-2	青少年健全育成事業			59	現状維持	【成果の方向性】	
青少年の報の確認	礼・夜間巡視、県警合同立入調査 非行防止、被害防止を図るため、祭礼や店舗における夜間巡視、また有害情 のための店舗への立ち入り調査を行う。			75		本事業は、青少年の非行防止や被害防止を目的としており、重要な事業である。時代 の変化に伴い青少年が非行や犯罪に巻き込まれるケースが多様化していることから、 これまで行ってきた事業を継続しつつ、時代に即した事業を展開していく。	まなび推進局 生涯学習課
・「少年の 市内全学 し、少年が ・強調月間 青少年の	主張 (作文コンクール、市民集会 校に対し、秋ごろに少年の主張作文の募集を行い、12/2に市民集会を開催 が社会や未来に対し、意見等の発表を行う機会を設ける。 聞(7月、11月)啓発活動 非行防止、被害防止を図るため、各種啓発物品の作成を行い公共機関で配 ともに、垂れ幕の掲示を行う。			72	現状維持	【コストの方向性】 コストは維持しながら、様々な手法を取り入れ、時代に即した事業を展開していく。	<i>⊥/</i> ⊑ J ⊟M





担	当課語	平価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業

成果(の方向	性	コストの方向性					
拡充	2	事業	拡大	2	事業			
現状維持	3	事業	現状維持	3	事業			
縮小	0	事業	縮小	0	事業			
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業			

2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉) 政策名 6 地域福祉の推進 施策名

☆目指す姿

多様な主体による地域福祉活動が活発に取り組まれており、地域で互いに支え合いながら安心して暮らすことができている。



施策の主な取り組み ① 総合的な福祉サービスの提供

市民が必要な情報を取得することができ、また安心して福祉サービスを利用することができるように香芝市総合福祉センターを福祉サービスの総合的な拠点として維持・運営します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
⊕-1	総合福祉センター管理運営事業	総合福祉センター施設の維持管理、貸室(全8室)の利活用の促進、かしば・屯鶴峯温泉の運営を 行います。	•

◆指標の達成状況

指標名		単位 算出方法(指標説明)			目標値	
				R6	R10	R14
総合福祉センター貸室の利用率		年間稼働枠数/年間利用可能枠数	50	55	60	65
総合福祉センターサービス提供満足度		施設に関するアンケートで「満足」と回答した人数/全回答者数(センター来訪者対象)	_	70	80	90

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
35	50	38		0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課
83	85	_		0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課

② 地域で支え合う仕組みづくり

地域住民の交流を促進するとともに、地域福祉を担う団体等を支援することで、地域の多様な 主体により生活課題・福祉課題を解決するための支援が包括的に提供される仕組みづくりを進 めます。

■実施する主な事業

②一1 地域福祉推進事業 市内各地域にふれあいいきいきサロン等の活動組織を設置します。また、ボランティア活動の推進及び民生委員・児童委員や保護司等の支援を行い、各関係団体、組織間の連携を図ります。	総合戦略	概要	名称	No.
	推	市内各地域にふれあいいきいきサロン等の活動組織を設置します。また、ボランティア活動の推進及び民生委員・児童委員や保護司等の支援を行い、各関係団体、組織間の連携を図ります。	地域福祉推進事業	⊘−1

◆指標の達成状況						
lie i w		About 1 N / (Males - Man)	計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
地域福祉計画目標達成率	%	各事業の評価指数の合計/各事業の評価指数の最大値の合計	70	80	85	90
小地域福祉活動実施地域	%	地域福祉推進委員会又はふれあいいきいきサロンが設置されている地域数(累計)/設置対象地域数(全47地域)	68.0	78.7	89.3	100.0

則中度美績値		今年度の進捗						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管		
78	80	80 –		0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課		
65	72	68		0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課		

■実施する主な事業の評価

	他9 る土は争未り計画						
No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	
今年度の事業実施計画		- 実績と課題 第 (A/		3視点	所管判定成果の方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
	/一人・デスルの1日	(A		有効性 効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
⊕−1	総合福祉センター管理運営事業			90	現状維持	######################################	
· 企議 安	等の貸館業務(委託)	等符(委託)		72		総合福祉センターは、市民の福祉及び健康の増進を図るとともに、世代間のふれあい と憩いの場となる施設である。 数値化できない効果も含め、必要性・有効性が高い事業を実施しており、運営状況を	
·屯鶴峯	温泉の運営業務(委託) 蕭の維持管理業務			100 現状維持		鑑みながら次年度も引き続き事業を実施していく。	
	T						
2-1	地域福祉推進事業			90	現状維持	第つ担手を主事を持ちいると思いませた。	
・社会福祉協議会や各種ボランティア団体との連携による各種イベントの実施				80		第3期喬芝市地域福祉計画の進捗状況は順調に推移している。 ポランティアフェスティバルなど当該事業は引き続き実施していくが、社会福祉協議 会を中心とした小地域福祉活動については担い手不足などが課題となっているため、	福祉部 社会福祉課
	ハフェスタ、ボランティアフェスタ等での開催) 員に対する研修会を通じた、地域福祉に関する周知啓発			770	現状維持	目標の達成に向けた取り組みの見直しを含めた対応策を検討していく。	
				72			





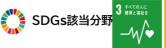


■■施策の方向性(改善策)

2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉) 政策名 施策名 7 医療提供体制の充実



すべて の世代が、かかりつけ医を持ち、適切な時期に適正な医療を受診することができる。





施策の主な取り組み1 地域医療体制の充実

市民が必要な時に適切な医療を受けることができるよう、在宅医療の推進、救急医療体制の確保、市医師会・県・近隣市町村等との連携強化を進めます。また、市民への周知・啓発を図ります。

■実施する主な事業

[No.	名称	概要	総合戦略
	⊕-1	夜間休日応急体制充実事業	葛城地区3市1町と病院で連携し、休日・夜間の診療所運営や二次救急輪番体制実施します。また、救急医療の仕組みやかかりつけ医等に関する啓発活動を行います。	•

▲指標の達成状況

▼拍信の連成れ流						
N. (1		計画当初		目標値		
指標名	単位	算出方法(指標説明)		R6	R10	R14
二次救急の応需率	%	受け入れた件数/受け入れ要請件数	76.0	80	82	84
こども救急電話相談(#8000)の認知度	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21奈良県統一アンケート)で「知っている」と回答した人数/全回答者数	93.4	95	95	95

前年度実績値						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
61.3	79	I		0.0%	0.0%	健康部 保健センター
93.5	94.0	94.3		0.0%	0.0%	健康部 保健センター

② 感染症対策の推進

感染症の拡大防止と重症化予防のため、各種予防接種の受診の徹底を図ります。また、奈良県や医師会・保健所等の関係機関と連携して新型コロナウイルスを含んだ未知の感染症対策に取り組むとともに、市民に対して社会情勢や環境変化を捉えた啓発を実施します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
⊚−1	予防接種事業	「予防接種法」に基づく定期予防接種(一部、公費負担あり)の実施、未接種者に対する勧奨を行う。また平時から、広報紙等を活用した感染症に関する注意喚起を行います。	•
②-2	感染拡大対策事業	市医師会、北葛城地区医師会(香芝市・葛城市・広陵町・上牧町・王寺町・河合町)との連携会議を開催し、有事の際の対応について情報共有するとともに、その体制を整えます。	•

◆指標の達成状況

II-II- 6	22///	About 1 1 1 / He ITT-V pp	計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)		R6	R10	R14
MR(麻疹風疹)の接種率	%	各接種者数/MR1期(1歲児)、MR2期(年長児)接種対象者数	92.5	93	95	97
高齢者インフルエンザ予防接種の接種率	%	65歳以上のインフルエンザ予防接種の接種者数/65歳以上の人口	52.2	55	57	59

前年度実績値			今年度の進捗			
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値(年度末)	目標達成度	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
93.7	94	47.5		0.0%	0.0%	健康部 保健センター
57.5	58	0		0.0%	0.0%	健康部

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性		
IVO.		実績と課題	担当課評価	3視点	所管判定成果の方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	担当所管	
	今年度の事業実施計画	N 194 C DANG	(A/B/C)	有効性 効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
⊕−1	夜間休日応急体制充実事業			77	現状維持			
	必要時に利用できるよう、休日診療所について広報等により周知を図る。			80		·円滑な事業運営のため関係機関との連携を図る。市民が必要時に休日診療所を利用 ・できるよう、広報・ホームページ等での周知を充実させていく。(成果の現状維持) ・夜間休日応急体制を確保していくため、コストの方向性については現状維持とする。	開 健康部 保健センター	
・保健事業	業の円滑な実施のため、医師会との連携・情報共有を図る。			80 現状維				
⊘−1	予防接種事業			77	現状維持	・予防線舗法に基づき、空期予防線舗の接緬制理や特別接種の業務を継続室施し、接		
·定期予[カ接種の接種勧奨と確認を行い、接種率の向上を図る。			80		・予防接種法に基づき、定期予防接種の接種勧奨や特例接種の業務を継続実施し、接種率の向上を図っていく。成果の現状維持) ・予防接種事業については、北葛城地区医師会との会議にて委託料が決定されるため、現状維持とする。(コストの現状維持)	健康部 保健センター	
・コロナワ	クチン接種を特例臨時接種として、国の指示に基づき実施する。			72	現状維持	の、現れ種付と 9 つ。(コストの現れ種付)		
2-2	感染拡大対策事業			80	現状維持	・威込症対策として、平時上り正確な威込情報。その対処法や予防方法等を引き続き		
・感染症の	D流行状況を把握し、適正に情報提供を行う。			75		・感染症対策として、平時より正確な感染情報、その対処法や予防方法等を引き続き 住民に啓発周知していく。また、市医師会や北葛城地区医師会と連携し、有事の際の 対応について、現状のコストを維持しながら体制整備を行っていく。(成果の現状維持・コストの現状維持・	健康部 保健センター	
・感染拡大を防止する対策を、適切に行う。		がるに輝いた場合に行う。		80	現状維持	14・コマレの液や粧14)		



+/	Δ	4	·/ ¬h	÷ * * * * * * * * * *
加束	ひカ	中山土	י (בע	善策)

|--|

担	当課評	価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業

成果の	の方向	性	コスト	の方向性		
拡充	0	事業	拡大	0	事業	
現状維持	3	事業	現状維持	3	事業	
縮小	0	事業	縮小	0	事業	
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業	

政策名 2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉) 施策名 8 健康づくりの推進

☆目指す姿

健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。





施策の主な取り組み ① 健康的な生活習慣の推進

病気の予防、早期発見・早期治療に取り組む等、市民一人ひとりが「自らの健康は自らで守る」 という意識を持ち、主体的に健康づくりを進めるために、各種健(検)診・教室・相談・啓発活動 の充実を図ります。

■美施	する王な事業		
No.	名称	概要	総合戦略
①-1	がん検診事業	定期的にがん検診を受けられるよう集団がん検診の実施に加え、検診費用の補助を行います。また、検診の重要性について啓発を行い、がんの早期発見に努めます。	•
①-2	健康づくりに関する教育事業	健康づくり教室、講演会、健康相談等を実施します。また、健康ボランティアを育成し、地域で健康 づくりのための体操や知識の普及活動等を行う取り組みを進めます。	•
①-3	医療費適正化事業	40歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、特定健康診査及び特定保健指導を行います。	•

▲指標の達成状況

▼1日1示ぐりたけんがん						
the tree de		ELL IN (INTERNAL)	計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
5大がん検診受診者数	人	5大がん検診の受診者数	6,034	6,200	6,400	6,600
特定健康診査受診率	%	特定健診実施者/特定健診受診対象者	35.6	60	60	60

前年度実績値			今年度の進捗	7		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
5,875	6,100	1,424		0.0%	0.0%	健康部 保健センター
35.5	54	7.5		0.0%	0.0%	健康部 国保医療課

② 心の健康づくりの推進

生きづらさを感じているかたが、心の健康相談や臨床心理士によるカウンセリング、発達相談を受けることができる環境を整え、自殺予防対策やメンタルヘルス支援を行い、精神的に安定した生活ができるよう支援します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	精神保健事業	臨床心理士によるカウンセリング、心理検査等を受けることのできる専用窓口を設けます。また、心の健康に関する講演会の開催、ゲートキーパーの育成を行います。	•
②-2	子ども・若者相談支援事業	15歳から概ね39歳までを対象に、自立支援に関する相談窓口を設け、支援します。	•

◆指標の達成状況

ile im to	MALE TO THE STREET OF THE STRE		計画当初	目標値		
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
自殺死亡率の減少	-	人口10万人当たりの自殺者数(暦年単位)	13.4	11.4	10.2	9.0
子ども・若者相談支援件数	件	相談件数	49	60	70	80

前年度実績値		今年度の進捗							
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管			
13.9	13.4	ı		0.0%	0.0%	健康部 保健センター			
25	27	27		0.0%	0.0%	福祉部			

③ 望ましい食生活の定着推進

食生活と栄養についての知識の普及を進め、健全な食生活を実践できる習慣を身に付けることができるようにします。また、学校給食への地元食材の使用、料理教室等の開催を通じて、子どものころから「食」について考える環境づくりを進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
3-1		離乳食教室、乳幼児栄養相談等の各種教室及び栄養指導の実施、食生活等に関する講演会の開催を行います。また、夏休みを利用して子ども向けの料理教室等を開催します。	•

◆指標の達成状況

Hadam As				目標値		
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
食に関する教室の参加率	%	参加者数/離乳食・食生活・料理講習会等の定員総数	57	65	70	75
食事バランスが取れている人の割合	%	食育調査で「1日2回以上食事をとり、主食+主菜+副菜を食べる」と 回答した人数/全回答者数(20歳以上の市民の方対象)	41.4	55	60	70

前年度実績値			今年度の進捗	7		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
46.9	50	47.1		0.0%	0.0%	健康部 保健センター
_	1	-		0.0%	0.0%	健康部 保健センター

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	
140.	尹禾'日		担当課	3視点	所管判定	」 方向性の内容(改善策)	+D.V.=C**
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価 (A/B/C)	必要性 有効性	成果の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	担当所管
			(A/B/C)	効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
⊕-1	がん検診事業			85	現状維持	・令和5年度より、年度の前半は個別検診のみ、後半に集団検診を設定し、実施方法を	
	・ 乳、子宮、大腸がん検診を実施する。			75		整備したことで、集団検診の各回の予約人数も増加傾向にある。次年度もこの方式で実施し、受診率の向上に繋げられるよう、事業を進めていく。(成果の現状維持)	健康部 保健センター
医療機能	》の受診率向上を図る。 関での検診が適正な精度で行われているかの管理を行う。 し検診における事務の効率化や住民の利便性を高める。			75	現状維持	・令和5年度に集団がん検診のWEB予約を新システムに変更したことにより、事務作業の削減となっており、効率化ができているため現状維持とする。(コストの現状維持)	床庭ピング
①-2	健康づくりに関する教育事業			72	現状維持	-コロナ禍において、教室、講演会ともに参加者数は減少していたが、令和5年度は講演 会について、デジタルサイネージを用いた周知や休日開催したことにより、参加者数は 増加した。今後はリモート開催や幅広い生齢層が参加しやすい開催方法を検討し、健康	
	くり推進会議及び歯科保健推進会議を実施する。			75		寿命の延伸を目指す。(成果の現状維持) ・健康づくりに関するボランティアについて、複数のボランティアが類似する内容の活	健康部 保健センター
	歳活動支援事業(ボランティア活動支援及び育成)を実施する。 らいに関する教室、講演会を実施する。			75	現状維持	動を行っており、また一人のボランティアが複数の団体に所属している現状にあり、ボ ランティア団体の統合や合同育成等を検討し、事業の効率化を目指す。予算は研修費の みであるため、コストは現状維持とする。	
⊕–3	医療費適正化事業			100	現状維持	今年度より始めた被保険者参加型ヘルスアップ事業(健康測定会)の初回を7月に実施 し、参加者から健診に対する前向きな考えを引き出すことができたが、受診率の目標に 近づくために重要な、働き世代の参加が少なかった。また、集団健診の予約がまた開始	
· 受診率[継続実施	- 可上効果に実績のある「受診費用の無料化」及び「人間ドック・脳ドック助成」を			55		されていないこともあり、「参加者の受診意欲を予約に繋げることができなかった」と いった改善点が見つかった。そのため、他県の勧奨成功例などで年齢別で工夫している ものがあれば積極的に取り入れ、測定会実施時期と集団健診の予約開始時期の見直し	健康部 国保医療課
・被保険 指導が受	。 の健康意識・受診意欲に直接働きかけるため、身近な健康数値の測定や保健 けられる被保険者参加型ヘルスアップ事業を展開。実施においては、受診率が 働き世代の参加を募るため、休日実施。			74	現状維持	を検討しつつ、事業を進めていく。(成果の現状維持) また、国からの交付金を活用して被保険者参加型ヘルスアップ事業を実施している。今 後も国や県の補助等について情報収集に努め有効利用しながら、事業を進めていく。 (コストの現状維持)	
⊘−1	精神保健事業			95	拡充	・コロナ禍以降、精神の不調や生きづらさを抱える人が増えており、自殺者も全国的に 増加傾向にある。従前の自殺対策に加えて、現状や地域の実情を勘案した第2次自殺	
	・ ・ ・ 芝市自殺対策計画を策定する。 里事業、自殺対策や心の健康増進に関する啓発により、心の健康づくり及び自			72		対策計画を策定し、心の健康づくりの事業機能を強化させる。よって成果の方向性は拡充とする。	健康部 保健センター
殺予防の	主要来、日教が外で心の健康を自体に関する合元により、心の健康ノヘク及し日推進を図る。			87	拡大	・増加傾向にあるカウンセリング等のニーズに対応するため、心の健康相談室の体制整備を行い、事業を拡充させるためコストは増加する。(コストの拡大)	が歴ビング
②-2	子ども・若者相談支援事業			77	拡充	・当事者や家族に対して段階的な支援を進めて行くにあたり、専門職(臨床心理士)による家庭訪問等を実施する必要がある。令和5年度は9回実施し、1ケースあたり1回程度	
る。支援調ス検討会議	会福祉協議会に相談支援を委託、毎月支援調整会議で相談受理・支援状況を確認す 整会議は実務者会議を兼ね、更に他機関連携等の支援検討が必要な場合は個別ケー 養を開催する。			85		の実施で留まっているが、相談ケースの増加と効果的な支援展開のために、令和6年度は21回(1ケースにつき上限3回まで、上限回数の利用の場合、7名分の実施を確保)に増加させるため、成果及びコストが拡大となる。 ・当事者の精神疾患や発達障害等の対応に配慮が必要なケースや、支援の長期化、終	福祉部
·専門職(E (年9回、1	り家族の集いに職員を派遣い、実態を把握する。 塩床心理士)による当事者や家族に対するアウトリーチを含めた相談支援を実施する。 ケース上限3回) 塩床心理士)による支援者への個別ケース等に関するスーパーパイズを実施する。(年2					・当事者の精神疾患や発達障害寺の対応に配慮か必要なゲースや、文援の長期化、終結・再開の繰り返しという困難ケースの対応に、社会福祉士だけでなく、他の専門職種(臨床心理士等)による財富・指導を受け、相談支援業務の質の向上を図る必要がある。 「これに伴い、年間2回から4回に増加し、3ヶ月毎に支援状況の助富・指導を仰ぎ、相談	児童福祉課
回) ·代表者会 ·義務教育 卒業式前	議を必要に応じて開催し、香芝市の取り組み状況を確認、支援機関の連携を図る。 課程を修了後の相談窓口の周知として、香芝市立中学校3年生に相談窓口のチラシを 配布する。また、市内居宅介護支援事業所に相談窓口チラシデータを送信し、介護支 への周知を図る。市民への周知啓発として、自治会に相談窓口の周知チラシの回覧を			95	拡大	者や家族へ効果的な相談支援を展開するため、成果及びコストが拡大となる。	
3-1	食育推進事業			90	現状維持	・食に関するボランティアを養成し、スーパー等の住民にとって身近な場所で減塩や野	
•減塩対策	 表と野菜摂取量の増加に向けた取り組みの充実を図る。			75	750 11,12,10	菜摂取量の増加に向けた啓発活動を行うことで、引き続き自然に健康になれる環境づくりの推進を行う。(成果の現状維持)	健康部 保健センター
自然に	建康になれる食生活の啓発を推進する。 けるボランティア活動の推進を図る。			67	現状維持	・コストの方向性についても、食に関するボランティアと連携した取り組みや、ホームベージやSNSを活用した普及啓発を行う等、次年度は現状維持とする。	木陸ピノソー

■■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性



成果(の方向	方向性 コストの方向性				
拡充	2	事業	拡大	2	事業	
現状維持	4	事業	現状維持	4	事業	
縮小	0	事業	縮小	0	事業	
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業	

2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉) 政策名 9 高齢者福祉の充実 施策名

☆目指す姿

地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。



施策の主な取り組み① 自立支援・介護予防・重度化防止の推進

高齢者が生き生きと自立した生活が送れるよう、地域のニーズや課題、活用できる社会資源を 把握し、自立支援・介護予防・重度化防止に向けた各種サービスを展開します。

■実施する主な事業

) OT 0.4%		
No.	名称	概要	総合戦略
⊕−1	介護予防·日常生活支援総合事業	掃除や買い物等の日常生活支援、運動教室や栄養・口腔機能指導等の介護予防サービス等に加え、地域における通いの場の創出、介護予防に関するボランティアの育成等の助け合い・支え合いの仕組みづくりを推進します。また、事業所等の専門職が行うサービスに加え、地域住民や企業業等の多様な主体によるサービスも提供できるよう展開していきます。	•

◆指標の達成状況

▼1日信の注が介						
			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
地域活動による『通いの場』の設置割合	%	「いきいき百歳体操」が行われた地域数/設置対象地域数(全50地域)	30.0	84.0	94.0	100.0

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
46	70	48	·	0.0%	0.0%	健康部 介護福祉課

② 日常生活を支援する体制の整備

地域包括支援センターの機能を強化するとともに、地域住民や事業者等の協力も得ながら、高齢者の安全で安心な日常生活が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の強化を進め、介護等が必要になっても住み慣れた地域で過ごすことができる仕組みづくりを推進します。

■実施する主な事業

	りの工の子木		
No.	名称	概要	総合戦略
②-1	高齢者のための支援体制整備事業	高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの機能強化を図ります。介護を必要とする 人の家族に対する支援、また、医療・介護サービス事業者等との連携強化等を行い、包括的に支 援できる格利を充実させます。認知症の方に対する支援、高齢者の権利擁護及び虐待防止対策 等高齢者の安全・安心につながる支援を行います。	•
②−2	介護予防支援事業	地域包括支援センターで、要支援者等の認定を持つ方が、必要な介護サービス等を受けられるよ う支援します。	•
②-3	生きがい対策事業	長寿を祝うイベント、事業を実施し、高齢者の社会参加を促進し、生きがいのある暮らしの支援 を行います。	•

◆指標の達成状況

¥ 311 18(** × × × × × × × × × × × × × × × × × ×							
W.E.A.				目標値			
指標名	単位	算出方法(指標説明) 	(R1)	R6	R10	R14	
地域で孤立せず生活できている高齢者の 割合	%	介護保険意向調査で「心配事や愚痴を聞いてくれる人が1人以上いる」と回答した人数/全回答者数(65歳以上の市民の方対象)	89.1	89.5	90	90.5	
認知症サポーター養成人数	人	認知症サポーター養成講座に参加した人数(平成22年度からの累計)	3,843	4,800	5,600	6,400	

前年度実績値			今年度の進捗								
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管					
89.7		89.7		0.0%	0.0%	健康部 介護福祉課					
4,509	4,709	4,628		0.0%	0.0%	健康部 介護福祉課					

③ 介護保険給付の適正化

介護給付費の適正化に取り組み、介護保険制度の財政的な健全性を確保し、安定的な運営を 図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
3-1	介護保険給付適正化事業	給付の現状分析、ケアブラン点検及び介護サービス事業所に対する実地指導を行います。	-

◆指標の達成状況

			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
居宅サービス費(1人当たりの給付額)	円/月	居宅サービスに係る給付費を利用者数で除した金額	104,141	110,000	110,000	110,000

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
102,021	110,000	102,485		0.0%	0.0%	健康部 介護福祉課

■実施する主な事業の評価

	施する王な事業の評価	み 生産の車業証圧				会然の士白針	
No.	事業名	今年度の事業評価	1		元签业中	今後の方向性	
	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
⊕−1	介護予防·日常生活支援総合事業			90	拡充	【成果の方向性】 拡充 要支援者や高齢者が積極的に介護予防に取り組むために、地域等における「通いの場」を充実するとともに、介護予防ポイント事業を次年度より開始する。新たに介護予	
などを終	体の通いの場・訪問支援や、緩和した基準の訪問サービス及び通所サービス 緩防に提供する。 おける通いの場「いきいき百歳体操」の体験説明会を7回以上開催する。加え			80		防に取り組む高齢者が増加することを見込んでおり、成果の方向性は拡充とする。 【コストの方向性】 拡大	健康部 介護福祉部
て、市政	出前講座の介護予防への取り組みとして、「いきいき百歳体操」の説明を行う り新規地区の立ち上げを目指す。			82	拡大	いきいき百歳体操への参加者やボランティアの役割を担っていただく前期高齢者を増やすことを目的に、介護予防ボイント事業を令和6年度から実施予定であるため拡大となる。	
⊘−1	高齢者のための支援体制整備事業			90	現状維持	【成果の方向性】現状維持 高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい尊厳ある生活を継続していくため	
財産管認知症	理や成年後見制度等、権利擁護に関する講演会を開催する。 についての理解を深めるため、認知症サポータ―養成講座を実施する。講座			80		に、地域包括支援センター機能の充実を図り、地域における包括的な支援を継続していくことにより、今後も今年度と同等の成果を目指す。 【コストの方向性】 現状維持	健康部 介護福祉詞
の修了者	fによるチームオレンジ活動を組織化し、具体的な活動を推進する。 			69	現状維持	事業費は増加するものの、ボランティア等を活用し現状維持とする。	
	介護予防支援事業			82	現状維持	【成果の方向性】 現状維持 自立支援につながあケアブランの作成が行えるよう、自立や重度化防止の視点をケア マネジャーが再認識する機会を継続して持つことにより、今後も今年度と同等の成果	
原案作成	防支援に関わるケアマネジメント(利用者宅訪問・アセスメント・サービス計画 &・モニタリング)を適正に実施できるよう、介護支援専門員に助言等支援を行			90	現状維持	を目指す。 【コストの方向性】 現状維持	健康部 介護福祉記
	の助言を得る機会として、自立支援型地域ケア会議(年19回)を開催し、要支 自立支援に向けて継続的な支援を行う。			64	現状維持	高齢者の増加により、事業費も若干の増加が見込まれるが、方向性としては現状維持とする。	
	生きがい対策事業			69	現状維持	【成果の方向性】現状維持 高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進が図れるよう、地域とのつながりや交流機 会を増やすため、継続して事業に取り組むことにより、今後も今年度と同等の成果を 目指す。	
・シニア(る。	みクラブ連合会が行う健康づくり・介護予防支援事業を支援する。 建康祭を開催し、高齢者自らの社会参加、健康管理・介護予防意識の向上を図			85	現状維持	「コストの方向性」 現状維持 高齢者の生きがいづくりや社会参加を高めるための支援として実施している。補聴器	健康部 介護福祉記
	難聴の高齢者を対象に、積極的な社会参加及び地域交流の促進等を図るため 購入費の一部を助成する。 			72	501八維持	購入費用の助成事業についてはニーズ等を見極める必要があるが、今後の方向性としては現状維持とする。	
3-1	介護保険給付適正化事業			100	現状維持	【成果の方向性】 現状維持 適正なサービス利用及び適正な給付費となるよう点検を継続することにより、今後も	
件)及び ·要介護	の適正化を目的とし、ケアブラン点検(ケアブランの点検及び例外給付等600 実地指導、縦覧点検・医療情報との突合を行う。 認定の適正化を目的として、調査票の点検を実施する。また合議体について			85		今年度と同等の成果を維持する。 【コストの方向性】 現状維持	健康部 介護福祉詞
を行う。	ある合議体の間で評価にばらつきが生じることがないよう、審査会と調整等 (認定調査員・認定審査会委員への研修) 合会および適正化システムのデータ等を活用し、効率的に適正化事業を実施			72	現状維持	高齢者の増加により事業費は若干増加するものの、介護給付の適正化を継続してい く。	

■■ 施策の方向性(改善策)

担	当課詞	平価
Α	0	事業
В	0	事業
C	0	事業

		1			
成果(の方向	性	コスト	の方向	向性
拡充	1	事業	拡大	1	事業
現状維持	4	事業	現状維持	4	事業
縮小	0	事業	縮小	0	事業
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 54-56 ページ)

政策名 2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉) 施策名 10 障がい者福祉の充実

☆目指す姿

障がい者がその有する能力及び適性に応じ、自立した生活を営み、自分らしく生き生きと 安心して暮らすことができている。













■■ 施策の主な取り組み ① 障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり

障がい者が安全・安心な環境のもと、自立した生活ができるよう、基盤整備を進めるとともに、 障がい者の日常生活及び社会生活におけるニーズに対応した細やかなサービスを展開します。

■実施する主な事業

	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
No.	名称	概要	総合戦略
⊕-1	地域生活支援事業	総合的な相談支援をはしめ、日常生活用具の給付や入浴、移動等日常生活における支援や意思 疎通支援者の派遣等によるコミュニケーションや情報取得に関する支援を行います。また、障が い者の社会参加に対する支援や職業訓練に要する費用の助成を行うなど、障がい者の地域にお ける日常生活や社会生活のニーズに対応した福祉サービスの提供を行います。	•

◆指標の達成状況

▼1日1示りたけんがん							
		the Land Alexander			目標値		
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14	
意思疎通支援事業の登録者数	人	香芝市意思疎通支援者名簿(手話通訳・要約筆記)に登録されている 人数(累計)	33	35	37	40	
手話奉仕員の養成人数	人	手話奉仕員養成講座を受講した延べ人数 (平成14年度からの延べ人数)	500	550	600	650	
障がい者の職場体験受け入れ人数	人	市が職場体験として受け入れた人数	4	8	12	16	
優先調達金額	衎	障がい者就労施設等からの物品等の調達金額	498	600	700	800	

前年度実績値			今年度の進捗	7		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
32	35	33		0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課
547	570	572		0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課
4	6	0		0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課
637	800	134		0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課

■実施する主な事業の評価

	± 414. A	今年度の事業評価				今後の方向性	
No.	事業名				所管判定		
		実績と課題	担当課評価	3視点	成果の方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	担当所管
	今年度の事業実施計画	天順 C	部(M/B/C)	有効性	221 O + O #	刊状を改善し、喜めていくための方等等について記る	
				効率性	コストの方向性		
⊕-1	地域生活支援事業			90	現状維持	現在実施している地域生活支援事業については引き続き実施していくとともに、他の	
・第3期障: ・障がい者	がい省計画等策定事業 (児)の日常生活支援(成年後見制度利用支援事業、移動支援事業、日中一時支援事 活用具給付事業、意思疎通支援事業、福祉ホーム助成事業ほか)			80		がは大阪のようにはあっています。 任意事業の展開についても、市の障がい者福祉の状況の分析を踏まえて実施を検討していく。 また、重層的支援体制整備事業の事業開始(令和7年度)に向けて、庁内の包括的な支	福祉部 社会福祉課
業、日常生・障がい者	活用具給付事業、意思疎通支援事業、福祉ホーム助成事業ほか) の社会参加促進(手話奉仕員及び聞こえのサポーター養成事業、障がい者(児)ふれあ				TENLYNAMA	援体制を整備していく。	
いの集い事				69	現状維持		





担当課評価				
Α	0	事業		
В	0	事業		
Ω	0	事業		

成果の	の方向]性	コスト	の方向	句性
拡充	0	事業	拡大	0	事業
現状維持	1	事業	現状維持	1	事業
縮小	0	事業	縮小	0	事業
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 57-58 ページ)

政策名 2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉) 施策名 11 生活困窮者支援の充実

☆目指す姿

生活困窮者が各自の能力を活か しながら、経済的・精神的に自立できる社会











■■ 施策の主な取り組み ① 生活困窮者への相談支援・就労支援の充実

生活困窮者を自立へとつなげていくために、包括的・継続的な助言・支援を受けることができる相談体制の充実を図るとともに、制度の周知を進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	自立支援促進事業	生活困窮者が自立した生活を営むことができるよう、助言・支援を行うほか、個別支援ブログラムの作成やハローワークとの連携等により就労支援を行います。	•

◆指標の達成状況

▼1日1示V/E/X1/\/\/\/\						
III III A		Maria I A I / He ITT-VADA	計画当初		目標値	
指標名	指標名 単位 算出方法(指標説明)		(R1)	R6	R10	R14
支援プラン策定により就労につながった割 合		就労につながった件数/一般就労を目標とした支援プランの策定 件数	75	80	85	90

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
<u>68</u>	79	100		0.0%	0.0%	福祉部 生活支援課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性			
110. 事未有			担当課	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	Ī		
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価	必要性	成果の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	担当所管		
	7 年反の事業大旭計画		(A/B/C)	有効性 効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入			
①—1 自立	立支援促進事業			77	現状維持				
・相談窓口の開 ・生活困窮者の	D就労支援	授				90		引き続きハローワーク他関係機関とも連携し、個々の困窮状況や特性(職歴や病状等) に応じた就労支援ブランを作成し、よりきめ細やかなフォローアップ支援を目指す。	福祉部 生活支援課
・生活保護受給 ・生活困窮者に	合者の就労支援 に対する住居確保給付金の支給			87	現状維持				

■■施策の方向性(改善策)

担	当課評	平価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業

		4			
成果(の方向	性	コスト	の方向	向性
拡充	0	事業	拡大	0	事業
現状維持	1	事業	現状維持	1	事業
縮小	0	事業	縮小	0	事業
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業

政策名 3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化) 施策名 12 人権・多様性の尊重

☆目指す姿

誰もが個人として等しく尊重され、自らの意思によって個性と能力を発揮できる社会が 実現している。







■■ 施策の主な取り組み ① 人権啓発の推進と学習機会の提供

人権に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の人権への理解や認識の向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	人権啓発事業	香芝市人権教育推進協議会や各種団体と連携し、広報活動やセミナー等を開催し、市民へ人権 に関する正しい知識や情報を提供します。	_

◆指標の達成状況

7日宗の足以れんル							
	W//		計画当初		目標値		
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14	
市民集会参加者数	人	「人権を考える香芝市民集会」の参加者数	150	180	220	250	
人権啓発事業認知度	%	人権に関する市民アンケートで「市が実施する人権啓発事業を知っている」と回答した人数/全回答者数(事業参加者対象)	64	70	80	90	

前年度実績値						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
150	150	150		0.0%	0.0%	市民環境部 市民協働課
44.1	65	63.6		0.0%	0.0%	市民環境部市民協働課

② 男女共同参画によるまちづくりの推進

男女共同参画に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の男女共同参画意識のさらなる醸成・高揚を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会への理解を深めるため、父子を対象とした体験型の講習会の実施や市民を対象とした学習会等を開催します。また、関係機関と連携し、女性の就労支援に係るセミナーの実施や相談窓口を開設します。多様な視点を政策方針に取り入れるため、市の審議会への女性登用を促します。	•

◆指標の達成状況

		算出方法(指標説明)			目標値	
指標名	単位			R6	R10	R14
市職員の管理職に占める女性割合	%	市職員の女性管理職数/市職員の管理職数	29.7	30	30	30
市の審議会への女性委員登用率	%	審議会等における女性委員数/審議会等における委員数	26.4	30	30	30

前年度実績値						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
31.4	30	37.5		0.0%	0.0%	市民環境部 市民協働課
23.5	30	26.1		0.0%	0.0%	市民環境部市民協働課

■実施する主な事業の評価

	A bet a thill the										
No.	事業名	今年度の事業評価	_			今後の方向性					
110.	ず 未石		担当課	3視点 所管判定 方向性の内容(改善策)			担当所管				
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価 (A/B/C)	必要性	成果の万円正	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	1237116				
	, 100 FAX.0001E			有効性 効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入					
①-1	人権啓発事業			75	現状維持						
421 +	* > 2 ## 0 88 # (5 4 5 0 5 2 5)			77		依然として差別事象が発生していることを踏まえ、人権啓発は継続していくことが重要であることから、コストは現状維持しつつ、広報の方法を工夫しながら、今後もテーマを変えて事業を継続していく。					
・くらしを・市民集会	考える講座の開催(年6回の予定) ☆の開催(7月開催予定)					マを変えて事業を継続していく。	市民環境部 市民協働課				
	ネパネル展の開催(7月予定)			75	現状維持						
②−1	男女共同参画推進事業			80	現状維持						
・「男性いきいきセミナー」の実施(年2回を予定) ・女性の就労支援に係るセミナーの実施(年2回を予定) ・男女共同参画推進委員会の実施(年2回を予定)				67		共働きの家庭が増加する一方で、家事の役割分担などまだまだ性別の固定的概念が	市民環境部				
		ミナーJの実施(年2回を予定) に係るセミナーの実施(年2回を予定) 進委員会の実施(年2回を予定)		07		残っていたり、多様な生き方を尊重しなければならないことから、現状の方向性で事 業を維持していく。	市民協働課				
				87	現状維持	N. CHILLY O. C. C.					





■■ 施策の方向性(改善策)

担	当課評	平価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業

成果の	の方向	性	コストの方向性			
拡充	0	事業	拡大	0	事業	
現状維持	2	事業	現状維持	2	事業	
縮小	0	事業	縮小	0	事業	
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業	

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 62-63 ページ)

政策名 3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化) 施策名 13 地域コミュニティの醸成・活性化



市民一人ひとりが「まちの担い手は自分自身」という自治意識を持ち、市民みんなが地域に誇りと愛着を持っている。



施策の主な取り組み自治会活動の支援

円滑な自治振興の実現のため、地域コミュニティの核である自治会の安定的な運営を支援します。また、自治会の協力のもと、地域の安全安心に関わる設備等の設置を促進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	自治会活動支援事業	自治会活動や防犯カメラ・防犯灯等の設備の整備に対して、補助金の交付等の支援を行います。 また、自治会及び自治連合会と連携し、自治会未加入者への加入促進を図るとともに、自治会と 各種地域団体の連携を促進し、地域活動の活性化を図ります。	•

▲指標の達成状況

▼拍信の連携が						
			計画当初		目標値	
指標名			(R1)	R6	R10	R14
自治会加入率	%	自治会加入世帯数/4月1日時点の世帯数	87.2	88	90	92
自治連合会と地域団体との協働事業実施 回数		自治連合会と地域団体との協働事業実施回数	0	1	2	3

前年度実績値						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
84.1	85.0	83.5		0.0%	0.0%	市民環境部 市民協働課
1	1	0		0.0%	0.0%	市民環境部市民協働課

② 市民公益活動団体の支援

ボランティアやNPO等の市民公益活動団体の地域での活動を支援することで、地域の活性化を促進します。また、市民公益活動団体同士が繋がり、発展できるように、コーディネーターの役割を担います。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	市民公益活動団体支援事業	市民公益活動団体の活動に対して、補助金の交付等の支援を行います。また、活動報告会や市民 主体のイベントを実施することで、団体同士のつながりや市民や市内事業者等、あらゆる主体と の相互交流の機会を設け、市民活動のさらなる活性化を図ります。	•

◆指標の達成状況

		算出方法(指標説明)			目標値	
指標名	単位			R6	R10	R14
まちづくり提案活動支援事業補助金申請件 数	件	まちづくり提案活動支援事業補助金の申請件数	19	25	25	30

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
16	17	20		0.0%	0.0%	市民環境部市民協働課

■実施する主な事業の評価

	世9の土の事業の計画						
No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		
110.	尹杰山		担当課	3視点	所管判定	 方向性の内容(改善策)	+D.W.=C##
	今年度の事業実施計画	年度の事業実施計画 実績と課題		必要性	成果の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	担当所管
			(A/B/C)	有効性 効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
⊕-1	自治会活動支援事業			100	拡充	・集会所等整備補助金の補助対象の追加及び通信機器等導入補助金の策定を行い、	
・転入者(こ自治会加入促進のパンフレットを配布 活動及び自治会が設置する防犯灯・防犯カメラ・放送設備・集会所への補助			72		地域住民の福祉の増進や自治会業務の効率化及び負担の軽減を支援する。 ・自治会の加入率が減少してきているが、自治会は地域に根ざした互助の基礎となる 組織なので、自治会活動が継続していけるように引き続きパンフレット配布を行い、加	市民環境部 市民協働課
	古凱及び自治会が設直9の防犯力・防犯力メラ・放送設備・集会所への補助 合会と地域団体との協働事業に係る実施方法の調査・検討			85	拡大	入率向上に努める。	
⊘−1	市民公益活動団体支援事業			85	現状維持	・さまざまな市民団体が活発に活動することでまちの活性化につながることから、まち	
・まちづく				72		づくり提案活動支援事業は今後も継続していく。 ・説明会だけでなく、申請時の側別相談など現在対応していることを継続する。 ・スキルアップセミナーの参加者を増やせるよう広報を工夫し、年2回の開催を継続す	市民環境部
·補助金F	申請の説明会実施				現状維持	・スキルアップセミナーの参加者を増やせるよう広報を工夫し、年2回の開催を継続す	市民協働課
・スキルア	アップセミナー開催			75	かれて不住行	<u>ం</u>	

担	当課評	平価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業



成果の	の方向	性	コスト	の方向	句性
拡充	1	事業	拡大	1	事業
現状維持	1	事業	現状維持	1	事業
縮小	0	事業	縮小	0	事業
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業

■■施策の方向性(改善策)

政策名 3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化) 施策名 14 文化芸術の振興・多文化共生

☆ 目指す姿

多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。



■■ 施策の主な取り組み ① 文化の発信・創造・交流の支援

多くの市民がさまざまな文化に触れ、多様な見識や価値観を養うことのできる機会を創出します。また、市民の自主的・創造的な文化活動を支援し、文化振興につなげます。

■実施する主な事業

	169 0工 6 手木		
No.	名称	概要	総合戦略
①-1	文化施設管理·運営事業	指定管理者制度による文化施設の維持管理を行い、効率的な運営体制を構築します。また、施設の機能性の向上やイベント開催を通じて、市民の文化活動を促進します。	•
①-2	地域交流センター管理・運営事業	指定管理者制度による地域交流センターの維持管理を行い、効率的な運営体制を構築します。 また、施設の機能性の向上やイベント開催を通じて、地域での市民交流を活発化します。	•

◆指標の達成状況

			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)		R6	R10	R14
ふたかみ文化センター稼働率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	44.2	45	48	50
ふたかみ文化センター利用者数	人	ふたかみ文化センターの利用者数	89,790	97,000	105,000	108,000
地域交流センター稼働率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	23.6	25	30	35
地域交流センター利用者数	人	地域交流センターの利用者数	48,620	55,000	66,000	77,000

			今年度の進捗			
前年度実績値						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
<u>39.5</u>	43.0	35.7		0.0%	0.0%	まなび推進局 生涯学習課
64,291	70,000	31,584		0.0%	0.0%	まなび推進局 生涯学習課
27.7	29.0	27.3		0.0%	0.0%	市民環境部 市民協働課
48,451	49,000	25,610		0.0%	0.0%	市民環境部市民協働課

② 多文化理解と国際交流の推進

国際理解を通じて、さまざまな文化の在り方や考え方、価値観、感じ方の違いを認め合える風土を醸成します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	文化·国際交流活動事業	国際交流活動を行っている市民、地域団体、事業者等と連携し、セミナーやイベント等を開催します。	•

◆指標の達成状況

In the second se		計画当初		目標値		
指標名	単位	算出方法(指標説明)		R6	R10	R14
国際交流事業実施回数 回 国際交流事業の実施回数		2	3	4	4	

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
6	4	З		0.0%	0.0%	市民環境部市民協働課

■実施する主な事業の評価

	RY O工の事 来 の計画	\ <u></u>				A // a - 1 - 1 - 1	
No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	_
110.	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	」 ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方等等について記え	担当所管
	文化施設管理·運営事業			64	現状維持	【成果の方向性】 文化施設については、老朽化に対応する必要があるが、施設の複合化に関する方針に より、今後の対応が異なることもあり、その状況により臨機応変な対応が必要となる。	
ふたかみの情報共・施設の利				72		より、今後の対応が異なることもあり、その状況により臨機応要な対応が必要となる。 また指定管理期間満了(R73、31)に伴う次期指定管理者選定については、指定管理 期間の設定や委託業務内容について、関係所管と連絡調整して進める必要がある。 またかしばアートweeeek(美術展覧会)は昨年初開催し、好評であり、文化芸術に 対する市民のニーズも高いことから、引き続き事業内容を改善しながら指定管理者と	まなび推進局 生涯学習課
る。 ・施設のご 地下消防	便性向上を図り、稼働率向上を図るため、広報等により施設の利用促進を図 数修、広域連携、次期指定管理者の選定 設備の改修・更新のため、設計、工事について進める。また施設の広域利用				祖状維持	ともに事業を進めていく。 [コストの方向性] 文化施設に関するコストは老朽化に対応する必要がある。アートweeeekについて はコスト維持を図りながら事業内容の見直しも行っていく。	
準備を進・かしば7 毎年開催	管財課、指定管理者との連絡調整、また来年度の指定管理者選定に向けてのめる。 ッとのでは、 マートweeeek(美術展覧会) している市美術展に加え、指定管理者とも協働し、文化芸術の機会に触れる を10-11月頃に開催する。			56	うじつく小庄丁リ	はコスト飛行で図りなかつ争乗が合めた値じむ」としい。	
①-2	地域交流センター管理・運営事業			95	現状維持	・令和5年5月8日付けで新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、	
(指定管	里者による施設の運営、維持管理 [理者:白鳳台自治会(令和5年度~9年度))			80		・令和5年5月8日付けで新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、 利用者数の増加が見込める。また自主事業等については、中止していた事業の順次再 開に加え、新規事業を実施する予定であるので、引き続き指定管理者との連携を取り ながら事業を進めていく。	市民環境部 市民協働課
	理者による施設の利用促進 理者自主事業として、いきいき百歳体操等を実施予定)			90	現状維持	- 6-17: フ中来で、進りていて。	
⊘−1	文化·国際交流活動事業			75	現状維持	・市民の国際理解・国際交流を促進するため、国際交流際発セミナーを継続して実施す	
	生学ぶ国際交流セミナーの開催			69		・7月末のCIR退任に伴いインスタグラムを10月末に閉鎖予定。	市民環境部 市民協働課
·CIRICa	よるインスタグラムでの発信				現状維持		





■■ 施策の方向性(改善策)

の方向性

	_	
担	当課語	平価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業

48	↑ ++	- 244-	コストの士白世			
以未(の方向	リリ生	コストの方向性			
拡充	0	事業	拡大	0	事業	
現状維持	3	事業	現状維持	3	事業	
縮小	0	事業	縮小	0	事業	
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業	

政策名 3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)

15 生涯学習とスポーツ活動の充実 施策名

☆目指す姿

いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。



■■ 施策の主な取り組み ① 生涯学習機会の充実

「いつでも、どこでも、誰でも」学べる生涯学習社会の実現に向けて、多様な講座を開催するなど学習できる機会と場の充実を図るとともに、成果を生かせる場づくりを行います。併せて生涯学習関係団体の育成・交流を促進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-	生涯学習機会提供事業	美術展覧会、生涯学習講演会等の各種講座を開催します。また、生涯学習関係団体の育成・交流 の環境づくりを行います。	•

◆指標の達成状況

III I TO TO		Aboli I NI (Ibilitaryan)	計画当初		目標値			
指標名	指標名 単位 算出方法(指標説明)		(R1)	R6	R10	R14		
中央公民館利用率		年間稼働枠数/年間利用可能枠数	32.2	35	35	35		
中央公民館利用者数	人	中央公民館の利用者数	69,098	70,000	72,000	74,000		

前年度実績値		今年度の進捗							
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管			
24	35	27		0.0%	0.0%	教育部 生涯学習課			
31,374	40,000	22,615		0.0%	0.0%	教育部 生涯学習課			

② スポーツ活動の充実

地域のスポーツ・レクリエーション関係団体等の多様な主体と協働し、スポーツできる機会と場 の充実を図るとともに、総合体育館、健民グラウンド等のスポーツ施設の利用を促進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略							
2-1	スポーツ活動支援事業	さまざまなスポーツ・レクリエーション教室、イベント等を通年、開催します。また、研修会等の開催 によりスポーツ・レクリエーション関係団体の育成を支援します。	•							

◆指標の達成状況

lie lar. E.			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)		R6	R10	R14
社会体育施設利用率 % 年間稼働枠数/年間利用可能枠数		年間稼働枠数/年間利用可能枠数	48.7	51	51	51
社会体育施設利用者数	人	社会体育施設の利用者数	181,146	220,000	230,000	240,000

前年度実績値						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
<u>54</u>	56	54		0.0%	0.0%	まなび推進局 生涯学習課
205,625	246,000	119,797		0.0%	0.0%	まなび推進局

③ 図書館機能の充実

市民が幅広い知識や情報を得て、心豊かでいきいきとした人生を送るため、図書館資料や情報の提供だけでなく、学習や活動の場の提供等も行いながら、読書の普及啓発と図書館の利用促進を図り、地域の拠点となる図書館づくりを進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
3-1		図書・視聴覚資料等の資料や情報を収集・保存し、提供します。また、図書館の利用が困難な方等 には、読書サポート等のサービスの充実を図るとともに、電子書籍の充実や移動図書館車「ぷっく る号」の巡回等により、利用環境の整備を推進します。	•
3-2	読書普及活動事業	図書館でおはなし会や読み聞かせ会等を開催するほか、学校・幼稚園・保育所等を訪問し、ブックトークやおはなし会等を行います。また、各種講座、さまざまな展示イベントを開催します。	•

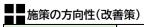
◆指標の達成状況

No. let .		算出方法(指標説明)			目標値	
指標名	単位			R6	R10	R14
蔵書回転率		年間貸出冊数/蔵書冊数(蔵書1冊当たりの貸出回数)		1.8	1.9	2.0
市民図書館来館者数	人	市民図書館の来館者数	-	154,000	159,000	168,000

前年度実績値		今年度の進捗							
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管			
1.6	1.7	0.9		0.0%	0.0%	まなび推進局 市民図書館			
185,882	186,000	99,611		0.0%	0.0%	まなび推進局			

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			=c Abrillia	今後の方向性	
110.	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①-1	生涯学習機会提供事業			43	現状維持	【成果の方向性】 今年度初めて行った「夏のかしばアカデミー」では、市民が講師となり、自身の得意なことを、学びたい市民に教えるという取り組みを行い、生涯学習基本計画の基本目標である「学ぶ、機会の提供を行うことができ、非常	
市民同士 にて1日で ・家庭教育 市内各小	学校の家庭教育学級生の補助金手続きや研修等を行う。4月学級生募集、6			72		に好評であった。引き続き計画の基本目標を達成するため、改善を行いながら、本事業 を実施していく。また、社会教育学級及び関連団体への支援については、今年度より 打社会教育関係団体補助の金)を創設し、既存団体への支援から多様な団体への支援へ方 向転換を行った。また家庭教育学級については、学級生減少等により存続が困難な学 級もいくつかみられるが、重要な社会教育団体であることから、新たな活動形態の検 対等を含めて業務を進めていく。	まなび推進局 生涯学習課
·社会教育高齢者学 ·社会教育 年3回、社	修会、8月意見交換会、冬頃合同研修会、随時補助金手続き。 育学級及び明連団体 級及び市内社会教育関連団体に対する補助金支給を行う。 育委員 会教育委員会議を開催し、市の社会教育に対し意見をもらう。また各種研修 連行事の委員との調整や参加を行う。			77	現状維持	【コストの方向性】 「夏のかしばアカデミー」はコスト(人件費)がかかる事業であるため、改善できるところ はコストの削減を行っていくことを検討する。他事業については、コストを維持しなが ら、事業の改善や新事業を検討する。	
②-1	スポーツ活動支援事業			85	拡充	【成果の方向性】 スポーツ推進委員事業については、今年度より地域でのスポーツ普及を目指し、地域	
6月委員集し、今年	・推進委員 委嘱を行い、地域でのスポーツ普及活動を行う。また委員会議を年3回程度招 F度事業について協議する。 対抗子ども駅伝			85		への派遣事業を試験的に行っており、好評である。引き続き、地域への派遣事業の制度化を行い、スポーツ普及を図っていく、また各スポーツイベントについては、競技力の向上や、スポーツを行う機会や機運の拡大のため、事業を拡大し実施しているが、想定を大幅に上回る申込があり、スポーツに対する需要の高さがうかがえた。引き続き、より多くの方にスポーツを行う機会を創出	まなび推進局 生涯学習課
駅伝に向 練習会を	576、10-11月頃選考会を実施。3月の本番に向け、スポーツ協会協力のもと、 開催する。 ポーツデー					するため、全体の事業としては拡充する方向である。 【コストの方向性】	工涯于自体
2月頃、ス 民向けに ・かしばス 10/9のる 力向上の	パーツ推進員協力のもと、ニュースポーツ、軽スポーツを集めたイベントを市			72	拡大	スポーツ振興くじ助成金を活用し、コストの拡大を図りながら、事業を拡充し、市民ニーズにこたえていく。	
3-1	資料情報提供事業			90	現状維持	・現在、蔵書の更新を進めており、蔵書新鮮度も昨年度同時期より上昇した。しかし、今年度の更新予定冊数は、更新が必要な冊数の4%程度であり、今後も引き続いて更新	
・蔵書の引	更新			82		を進める必要があるため、成果・コストとも方向性を現状維持とした。 ・電子図書館利用促進のため、利用手続きを簡素化し、様々な場面での電子図書館の 活用を見込み、読み放題パックの導入を行った。その結果、電子書籍の貸出は増加傾向 にある。今後は、図書館利用が困難な方の読書環境整備の一環として、電子書籍自含	まなび推進原 市民図書館
·電子書籍 ·図書館和	部の充実 リ用が困難な方の読書環境整備			77	現状維持	めた図書館資料の更なる利用促進を目的とした仕組みの構築が必要である。 ・パリアフリーサービスについては実施体制を整え、機会を捉えてお知らせしている が、今後も更に周知を進める。	
3-2	読書普及活動事業			80	現状維持	・各種イベント等は、図書館利用のきっかけとなる場合が多く、市民の来館意欲の向上 や図書館利用の継続のため、今後も実施が必要である。 ・コロナか5類に移行し、特に児童向け定例行事の定員が撤廃されたこともあり、その 平均参加者数は昨年度よりも増加傾向にある。それぞれの行事は、ボランティアとの連	
·講座開作	ジトや図書のテーマ展示の実施 進によるボランティア等の養成と資質向上			77		接協力等により実施しているため、更なるコスト削減は困難であり、コストの方向性を 現状維持とした。 ・・・・般向けの講座等については、ボランティア養成講座の参加者が多く、目標値を上回 る見込みである。また、60代以上の参加者が多くなる傾向にあり、高齢者のボランティ	まなび推進局 市民図書館
	等との連携による子どもの読書関連事業の実施 ベームページ等での図書館情報の発信			77	現状維持	るためでのる。また、のいな、エレッかは自か学んでも傾向にあり、両部自のパップノブー 予希望者が一定数存在すると考えられることから、今後、ボランティアの定着へ向けた 取組みが必要である。また、講座内容も、ニーズを見極めて工夫や調整を行い、効率化 を図りながら継続的な実施について検討を進める。	



|--|



担	当課語	平価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業

果	の方向	性	コスト	の方向	句性							
迚	1	事業	拡大	1	事							
餠	3	事業	現状維持	3	事							
J/	0	事業	縮小	0	事							

0 事業 休廃止

政策名 3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化) 施策名 16 歴史文化財の保存と継承・展開

☆目指す姿

気軽に文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着 と誇りが持てている。



施策の主な取り組み① 二上山博物館機能の充実

地域の歴史・文化を学習する拠点として、また情報発信の拠点として、二上山博物館の機能を 充実させます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1		博物館DV化推進事業により、誰もが楽しく学び、知的体験を享受できるデジタルミュージアム の実現を目指します。また、特別展や講演会・講座の開催、学校との連携による博学連携教育の 推進等。多様な年齢層へ本市の歴史文化財の魅力向上に繋げる事業を展開します。	•

◆指標の達成状況

T SPECIAL TERMS FOR IT TO BE						
IV IT 6		About 1 XI / He ITT-VADA	計画当初	目標値		
指標名	単位 算出方法(指標説明)		(R1)	R6	R10	R14
博物館入館者数	人	二上山博物館の入館者数	7,479	8,000	8,500	9,000
博学連携参加者数		博学連携参加者数	719	800	850	900

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
7,905	8,000	4,857		0.0%	0.0%	まなび推進局 文化財課
1,070	1,100	1,042		0.0%	0.0%	まなび推進局 文化財課

② 文化財の保護・啓発

文化財を後世に保存・継承するために必要な措置を講ずるとともに、文化財の魅力を発信して、活用及び啓発を行います。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	文化財保護啓発事業	市内にある文化財の基礎資料の収集・蓄積、遺跡の保護等を行います。また、歴史講座やイベントの開催により、文化財・遺跡の活用を図り、広く普及、啓発活動を行います。	•
②-2	市史編纂事業	市史編さん委員会委員の人選を行い、編集方針や内容・構成などの市史編纂に伴う基本計画を 第4年 さとともに、執筆編集を行う市史編集委員会の委員の人選を進め、市史編纂に向けての 組織体制を整備します。	

◆指標の達成状況

▼1日1ボックモルベルバル						
Us III to		Article 1 x 1 / Hz 1777-VPP X	計画当初	目標値		
指標名	単位	位 算出方法(指標説明)		R6	R10	R14
指定文化財の件数	件	国・県・市指定文化財の件数(累計)	42	43	44	45
史跡公園利用者数	人	尼寺廃寺跡学習館の利用者数	1,585	1,600	1,650	1,700

前年度実績値	(R4) 目標値 中間値 (9月末) 実績値 (年度末) 目標達成度 (当該年度比) 目標達成度 (R6年度比) 43 44 0.0% 0.0%						
(R4)	目標値					担当所管	
43	44	44		0.0%	0.0%	まなび推進局 文化財課	
1,566	1,600	915		0.0%	0.0%	まなび推進局	

■実施する主な事業の評価

	心・の土の事業の計画					A 11 - 1 - 1 - 11	
No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	
140.	7771		担当課	3視点	所管判定 成果の方向性	 方向性の内容(改善策)	担当所管
	今年度の事業実施計画	度の事業実施計画 実績と課題 評価 💆		必要性 有効性	W.KOYJI-JIII	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	12-1716
			(A/B/C)	効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
⊕-1	博物館活性化事業			67	現状維持	・成果は現時点で十分に上がっているため、現状維持の方向性が適切と考えられる。	
	ェクションマッピングやAR・VR等の展示設備を導入して博物館DX化事業を			85		・成果は現時点で十分に上がっているため、現状維持の方向性が適切と考えられる。 ・コスト面においては、プロジェクションマッピング等の博物館DX化に向けて、より注 カレていく必要があると考えられる。 ・また、博学連携においては、地元の対推園児や小学校児童により的確に歴史が伝わ	まなび推進局
進める。 ・特別展	や企画展等の各種展覧会をはじめ、公開講演会や歴史講座等を開催して文化			65		・また、博学連携においては、地元の幼稚園児や小学校児童により的確に歴史が伝わ	文化財課
・小中 :	F及啓発に努める。 学校等と連携して博学連携教育(郷土学習授業)を推進し、郷土の歴史や文化 「啓発を行う。			80	現状維持	るよう、博物館事業等に努める必要がある。	
⊘−1	文化財保護啓発事業			75	現状維持	・成果、コスト共に現時点で十分に成果が出ているため、現状維持の方向性が適切と	
				0.5		考えられる。 ・文化財の管理については、保護審議会や史跡整備検討委員会の助言を得ながら、適	まなび推進局
市内にに基づき	所在する文化財の維持管理に努めるとともに、文化財保護審議会委員の指導 : 保存に向けた施策を講じる。			85		切に進める必要があると考えられる。 ・歴史講座や地域学習講座等を開催し、市民に香芝の文化財により興味・関心を持っていませると呼ばれるという。	文化財課
·歴史講	、保存に向けた施策を講じる。 保存に向けた施策を講じる。 等跡史跡公園等の文化資源の活用を通じて文化財の普及啓発を行う。 ・				現状維持	・歴史調座や地域子首調座寺を開催し、中氏に督之の文化財により興味・関心を持っていただけるように取り組みを進める必要があると考えられる。	
"尼寸所	寸跡文跡公園寺の久11貝跡の石州を翅びて久11別の目及台光を117。			80			
②-2	市史編纂事業			67	拡充	・成里 コフト世に全後の事業推進の組占から 拡大の方向性が適切と参うられる	
	•			0.5		・成果、コスト共に今後の事業推進の観点から、拡大の方向性が適切と考えられる。 ・市史編さん委員会は、定期的に開催し委員の意見を取り入れながら、スケジュールに	こ まなび推進局
・市史編	さん委員会委員を組織して市史の編集方針や刊行計画等について審議する。			85		沿って進める必要があると考えられる。 ・市史編集委員会では、各部門のごとに作業を行い、その中でスケジュール調整を定	文化財課
	集委員会を組織して市史編集体制を整備する。			00	拡大	期的に行い、体制を整備する必要があると考えられる。	
				80			

■■ 施策の方向性(改善策)

担	当課詞	平価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業

成果	成果の方向性			コストの方向性		
拡充	1	事業	拡大	1	事業	
現状維持	2	事業	現状維持	2	事業	
縮小	0	事業	縮小	0	事業	
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業	

政策名 4 まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光) 施策名 17 商工業の振興

☆目指す姿

商工業の活性化によって、市内で「住む」だけでなく、「働き、消費する」という好循環が生み出されている。





■■ 施策の主な取り組み ① 企業の活性化

市内における企業の経済活動の活性化や経済規模の拡大を支援し、地域経済の好循環を促す ことで、雇用機会の創出を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	企業支援事業	各種補助制度により、市内企業の経営を支援します。また、企業誘致や市内企業の移転、増設等 の企業立地を推進します。地域プランド「KASHIBA+」の認定品の拡充や市内外での認知度の 向上のためのプロモーション活動を実施します。	•

◆指標の達成状況

III III 6		Article Late (Included Article Late Company)	計画当初		目標値	Ť
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
企業立地件数	件	事業計画を認定した企業数(令和元年度からの累計)	1	6	10	14
各種補助金申請件数	件	市補助金4種(設備投資促進補助金、商品開発・販路開拓等支援事業補助金(~R2産学連携促進補助金)、特許等取得支援補助金、環境配慮型企業定着促進補助金)に対する申請件数(令和元年度からの累計)	7	42	70	98
香芝ブランド認定件数	件	地域ブランド「KASHIBA+」認定件数(令和元年度からの累計)	23	33	43	53

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
7	8	8		0.0%	0.0%	産業振興局 商工観光課
32	39	38		0.0%	0.0%	産業振興局 商工観光課
25	26	25		0.0%	0.0%	産業振興局

② 創業の促進

市内企業の競争力の強化や新たな産業構造の構築、雇用創出の原動力となる新規企業の創業 を支援し、地域経済の活性化を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
2-1		創業者支援制度や香芝市商工会と連携して実施する創業セミナー等により、市内の創業希望者 を育成・支援します。	•

◆指標の達成状況

			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
市内での創業者数	人	市の各種制度を活用して創業した人数(累計)	11	66	110	154

前年度実績値			今年度の進捗	-		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
27	32	-		0.0%	0.0%	産業振興局 商工観光課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	
140.	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定成果の方向性コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①—1	企業支援事業			67	現状維持	【成果の方向性】 ・地域資源を活用した新たな事業の創出や特続可能性の高い産業の誘致を推進するとともに、中小企業支援を充実させるため、補助制度の同知強化を行う。 ・「Kashiba+JpPRについて、地域プランドとしての認知されることが重要であるため、従来の人が集まるイベントでのPRだけではなく、テレビ・インターネット等の各種メディアなチェ目、大学権はイストルで、市内の200円で向上に主義なる。	
・市内中の特許等取	小企業を支援するため、企業立地推進事業、商品開発・販路開拓等支援事業、 以得支援事業、設備投資促進事業を実施する。 産業展を開催することで、市内事業者のPRを実施する。			59		め、従来の人が集まるイベントでのPRだけではなく、テレビ・インターネット等の各種メディアを活用して実施する。また、市外だけではなく市内の認知度向上にも努める。 【コストの方向性】	産業振興局 商工観光課
·商工会	と連携し、地域プランド(Kashiba+」の認知度向上を目的に、庁舎、および市 記録等においてPRを実施する。			77	現状維持	・補助制度の需要については、事業者へのアンケート等で見極めていく予定のため、コストは現状維持とする。 ・「Kashiba+」については、現状の予算内で引き続き認知度向上を図る。	
⊘-1	創業促進事業			67	現状維持	【成果の方向性】 ※アクカバキウクラ4機関しの連携により、創業主機が終していて関係的主機を行い	
	進補助金の他、アドバイザー制度、香芝みらい塾等、創業支援関連事業の実施			59		同し五次以中的と面域的以上の連携により、即乗又接通率にして、同知ド又接を打し、 副業意識を喚起し地域経済の活性化を図る。創業に至るまでの支援を強化する。 【コストの方向性】	産業振興局 商工観光課
及び周知	を行う。			77	現状維持	現状維持とする。	

■■ 施策の方向性(改善策)

|--|--|



担当課評価						
Α	0	事業				
В	0	事業				
С	0	事業				

成果の	の方向	方向性 コストの方向性						
拡充	0	事業	拡大	0	事業			
現状維持	2	事業	現状維持	2	事業			
縮小	0	事業	縮小	0	事業			
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業			

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 74-75 ページ)

政策名	4	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	18	農業の振興



農地が適正に保全され、朝市等の利用により農業を身近に感じることができ、地産地消が浸透している。













■■ 施策の主な取り組み ① 農業体制の整備および市内農作物の魅力創造

後継者の支援や新たな担い手育成により、耕作放棄地の増加を防ぐとともに、農地に出没する 有害鳥獣による農作物の被害防止に努めます。また、香芝産酒米等の生産拡大を図り、市内外 への販路拡大などに取り組みます。

■実施する主な事業

	,, 0 = 0.1,.,,(
No.	名称	概要			
⊕-1	農産物鳥獣被害防止事業	有害鳥獣による農作物被害が発生している地域を的確に把握し、鳥獣を捕獲する猟友会との連 携を図りながら対応を行います。	•		
①-2	地産地消推進事業	100%香芝産の素材にこだわった農作物の生産拡大や販売の促進、市内学校給食での使用拡大に取り組みます。また、香芝産酒米の生産支援および香芝産酒のブランド化・販路拡大支援などを行います。	•		

◆指標の達成状況

	指標名 単位 算出方法(指標説明)		計画当初		目標値	
指標名			(R1)	R6	R10	R14
農業施設の改修達成率	%	改修済み箇所/改修予定箇所		100	100	100
市内酒造会社の香芝産酒米使用率	%	香芝産酒米使用量/酒米使用量	13	18	23	28

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
100	100	5		0.0%	0.0%	産業振興局 農林課
15	17	8		0.0%	0.0%	産業振興局

■実施する主な事業の評価

	でする工 な事業の 計画					△ 悠 办士 △ 世	
No.	事業名	今年度の事業評価					
110.	7.1	担		3視点 所管判定 成果の方向性		方向性の内容(改善策)	担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価 (A/B/C)	必要性	成衆の万円圧	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	担当所官
	/ 1 X 7 7 X X X X X X X X X X X X X X X X			有効性 効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	農産物鳥獣被害防止事業			95	現状維持		
				77	-50 0 (1)223	今後も猟友会や農事実行組合等で構成される協議会が主体となって地域の現状に即	
·香芝市7	写害鳥獣防止計画及び香芝市アライグマ・ヌートリア防除実施計画に基づき、 による農作物被害が発生する地域において罠を設置し、捕獲を実施する。					した捕獲を実施していく。	農林課
有 書局部	による展作物依告が発生する地域においく民を設直し、拥獲を実施する。	か発生する地域において民を設直し、捕獲を実施する。		87	現状維持		
①-2	地産地消推進事業			67	現状維持		
				72		香芝産農産物の地産地消推進と販売促進を基本として、販売PRや食農教育、農商工	産業振興局
・香芝市産酒用米の活用拡大を目指して、酒用米の作付け面積の拡大を図る。					704D6#4+	連携を行い生産者支援を実施していく。	農林課
				95	現状維持		





担	当課詞	平価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業

成果(の方向	性	コストの方向性			
拡充	0	事業	拡大	0	事業	
見状維持	2	事業	現状維持	2	事業	
縮小	0	事業	縮小	0	事業	
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業	

■■ 施策の方向性(改善策)

政策名 4 まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光) 施策名 19 観光の振興

☆目指す姿

観光を目的とした多くの人が訪れることで、市内での消費が促進され、まちにさらなる活気が生まれている。





施策の主な取り組み① 観光情報の発信

市内の観光情報を発信し、来訪客の増加を図ることで、まちの活力を生み出します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
⊕-1	観光イベント実施事業	市内への来訪客の増加を図るため、観光資源を活用したイベントを実施します。また、パンフレットやSNS等を用いた情報発信、観光に関連したグッズ等の製作を行います。	•

▲指標の達成状況

		单位 算出方法(指標説明)			目標値			
指標名	単位			R6	R10	R14		
観光客数	人	市内4地点の年間推定来訪者数、観光資源を活用したイベント参加 者数の合計	40,496	41,000	42,000	43,000		

前年度実績値		今年度の進捗						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度	目標達成度 (R6年度比)	担当所管		
32,388	37,000	21,960		0.0%	0.0%	産業振興局 商工観光課		

② 観光資源の魅力向上

市内の観光資源の魅力を高めることで、さらなる来訪者の獲得やリピーターの創出を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
⊚−1		観光名所への案内標識や解説板の設置、保存を目的とした整備等によって、アクセスや快適性の向上を図ります。	•

◆指標の達成状況

▼ 16 18 € 2 € 2 € 2 € 2 € 2 € 2 € 2 € 2 € 2 €							
			計画当初		目標値		1
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14	
観光客の満足度	%	観光客アンケート調査で「香芝市への観光に満足」と回答した人数/ 全回答者数(二上山・どんづる峯への来訪者対象)	30	40	50	60	

前年度実績値			今年度の進捗	-		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
71	50	-		0.0%	0.0%	産業振興局 商工観光課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	
INO.	サ木口		担当課	3視点	所管判定 成果の方向性	方向性の内容(改善策)	担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価	必要性	成未切力阿正	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	꼬크끼ㅌ
	/ 12.53.77.70BT III		(A/B/C)	有効性 効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
⊕-1	観光イベント実施事業			80	現状維持	【成果の方向性】 市単独の他、広域連携によるイベントを通じて市内外へ観光資源をアピールし、観光客 の流入及びリピーターの増加を目指す。また、過去の参加者アンケート等を踏まえ、満 足度向上のために創意工夫する。	
				75		の流入及びリピーターの増加を目指す。また、過去の参加者アンケート等を踏まえ、満 足度向上のために創意工夫する。	産業振興局 商工観光課
·葛城地域	或が有する観光資源を活用したイベント・PRを実施			, ,			
・中内観力	光資源を活用したかしばウォークの開催			90	現状維持	【コストの方向性】 コスト効率も高く、現状の予算において事業を実施する。	
②-1	観光資源魅力向上事業			80	田小併井	【成果の方向性】 大阪・関西万博に向け、広域連携による周遊観光ルート造成やPR事業の取組が進行し	
					况从推付	ている。	
·市内観光	光資源の認知度向上のための観光アプリの周知・利用者増加の促進			75		観光客の受け入れ体制を整えるため、観光地(どんづる峯など)の整備、情報発信に注力する。	産業振興局 商工観光課
	5峯でのアンケート調査・整備・清掃事業 でのアンケート調査・清掃活動及び登山道の安全点検の実施			0.0	現状維持	【コストの方向性】	
				90		コスト効率も高く、現状の予算において事業を実施する。	





■■施策の方向性(改善策)

	•					
担当課評価						
Α	0	事業				
В	0	事業				
C	0	事業				

成果の	の方向	性	コストの方向性			
拡充	0	事業	拡大	0	事業	
現状維持	2	事業	現状維持	2	事業	
縮小	0	事業	縮小	0	事業	
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業	

政策名 5 まちと人の安全・安心のために。(安全・安心) 施策名 20 災害対策の強化

市民一人ひとりや地域、行政が一丸となって防災・減災に取り組むことで、災害に対する 強靭な基盤ができている。

☆目指す姿

13 気候変動に 具体的な対策を



施策の主な取り組み① 災害時緊急体制の確立

災害が発生した状況においても、各々が適切な対応・行動を取り、円滑な初動対応・迅速な復旧活動を行えるよう、市職員 の災害対応能力の向上を図るとともに、消防団・自主防災組織との 連携を強化します。 また、避難所の生活環境の向上を図ります 。

■実施する主な事業

	3 0 L 6 T A		
No.	名称	概要	総合戦略
⊕−1	地域防災対策計画関連事業	災害対応のための計画・マニュアルの改正・策定を行います。また、訓練の実施により市職員の 災害対応能力の向上を図ります。	•
⊕–2	防災用品等備蓄事業	女性や要配慮者等への対応、また、新型コロナウイルスを含んだ未知の感染症等の対策を考慮 しながら、非常食や生活必需品等の災害用備蓄品を管理するとともに、避難所の良好な生活環 博客を廃保するための資機がの整備を洗めます。	•

◆指標の達成状況

▼1日1示り注水へル						
			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	指標説明) (R1) R6	R6	R10	R14
災害用備蓄充足率	%	想定避難者数に対する食糧備蓄率・飲料水備蓄率・毛布備蓄 率、指定避難所数に対するボータブル発電機備蓄率の平均値	56	75	90	100

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値(9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
94	95	97		0.0%	0.0%	生活安全部危機管理課

② 防災・減災対策の強化

局地的豪雨による浸水被害や洪水時の被害を軽減する事業を推進するとともに、市民の意識 高揚を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

■実施する主な事業

	By OT OTA		
No.	名称	概要	総合戦略
⊘−1	住宅耐震化啓発支援事業	耐震改修工事補助や耐震診断の制度充実を図るとともに、広報等で市民へ周知し、住宅耐震化 の促進を図ります。	•
②-2	浸水対策事業	市管理河川や水路および道路構造を改良する対策事業を実施します。	•
②-3	大和川流域総合治水対策事業	ため池を活用した貯留施設の整備を計画的に進めます。	•

◆指標の達成状況

			計画当初	目標値		
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
住宅耐震化率(耐震シェルター含む)	%	耐震性を有する住宅の数/住宅総数	90	94	96	98
浸水常襲地域内における家屋浸水解消戸 数	戸	滅災対策(対策対象戸数全298戸)により浸水被害が解消された家屋戸数(累計)	142	142	175	192
ため池治水対策率	%	対策量/大和川総合治水対策協議会における計画対策量	40	53	58	60

前年度実績値			今年度の進捗	5			
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管	
-	I	I		0.0%	0.0%	都市創造部 都市計画課	
142	142	142		0.0%	0.0%	都市創造部 土木課	
52	52	52		0.0%	0.0%	都市創造部	

③ 消防団体制の充実

全国的に消防団員が減少傾向にある中 で、消防団の人員を確保し、資機材を充実させることで、地域防災力の中核として活動する消防団の機動力を強化します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
3-1	消防団活性化事業	消防団の活動や重要性を広報紙やHP等で発信し、消防団に対して、より一層の理解促進を図ります。	•

◆指標の達成状況

			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
消防団員数	人	消防団の団員数	132	132	132	132

前年度実績値		今年度の進捗								
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度	目標達成度 (R6年度比)	担当所管				
133	132	131		0.0%	0.0%	生活安全部 危機管理課				

④ 自主防災力の向上

防災に関する情報提供や訓練の実施支援等を通じて、地域の自主防災力を強化し、自助・共助による災害対応能力の向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
⊕-1	防災意識啓発事業	出前講座の実施や防災訓練の実施支援等を継続して行います。また、防災リーダーの育成支援、各地域に沿った避難所運営マニュアルの作成促進等に取り組みます。	•

◆指標の達成状況

1	11-17-1-		算出方法(指標説明)			目標値	
	指標名	単位			R6	R10	R14
	自主防災組織活動率	%	訓練等を実施した自主防災組織数/自主防災組織数	44	60	70	80

前年度実績値						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
33	50	7		0.0%	0.0%	生活安全部 危機管理課

■実施する主な事業の評価

No.	である主な 事業の計画 事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	
110.	事 未日		担当課	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	+D.V.=C##
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価	必要性	成果の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	担当所管
	/ T & V F / T / MODI C		(A/B/C)	有効性 効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
⊕-1	地域防災対策計画関連事業			100	TE 4.0.664+	・災害対策基本法第42条第1項の規定により、市防災会議は毎年、地域防災計画に検	
					現状維持	討を加え、必要があると認めるときは、これを修正しなければならないことから、防災 会議及び分科会による地域防災計画の修正等の業務に係る庶務を継続する必要があ	北江中 春朝
	議及び分科会による地域防災計画の修正等の業務に係る庶務を実施する。 水想定区域の指定対象に中小河川が追加されるに伴い、ハザードマップを更			90		る。 ・洪水浸水想定区域の指定対象に中小河川が追加されたことに伴い、香芝市総合防災マップの更新業務を実施する必要がある。	生活安全部 危機管理課
新する。	対する防災研修を実施する。			87	現状維持	マップの受射素がを実施する必要がある。 ・いつ発生するか分からない大規模災害に備えるため、職員に対する防災研修や訓練 の実施について今後も継続していく必要がある。	
	T					の大力型に フル・ピラ 1文 Grigonic O にいて記事がある。	
⊕–2	防災用品等備蓄事業			100	現状維持	・非常用食料等の数量を維持させるとともに、毛布等については引き続き予算の範囲	
				90		内で数量を増加させていく必要がある。 ・保存年限を迎える備蓄品について、生活困窮者や自治会への配布といった有効活用	生活安全部
	限を迎える備蓄品について、生活困窮者や自治会への配布といった有効活用 つ、更新を行う。			90		を図りつつ、引き続き更新を行っていく必要がある。 ・備蓄品の保管スペースは慢性的に不足しており、今後も指定避難所となっている小	危機管理課
を図りつ	ン、更和を行う。			87	現状維持	中学校等と調整を行っていく必要がある。	
				0.5		【成果の方向性】	
②-1	住宅耐震化啓発支援事業			95	現状維持	「MAKOVAPIET」 ・無料耐震診断事業、耐震改修工事補助事業、耐震シェルター設置工事補助事業の耐震化支援制度を引き続き実施し、木造住宅の耐震化率の向上を図る。	
	震診断補助事業、耐震改修工事補助事業の実施			80		旅行と及前の度とうに参照を表記し、小豆はモジルの原発に早びが引上を図る。 ・耐震改修工事補助事業について、総合支援メニューを活用し、補助制度を行う。 ・広報紙や文書等により、防災意識の向上と耐震化の必要性・重要性の啓発を行う。	都市創造部 都市計画課
耐震シ	フ塀等撤去工事補助事業の実施 エルター設置工事補助事業の実施				現状維持	【コストの方向性】 ・事業実施に必要なコストは前年度と同程度。また国庫補助金を活用する。	和四百대명
・市民ファ	ォーラム「住まいの耐震・リフォームの個別相談会と展示会」の開催			90			
②-2	浸水対策事業			100	TE A DAMA+		
					現状維持	・近年頻発している集中豪雨等による河川氾濫や洪水等の危険性を低減するため、浸	都市創造部
・市管理:	可川及び水路の浸水対策を行う。また、県管理河川に係る事業計画と連携し			100		水危険箇所について継続して対策を行う。 ・浸水地域の解消に向け、継続して現況調査や原因究明を行い、対策を行う。	土木課
て浸水地	1域の解消を促進する。			95	現状維持		
②-3	大和川流域総合治水対策事業			100	現状維持		
				100		・近年頻発している集中豪雨等による河川氾濫や洪水等の危険性を低減するため、ため池を活用した治水対策を行う。	都市創造部
·事業対	象候補地となる市内のため池について、計画・検討を行う。				現状維持	・事業の推進にあたっては、国庫補助金および県補助金を最大限に活用し、財政的負担を軽減していく。	土木課
				95	-元4人がF14		
3-1	消防団活性化事業			100			
	7月70日7月1日1日子木				現状維持	・消防団員の確保は年々困難となってきており、市民への情報発信を継続していく必	
・消防団 ・11月に	の活動や重要性を発信するため、「消防だより」を発刊する。 「防火パレード」、12月末に「年末特別警戒活動(夜警)」を実施する。			82		要がある。 ・災害の多発化・多様化等により、消防団の役割は年々重要となっているため、団員に	生活安全部 危機管理課
消防団:・改組に	全体及び各分団における訓練を実施する。 向けた団員の確保、団員数の維持を図る。			95	現状維持	対する訓練事業を継続して実施していく必要がある。	
•各分団	機庫の設備改修等を実施する。			95			
4 -1	防災意識啓発事業			100	現状維持	・災害の多発化・多様化等により、共助の要である自主防災組織の役割は年々重要と	
.白主肚	 災組織が実施する「防災資機材等の整備」「防災士など防災リーダーとなる人				→元1八和社]寸	・火きの多光化・多様化等により、共助の安でのも自主防火船廠の大利は年代里安となっているため、自主防災組織の活動を支援する補助事業を継続していく必要がある。	生活安全部
材の育成	次配線が失過する「防災負債を付いた。」 事業」「防災訓練などの実施費用」などに対する補助金事業を行う。 前に広報紙で防災に関する特集記事を掲載する。また、防災週間(8/30~			74		・自助・共助の機運を維持・高場させるため、防災に係る情報を広報紙や市公式LINEで周知するとともに、訓練やマニュアル作成の支援を継続していく必要がある。	危機管理課
9/5)IC	別には根が、対象に対するのでは、対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を表があれていません。 付ける出前講座や訓練支援を実施する。			95	現状維持	・市民に対する出前講座や訓練支援を継続して実施する必要がある。	
.,. 2010							

■■ 施策の方向性(改善策)

|--|

							_
担	当課語	平価		成果の	の方向	性	
Α	0	事業		拡充	0	事業	
В	0	事業		現状維持	7	事業	H
С	0	事業		縮小	0	事業	
			•				

成果の	の方向	性	コストの方向性				
拡充	0	事業	拡大	0	事		
現状維持	7	事業	現状維持	7	事		
縮小	0	事業	縮小	0	事		
休廃止	0	事業	休廃止	0	事		

政策名 5 まちと人の安全・安心のために。(安全・安心) 施策名 21 生活安全対策の強化



市民一人ひとりが防犯に関する知識と意識を持ち、地域ぐるみで治安を守りながら、安心して暮らすことができている。



施策の主な取り組み① 防犯意識の向上

市民の防犯意識の向上を図り、自主的な防犯活動を促進することで、安全・安心なまちづくりを推進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	防犯意識啓発事業	毎月の地域安全ニュースの発行や年金給付日に合わせた特殊詐欺防止のための啓発活動など、 積極的な広報活動を実施することで、市民の防犯意識の旧上を図ります。また、香芝警察署や地 域安全推進委員等と連携し、地域の見守り活動を実施します。各地域においては、自治会の自主 防犯組織を支援するとともに、連携のもと、防犯カメラ・防犯灯等の設置を促進します。(関連補 助金に関して、「施策13 地域コミュニティの醸成・活性化 ①自治会活動の支援」に記載してい ます、)	•

◆指標の達成状況

15.1m. 27 14.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.		About 1 A L / He ITT-VIDE	計画当初	目標値		
指標名	単位	算出方法(指標説明)		R6	R10	R14
年間刑法犯認知件数	件	香芝市内における年間刑法犯認知件数(暦年単位)	238	230	220	210
「特殊詐欺」認知件数	件	市内における年間刑法犯認知件数のうち「特殊詐欺」といわれる罪 種別認知件数(暦年単位)	5	5	5	5
市内における年間刑法犯認知件数のうち「住宅対象侵入窃盗」及び 「事業所対象侵入窃盗」といわれる罪種別認知件数の直近4年間の 平均件数(暦年単位)		27	25	22	19	
「こども110番の家」の協力率	%	「子ども110番の家」の協力世帯数/世帯数	4.1	4.3	4.6	5.0

前年度実績値						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
240	230	-		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
7	5	-		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
19	25	-		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
4.0	4.2	4.0		0.0%	0.0%	生活安全部生活安全課

② 消費者保護の推進

多様化する消費者トラブルを未然に防止するとともに、トラブルに対して適切な相談対応を行 うことで被害を最小限に抑えることに努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	消費生活安全事業	市民からの相談に対し、適切に対応できる相談体制を確保します。また、消費生活に係るトラブルを未然に防止するため、多発しているトラブル例や対処方法について、広報などを通じて啓発します。	•

◆指標の達成状況

He law do		About 1 A L (He ITT-VAR)	計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
消費生活相談の解決率	%	助言・情報提供・斡旋・紹介により処理した件数/年間相談件数	92	92	92	92

前年度実績値			今年度の進捗	ŧ		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
95	96	-		0.0%	0.0%	産業振興局

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	
INO.		中心をしき田田石	担当課	3視点	所管判定 成果の方向性	方向性の内容(改善策)	担当所管
	今年度の事業実施計画	実績と課題	実績と課題 評価 (A/B/C)		コストの方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
⊕−1	防犯意識啓発事業			90	拡充		
·地域安全 防犯啓発	全ニュースを毎月(年間12回) 配信し、自治会での印刷・回覧作業協力を得て を行う。			62		・不審電話など特殊詐欺事案が多発しており、認知件数は現時点での暫定値が今年度 目標値を大幅に起過している。大きな被害をもたらしている現状にあることから、啓	生活安全部 生活安全課
・市公式し が予した ・高の ・高の ・主が ・市子 ・「子ども	INEの活用による定期的(年間6回以上)な防犯情報の発信。及び犯罪発生れる緊急時には注意喚起を行うほか、街頭啓発活動やホームページなどを活発活動を実施する。 防犯電話購入補助金交付事業の実施・周知により、高齢世帯における防犯電 を推進し、特殊詐欺被害を抑制する。 全課所管の防犯カメラのSDカード交換を入札により実施する。 置す防犯カメラの管理及び点検を適切に行う。 110番の家、設置協力を自治会に依頼し、設置数の増加を図るとともに、劣 の交換を実施し、子どもの目につきやすい環境を整備する。			90	拡大	発活動に注力する必要がある。 ・引き続き不審電話に関する情報が入り次第、速やかに香芝市公式LINEで注意喚起を行う。 ・引き続き不審電話に関する情報が入り次第、速やかに香芝市公式LINEで注意喚起を行う。 ・啓発回数の目標値は達成済だが、特殊詐欺被害が増加していることもあり、出前講座の実施など、回数を増やすだけでなく、効果を重視した啓発を行っていくため成果の方向性は拡充とする。また、高齢者の特殊詐欺被害を防ぐため、防犯電話購入補助の受付件数を増枠するなどコストにおいても拡大とする。	1 /12/11/11
2-1	消費生活安全事業			72	現状維持	【成果の方向性】 要配慮者の保護を強化できるよう、消費者安全確保地域協議会において関係者との 情報共有を進める。また、広報紙やホームページ上にて相談事例を紹介する等、トラブ ルを未然に防ぐため、要発活動「取り組む、	
・香芝市注 情報を共	肖費者安全確保地域協議会について、会議等を通して要配慮消費者の実態や 有する。			77		情報共有を進める。また、広報紙やホームページ上にて相談事例を紹介する等、トラフルを未然に防ぐため、啓発活動に取り組む。 【コストの方向性】 コストの方向性は現状維持だが、相談業務においてインターネット販売のサイト等を確	産業振興局 商工観光課
	や市ホームページにて消費者トラブルに関する注意喚起や啓発記事を掲載す			87	現状維持	、コストの方向性は現状維持だが、相談業務においてインターネット販売のサイト等を確認するためインターネット接続端末を更新する必要がある。	

担	当課語	平価						
Α	0	事業						
В	0	事業						
С	0	事業						

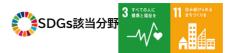


■■施策の方向性(改善策)

5 まちと人の安全・安心のために。(安全・安心) 政策名 施策名 22 交通安全対策の強化



正しい交通ルールやマナーが守られ、誰もが安全で安心して過ごすことができる。



■■ 施策の主な取り組み ① 交通安全対策の推進

香芝警察署と連携した交通安全に関する啓発活動などを行うことにより、市民の交通安全意識の高揚を図り、市民参加型の交通安全活動を推進します。また、駅周辺の自転車駐車場・自動車駐車場の管理や放置自転車等禁止区域での指導・撤去を行い、駐車秩序を保つことで、交通安全の促進を図り、交通違反や交通事故発生の抑制に努めます。

■実施する主な事業

	- 人//// 012 554							
No.	名称	概要	総合戦略					
⊕−1	交通安全対策啓発事業	香芝警察署や関係団体と連携し、交通安全啓発活動及び交通安全立哨活動を実施します。また、高齢者の運転免許証自主返納等を支援します。	•					
①-2	自転車等駐車場管理事業	鉄道駅周辺の交通安全を確保・維持するため、適正で効率的な自転車等駐車場の管理・運営を 行います。	•					
①-3	放置自転車対策推進事業	放置自転車等禁止区域における指導や撤去を行い、放置自転車の解消を図ります。	•					

◆指標の達成状況 (R3申請者数)126/(R1返納者数)252が半数であることから、返納者の半数を変更後の目標値とする。 計画当初 単位 指標名 算出方法(指標説明) (R1) R6 R10 R14 交通事故発生件数 件 年間交通事故発生件数(暦年単位) 182 170 165 160 運転免許自主返納者数 高齢者運転免許自主返納支援事業補助金申請 者数 運転免許自主返納者数(暦年単位) 生活安全課で算出 280 140 件 放置自転車等撤去台数 台 年間放置自転車等撤去台数 117 90 110 100

前年度実績値			今年度の進捗	ŧ		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
147	170	I		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
138	130	65		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
75	90	54	·	0.0%	0.0%	生活安全部生活安全課

② 交通安全施設の整備

交通安全施設を整備することにより、歩行者の安全確保に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
2-1	交通安全施設整備事業	通学路交通安全プログラムなどに基づき、交差点付近の防護柵設置などの安全対策を実施します。	•

◆指標の達成状況

No. let .		Maria I VI (III IV IV IV	計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
施設整備率	%	対策済みの箇所数/通学路交通安全プログラムに基づく要対策箇所数(累計)	85	95	100	100

前年度実績値			今年度の進捗	7		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
78	85	86		0.0%	0.0%	都市創造部

■実施する主か事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	1
110.	学 术日		Im. I. m	3視点	所管判定	十 六 ₩ 5 + 5 / 5 + 5 (5)	
		実績と課題	担当課 評価	必要性	成果の方向性	方向性の内容(改善策)	担当所管
	今年度の事業実施計画	天順と沐辺	(A/B/C)	有効性		※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
			(, (, B, C)	効率性	コストの方向性	現代を以告し、同めていくための万束寺に プいて記入	
⊕–1	交通安全対策啓発事業			77	現状維持	・毎月1回の街頭立哨指導を行い、継続して児童等の交通安全啓発に努める。 ・商品まの自動車が選集がおけるため、コントラー・バス原体事事がおりてが開始会会	
	る毎月1回の街頭立哨のほか、地域における交通安全啓発活動を定期的(月 -)に行う。					・高齢者の自動車交通事故を防ぐため、コミュニティバス優待乗車証および補助金交付事業を通じて、引き続き免許返納を促進していく。	生活安全部
- 1凹以」 高齢者道	これに行う。 運転免許証自主返納等支援制度を継続実施・周知し、運転に不安を感じる方			85		・・高齢者ペーパードライバー講習など交通安全運動期間におけるイベント実施につい	生活安全
)自主返	納を促進する。					ても、期間後の問合せなど事業ニーズがあることから継続して実施していく。 ・交通安全に関して、ホームページや公式LINE、広報紙など、多様な手段での広報周	工加及工
春・秋の	交通安全運動期間に合わせ、年齢や属性に応じた交通安全啓発(イベント、チ 発物品の配布等)を行う。				現状維持	知に引き続き努める。	
	TNEやホームページの活用により、定期的(年間6回以上)に交通安全啓発を			82			
うう。							
①-2	自転車等駐車場管理事業			72	現状維持	・指定管理者の選定については、現在作業中である。	
自転車馬						・自転車駐車場について、コロナ禍以前の水準には達しないものの、令和2年度から令和4年度にかけて回復傾向にあることから、鉄道の利用者数推移など、利用実態を検	
香芝市シ	ルバー人材センター協議会を指定管理者として運営・管理を行う。 理者の指定期間が令和5年度末で満了となるため、令和6年度以降の指定			74		証する必要がある。	生活安全
	1年10日に発用の下位3年度末で両」となるため、下位0年度以降の日に			74		・近鉄下田駅自転車駐車場については、今年度は実施設計を行っており、令和6年度	生活安全
	日駅地下自転車駐車場の中規模改修について、詳細設計の入札を行い、翌年					以降に照明改修など工事着手の予定である。 ・自動車駐車場について、コロナ禍の最中に現在の無人管理による運営を開始し、今	
自動車馬	必要な資料を入手する。 ・車場) グループを指定管理者として無人での運営・管理を行う。 車室の3室を活用し、カーシェアリングを行う。			72	現状維持	年度にはコロナ禍前の利用者数水準まで回復する見込みである。	
⊕–3	放置自転車対策推進事業			69			
					現状維持		
++	* 士幼乳 おきか ナカウロン リ ボート はっこう はい 美クロチャン かき カーチャン					・引き続き駅周辺における放置自転車移動および保管所における返還業務を委託し、 放置自転車対策事業を実施する。	
放直日準 割辺の放	宝車移動指導業務を奈良県シルバー人材センター協議会に委託し、鉄道各駅 置自転車禁止区域内の違法駐輪対策を実施する。			87		・令和元年度以降、撤去台数が減少し、アフターコロナ下で放置自転車台数は現状微増	生活安全
自転車係	発管所における自転車保管・返還業務を香芝市シルバー人材センター協議会					である。鉄道利用者数の推移も注視し、今後の事業計画を検証する。	生活安全
	撤去自転車の保管管理及び返還手続きを速やかに実施する。 5車禁止区域における看板及び区域図の状況を把握調査し、看板等の更新を				TEVT7-0#4#	・自転車等放置禁止区域看板について、劣化状況に応じて改修する。	
	3年示正区域にの17つ4位及び区域図の4次で17推嗣直び、4位等の更利で 引き続き実施する。			77	現状維持		
撤去後一	-定期間が経過した自転車を処分告示後に売払処分する。			, ,			
	交通安全施設整備事業			95	現状維持		
②-1			1		シロ・レイル圧 1-7		
②−1						通学路安全プログラムが再新されるたびに 増加する悪対策簡配の敷礎を継続して宝	邦市创造
				85		通学路安全プログラムが更新されるたびに、増加する要対策箇所の整備を継続して実施する。	都市創造 公園道路管3
	マ全プログラムに基づき、要対策箇所の整備を行う。			85 95	現状維持		

■■ 施策の方向性(改善策)

担	当課詞	平価				
Α	0	事業				
В	0	事業				
O	0	事業				

	成果の	の方向	コスト	の方向	句性								
	拡充	0	事業	拡大	0	事業							
	現状維持	4	事業	現状維持	4	事業							
	縮小	0	事業	縮小	0	事業							
Ī	休廃止	0	事業	休廃止	0	事業							

政策名 6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤) 施策名 23 環境問題への取り組み強化

☆目指す姿

みんなが環境について自ら考え、環境に配慮した生活・活動を実践している。









■■ 施策の主な取り組み ① ごみ減量と資源化の推進

市民・事業者・行政の協働のもと、ごみの発生抑制、新たな資源化を推進し、環境への負荷を減らします。

■実施する主な事業

I	No.	名称	概要	総合戦略
	①-1	ごみ減量及び資源化推進事業	ごみの発生・排出抑制のための各種事業(電動式生ごみ処理機の購入補助、集団資源回収奨励、マイバッグ運動など)や分別・収集に係るルールの見直し、リユースイベント等を実施します。	_

◆指標の達成状況

▼ 1日1示V/EPX1/\////						
III To to	単位 算出方法(指標説明)		計画当初		目標値	
指標名			(R1)	R6	R10	R14
1人当たりの1日のごみ排出量	g	家庭系ごみ総量/365日/人口	675	533	533	533
ごみの資源化率	%	資源化量/家庭系ごみ総量	14.5	23	23	23

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
630	582	-		0.0%	0.0%	市民環境部 廃棄物対策課
12.9	17.9	-		0.0%	0.0%	市民環境部廃棄物対策課

② 環境保全対策の推進

市民の環境に対する意識向上を促し、市内の環境保全を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	不法投棄防止啓発事業	不法投棄の温床になりやすい現場に対し監視カメラの設置、パトロール、啓発看板等で対策する とともに、定期的に不法投棄物を撤去します。	•
②-2	生活環境保全事業	環境に関する情報発信、あき地所有者への雑草除去通知、環境調査、公害苦情対応等を実施し ます。	•

◆指標の達成状況

▼田宗の连成仏ル						
the tree do		Article 1 x 1 / Hz ITT-VPD	計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)		R6	R10	R14
不法投棄相談件数	件	相談件数	25	23	21	19
公害苦情相談件数	件	相談件数	45	38	31	24

前年度実績値			今年度の進捗	ŧ		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
14	24	14		0.0%	0.0%	市民環境部 廃棄物対策課
37	35	10		0.0%	0.0%	市民環境部環境対策課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価 今後の方向性					
140.	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
⊕−1	ごみ減量及び資源化推進事業			69	現状維持		
・新聞、雑種団体に ・家庭内	誌、ダンボール等、再生利用可能な一般廃棄物を集団回収するPTA等の各 対し、奨励金の交付を実施する。 ・発生する生ごみ等の減量のため、電動式生ごみ処理機を購入される方に対			75		集団資源ごみ回収及び生ゴミ処理機補助金については、良好な状態にあるが、食器を リユースする「ええもんクルッと市」ついては、機構改革により課が収集センターに移 転しほぼできていない状態にある。 今後において、「ええもんクルッと市」の実施ついては検討が必要であるが全体的には 良好な状態であるので現状維持とした。	市民環境部 廃棄物対策課
し、購入会・まだ使え	を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			72	現状維持	ってにあいて、「えんもんブルッという」の美術。というは快いか必要であるが生体的には 良好な状態であるので現状維持とした。	
⊘−1	不法投棄防止啓発事業			87	現状維持		
				85		重点パトロール地区については、不法投棄は現段階でなし。	市民環境部
·不法投	要を抑制するため、広報活動及び監視パトロールを実施する。 要を抑制するため、通報があれば必要に応じて不法投棄物を撤去する。					市内の14カ所で公共施設(道路・公園)での不法投棄が発生したが公園道路管理課と 連携をとり速やかに対応できている。	廃棄物対策課
・不法投資	様を抑制するため、監視カメラの保守点検等の管理を行う。			90	現状維持		
②-2	生活環境保全事業			90	現状維持	生活環境保全は、市民生活に密接に関わる部分であるため、引き続き必要な事業である。この事業を推進することは、上位施策である「環境問題への取組み強化」の目標達	
				90	50 5 (Mar) 0	成にも寄与するものであり、今年度行っている各事業に関しても、以下のとおりとなっているため、現状を維持していく。 ・環境に関する広報等の情報発信は、環境基本計画上の主な取組にも挙げており、季	市民環境部
·所有者/	かるテーマを広報やHPにて発信し、市民への周知・関心を高める 、の雑草除去通知送付及び所有者から委託された雑草除去の実施					・環境に関する広報等の情報発信は、環境基本計画上の主な取組にも挙げており、季節に合わせた話題で広報テーマ(夏は臭いや雑草、秋からは野焼き等)を決めて掲載を	環境対策課
·公害苦竹 騒音·環均	情、騒音・振動・悪臭」の聞き取り及び行為者への改善依頼や公害調査(自動車 態騒音・河川の大気汚染・水質検査)の実施			90	現状維持	新に合わけた話題で広報テーマ(夏は臭いや雑草・秋からは野焼き等)を決めて掲載を しており、そういった内容に関する問い合わせは多数いただいていることから、継続し ていくべきと考える。 ・公害苦情やあき地の雑草に関する苦情については、随時受け付けており、対応とし て、関係者への声掛けや広報啓発等を行い、市民生活の質向上に貢献していく。	





■■ 施策の方向性(改善策)

担	当課評	平価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業

·									
成果(の方向	性	コストの方向性						
拡充	0	事業	拡大	0	事業				
現状維持	3	事業	現状維持	3	事業				
縮小	0	事業	縮小	0	事業				
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業				

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 88-89 ページ)

政策名 6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤) 施策名 24 自然環境・景観の保全

☆目指す姿

街路や公園、河川などが綺麗に保たれていて、一人ひとりがその状態を維持しようと努めている。









■■ 施策の主な取り組み ① 美しい自然環境・景観の保全

まちを形成する道路や公園、河川および森林の適切な管理により、美しい自然環境・住環境の 保全を図ります。また、美しいまち並み景観の形成および屋外広告物の適正な管理を図るとと もに、地域を主体とした景観形成の仕組みづくりを推進します。

■美洲	はする王な事業		
No.	名称	概要	総合戦略
⊕-1	街路美化推進事業	まちを形成する道路等について、定期的な草刈り、剪定などの美化作業を行います。また、地域 の美化活動を促進します。	•
⊕−2	都市公園維持管理補修事業	誰もが安全、快適に利用できる公園環境のための適切な維持管理を行います。	•
⊕–3	河川維持管理事業	河川・水路の定期的な点検・美化清掃・維持補修を行うとともに、土砂上げ等など適切な維持管理により、河川の氾濫を抑制します。	•
①-4	屋外広告物規制事業	良好な景観・風致を維持するために、広告物掲出時の指導・啓発を行うとともに、違反広告物の 除却作業を行い、その削減に努めます。	-

◆指標の達成状況

15 IT 6		労力 第中十六/杉神芸PP/			目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
森林·街路·公園維持管理面積	ha	維持管理体制の整っている森林面積、街路植樹面積、公園面積の総数(累計)	44	44	77	130

前年度実績値		今年度の進捗							
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管			
45	45	45		0.0%	0.0%	都市創造部 公園道路管理課			

■実施する主な事業の評価

No	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性				
No.	争耒石		担当課	3視点	所管判定 成果の方向性	方向性の内容(改善策)	担当所管	
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価 (A/B/C)	必要性 有効性 効率性	コストの方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
⊕–1	街路美化推進事業			95	拡充			
. 空期的力	☆街路樹の剪定を実施する。			95		定期的に草刈り、剪定を実施しているが、草木の生育に対して、剪定が追い付いていない箇所に加え、新規の要剪定箇所も発生しており、剪定回数や箇所を増やして実施する。	都市創造部 公園道路管理語	
* 75种内外	が、日本のでは、「は、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」、「は、」			90	拡大			
①-2	都市公園維持管理補修事業			95	拡充			
・定期的な	な都市公園内における樹木の剪定を実施する。 な公園内における遊具の点検を実施し、危険度の高い箇所から改修を実施す			95		定期的に草刈り、剪定を実施しているが、草木の生育に対して、剪定が追い付いてい ない箇所に加え、新規の要剪定箇所も発生しており、剪定回数や箇所を増やして実施 する。	都市創造部 公園道路管理課	
る。	な公園/内にのける返来が点快を夫施し、心 灰 皮が高い園がかつ以野を夫施り	「国内はつ人味をも大地は		90	拡大			
⊕–3	河川維持管理事業			95	拡充			
·河III*>>	K路の土砂撤去や草刈り等を実施する。			95		定期的に土砂撤去やしゅんせつを実施はしているが、堆積が早いため、今後は回数を 増やして実施する。	都市創造部 公園道路管理語	
- 743711 1-2	NEOソエルIMA ドキバッグ そこ 大肥り る。			90	拡大			
①-4	屋外広告物規制事業			67	現状維持	【成果の方向性】 ・引き続き、屋外広告物の許認可事務を適正に行う。		
中和幹線	与物の新規、継続、撤去等許認可事務 象の良好な景観形成に努める			75		【成果の方向性】 ・引き続き、屋外広告物の許認可事務を適正に行う。 ・引き続き、屋外広告物の許認可事務を適正に行う。 ・これまで行なってきた違反広告物の簡易除却活動により、違反広告物は減少しているが、良好な景観形成及び公衆に対する危害の防止の観点から、違反広告物のさらなる減少にさけ、今後も関係機関との協力体制は継続する。 【コストの方向性】 ・引き続き事業を実施していくため、コストは前年度と同程度とする。	都市創造部 都市計画課	
·違反広告 ·屋外広告	告物の簡易除却活動 告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発			72	現状維持	【コストの方向性】 ・引き続き事業を実施していくため、コストは前年度と同程度とする。		



■■ 施策の方向性(改善	善策)
次年度の方向性	

担	当課語	平価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業

成果の	性	コストの方向性				
拡充	3	事業	拡大	3	事業	
現状維持	1	事業	現状維持	1	事業	
縮小		事業	縮小		事業	
休廃止		事業	休廃止		事業	

政策名 6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤) 施策名 25 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成

☆目指す姿

良好な市街地が形成され、誰もが安心して自由に快適に移動できている。



施策の主な取り組み① 良好な市街地の形成

社会情勢の変化にともなう新たな課題や住民のニーズに対応するため、まちづくりに関する計画の策定や見直しを進めるとともに、管理不全な空き家等の発生抑制など、適正な土地利用を推進します。

■実施する主な事業

Ì	No.	名称	概要	総合戦略
	①-1		空き家管理の重要性を周知するため、所有者等への情報提供を行うとともに、問題のある空き 家等の把握に努め、所有者等による適正な管理や活用を促進します。	•

◆指標の達成状況

▼ 1日 1八・フ 足 1人			計画当初	目標値		
指標名	単位 算出方法(指標説明)		(R1)	R6	R10	R14
空き家率	%	空き家数/住宅総数	8.2	8.2	8.2	8.2

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
_	1	-		#VALUE!	0.0%	都市創造部 都市計画課

② 持続可能な地域公共交通の確立

地域公共交通を維持していくために、モビリティマネジメントや交通弱者の外出支援など実施し、持続可能な地域公共交通の利用促進に取り組むことで、誰しもが移動しやすい快適な暮らしの提供に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	地域公共交通事業	民間の公共交通機関との連携を図りながら、地域公共交通(コミュニティバス、デマンド交通)を 運営します。また、モビリティマネジメントなど実施し、地域公共交通の利用促進に取り組みま す	•

◆指標の達成状況

15. 一		举件			目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
コミュニティバス利用者数	人	コミュニティバスの利用者数	58,660	65,000	65,000	65,000
デマンド交通利用者数	人	デマンド交通の利用者数	43,478	47,000	47,000	47,000
JR西日本の利用者数	千人	JR西日本市内3駅の利用者数(奈良県統計年鑑発表年度の数値であり、利用実績値としては各2年前のデータ)	1,576	1,576	1,576	1,576
近畿日本鉄道の利用者数	千人	近畿日本鉄道市内5駅の利用者数(奈良県統計年鑑発表年度の数値 であり、利用実績値としては各2年前のデータ)	8,913	8,913	8,913	8,913
奈良交通の利用者数	千人	奈良交通市内バス4路線の利用者数	1,679	1,679	1,679	1,679
タクシー(西大和交通圏)の利用者数	千人	西大和交通圏全体のタクシーの利用者数	865	865	865	865

前年度実績値			今年度の進捗	5		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
41,887	45,500	22,460		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
44,658	47,000	23,767		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
1,290	1,355	-		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
6,904	7,587	-		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
1,680	1,661	-		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
_	692	_		0.0%	0.0%	生活安全部生活安全課

■実施する主な事業の評価

	他する王な事業の評価						
No.	事業名	今年度の事業評価			=======================================	今後の方向性	
110.	今年度の事業実施計画	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
⊕−1	空家等対策関係事業			87	現状維持	【成果の方向性】 ・空き家等の除却、利活用に対する補助制度を引き続き実施し、安心・安全の確保につなげるとともに、地域活性化への活用を図る。	
・管理不会サービス	全の空き家所有者等に対し、所有者等の責務を周知するとともに空き家管理 、市場流通の促進を図る等の情報提供を行う。 か除却、利活用補助事業の実施。			85		・建物所有者等に対し適正な管理について周知を図り、管理不全の空き家が解消されるよう働きかける。 ・広報紙等により、空き家に対する適正管理について啓発を行い、空き家の発生を予防する。	都市創造部 都市計画課
・納税通知	の原本、利活用補助事業の失應。 知書の送付機会を活用し、建物所有者等へ空家に関する情報提供を行う。			82	現状維持	109 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
②-1	地域公共交通事業			85	現状維持		
図る。 ・新たに導	ミュニティバスについて、老朽化している残り2台の車両を更新し、安全・安心な運行を 入するバス車両について、新たな利用を促すために、ラッピングデザイン案を市立中学			72		・市民の日常の足として生活の充実に寄与していることから、引き続きコミュニティバ ・スおよびデマント交通の運行を継続していく。	生活安全部
・安全な運・香芝市地	に作成を依頼する。 マンド交通について、インターネット予約を導入し、予約手段の充実を図る。 行管理を実施するため、定期的に運行事業者との協議を実施する。(月1回以上) 域公共交通計画推進のため、香芝市地域公共交通活性化協議会を開催する(5月・8			72		入のみび / マンド 文地の / XE1 で 配売的じ C いへ。	生活安全課
香芝市地域 局より再度 ・モビリテ	月開催予定)。 日まり開始したコミュニティバスの実証運行の乗降者データを分析し、令和4年度の 線公共交通活性化協議会において継続審議となった、停留所の廃止基準について事務 建議案を提出する。 は深なくだけでは前講座など、市民の声にふれる機会を通じ、公共交通の親和度及び 場め、利用促進を図る。			77	現状維持		

$\overline{}$	
`	

担	当課評	严価
Α	0	事業
В	0	事業
С	0	事業

成果の	の方向	性	コスト	の方向	向性				
拡充	0	事業	拡大	0	事業				
現状維持	2	事業	現状維持	2	事業				
縮小	0	事業	縮小	0	事業				
休廃止	0	事業	休廃止	0	事業				

		+1-4-	≁	44.	(改善策	-
=	=	施 (表)	nh	10114	(ਟV = ਰ	5
		ルじンペヽ	,,,,	ᄓᄀ	190 000	۲,

政策名 6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤) 施策名 26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実

☆目指す姿

バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。









■■ 施策の主な取り組み ① 公園整備の推進

身近な場所において、余暇を楽しむ機会を増やすため、安全・快適に利用できる公園の整備を図ります。また、多くの人が集い、活動できるスポーツ公園、総合公園の整備を進め、地域の賑わいの場とします。

■実施する主な事業

	- X/18 / G - O - F / F									
No.	名称	概要	総合戦略							
⊕-1	① 一1 香芝市スポーツ公園整備事業 恵まれた自然環境の中で、市民の誰もが安全で自由に遊び、多様なスポーツが行える公園的に整備します。									
①-2	街区公園·親水緑地整備事業	市内全域の配置を踏まえ、ため池を利用した親水公園など事業地の確保を検討し、公園・緑地の整備を図ります。	•							
①-3	香芝総合公園整備事業	周辺環境との一体的整備を基本とし、全体的な整備内容等の見直しを図ったうえで、計画的に事 薬を推進します。	•							

◆指標の達成状況

+ 3H 19/-> × ZE194 b 7/9			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
住民1人当たりの都市公園の敷地面積	m	都市公園面積/人口	5.1	5.5	6.8	7.9

光左连由 使度		人左连办状业								
前年度実績値		今年度の進捗								
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度	目標達成度 (R6年度比)	担当所管				
5.2	5.2	5.2		0.0%	0.0%	都市創造部				

② バリアフリー化の推進

バリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障がい者をはじめ、すべての人にやさしいまちづくり を進めます。

■実施する主な事業

	3 / O T 0. 7 //		
No.	名称	概要	総合戦略
2-1	バリアフリー推進事業	香芝市パリアフリー基本構想に基づき、特定事業の進捗を管理し、パリアフリー化を推進するとともに、パリアフリー教室の開催などにより「心のパリアフリー」を推進します。	•
②-2	歩道等バリアフリー化事業	段差の解消や視覚障がい者用誘導ブロック・スローブ等の設置により、歩道等のパリアフリー化 を推進します。	•
②-3	既存道路バリアフリー化事業	香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区内の道路について、用地取得をともなう歩 道の設置や道路構造の改良を行うことで、歩行空間の確保を目指します。	•

◆指標の達成状況

▼ 10 1× × × × × × × × × × × × × × × × × ×							_
			計画当初		目標値		1
指標名	単位 算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14		
重点整備地区内のバリアフリー特定事業完 了率	%	特定事業(バリアフリー化工事等)が完了した事業数/特定事業の全事業数	32.9	54.4	73.8	100	

前年度実績値						
(R4)	目標値 中間値 (9月末)		実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
47.0	54.4	-		0.0%	0.0%	都市創造部

③ 地域拠点としての駅周辺整備

駅利用者の利便性の向上および安全性の確保を促進します。

■実施する主な事業

ı	No.	名称	概要	総合戦略
	3-1	駅周辺整備事業	鉄道事業者をはじめとする権利者および関係機関と協議し、合意形成に至った箇所について整備します。	•

◆指標の達成状況

7 3 14 1731 - 2 70001 7 4 17 17 1			計画当初	目標値		
指標名	単位 算出方法(指標説明)		(R1)	R6	R10	R14
駅周辺整備率(踏切・暫定広場整備を含む)	%	整備した箇所数(累計)/整備対象箇所数	68	72	72	76

前年度実績個			今年度の進捗	-		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
72	72	72		0.0%	0.0%	都市創造部 土木課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	
IVO.	丁 未口		担当課	3視点	所管判定		+D \1/=C**
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価	必要性	成果の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	担当所管
	/ 1 X 7 7 7 7 7 100 1 E		(A/B/C)	有効性 効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
⊕−1	香芝市スポーツ公園整備事業			72	現状維持		
	スポーツ公園(プール区域)において、プール施設の建築工事及び仮設駐車場 事を行う。			62		・一塊の事業用地が確保できた箇所から、段階的整備による事業効果の早期発現に向け工事に着手する。・事業用地の取得がボトルネックとなっているため、引き続き交渉を行う。	都市創造部 土木課
	事で17。 物等の価格算定を行い、地権者に対して用地交渉を行う。			87	現状維持	The Decision of the Control of the C	
①-2	街区公園·親水緑地整備事業			75	現状維持	・市内全域の公園・緑地の配置や地元要望等を踏まえた中で、新たな街区公園や親水	
	よ事業実施箇所はないが、今後の事業実施に向けて関係機関(自治会等)と協			95		緑地の整備箇所の検討を行う。 ・次年度は設計・工事事業がないため、事業計画額としては縮小だが、将来の整備に向	都市創造部 土木課
議を進め	っていく。			87	現状維持	け国庫補助金を最大限に活用できるよう事業を進める。	
⊕–3	香芝総合公園整備事業			82	拡充	【成果の方向性】 ・事業用地の取得が概ね完了することから、事業化に向けて、整備基本構想の策定や 実現に向けた方策を記した基本計画の策定を進める、あわせて、計画区域の見直しを	****
	園事業用地取得に係る地権者との協議			85		含む都市計画変更手続きに向けて関係機関との協議を進めていく。 ・総合公園内園路の除草、樹木剪定、側溝清掃等は引き続き実施する。	都市創造部 都市計画課
·総合公	園内園路の除草、樹木剪定、側溝清掃等の実施			82	拡大	【コストの方向性】 ・総合公園の整備に向け、基本計画策定等にかかるコストが拡大。	
②-1	パリアフリー推進事業			90	現状維持	【成果の方向性】 ・JR香芝駅パリアフリー化事業については、予定通り実施されるよう、事業進捗をJR に適宜確認する、また必要に応じて関係機関と協議を行うとともに、住民に対し当該	
事業費補	総合改善事業費補助事業(JR香芝駅)及び鉄道駅バリアフリー化設備等整備 助事業(近鉄五位堂駅)の実施			90		事業の広報・周知を行う。事業完了後は、速やかな報告書の提出を求めるとともに、補助金を交付、補助金の交付決定については、国・奈良県と協調して実施する。	都市創造部 都市計画課
心のバ	フリー教室の開催 Jアフリーに関する広報・啓発 フリー基本構想(特定事業計画)の進捗管理			95	現状維持	・目標達成に向け、パリアフリー基本構想に位置づけた事業の進捗管理を行なう。 【コストの方向性】 ・引き続き事業を継続していくため、コストは現状維持とする。	
②-2	歩道等バリアフリー化事業			80	現状維持		
・南羊に	丘西廻り線歩道のパリアフリー化工事を実施する。			95		今後も引き続き、香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区に位置づけられた 歩道のバリアフリー化の促進を図る。	都市創造部 公園道路管理課
・具実ケ	エ凶廻り稼歩垣のハリアフリー化工事を美施りる。			95	現状維持		
②-3	既存道路バリアフリー化事業			95	現状維持	. 今年度日本的今の割入中に口上しませてきたがったが、7年度日中中の4年とにこ	
	S#### ^/표현해하는데 \ 세셔드보드라! 구민바차보소()			55		・今年度は補助金の配分状況により実施できなかったが、次年度は用地取得を行う。 ・高齢者や障がい者の視点に立ったきめ細かい事業計画により、切れ目なく事業を実施し、コスト増大を防ぐ。	都市創造部 土木課
・工地・賃	物等の価格算定を行い、地権者に対して用地交渉を行う。			95	現状維持	3501-211 PEACHA 10	
3-1	駅周辺整備事業			95	現状維持	・未整備地区について、地元自治会や鉄道事業者との協議を踏まえ、整備方針等を検	
`=#-				87		討していく。 ・調査検討及び協議の結果、整備方針が固まった場合は、国庫補助金等を活用しなが	都市創造部 土木課
* 江坎—	上駅周辺整備について調査・検討を行う。			87	現状維持	ら、交通空間としての機能性を最大限向上できるよう事業を進める。	

■■ 施策の方向性(改善策)





政策名 6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤) 施策名 27 道路整備の充実

☆目指す姿

交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。









■■ 施策の主な取り組み ① 幹線道路の整備

幹線道路のネットワーク強化を図るため、計画的に整備を進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
⊕-1	主要幹線道路整備事業	都市計画道路の整備を段階的に進めます。	•

▲指標の達成状況

_	▼拍标の连风水流						
Γ				計画当初		目標値	
	指標名	単位 算出方法(指標説明)		(R1)	R6	R10	R14
	都市計画道路供用済延長	km	これまでに供用を開始した都市計画道路延長(累計)	27.3	27.7	28.6	30.1

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
27.3	27.3	27.3		0.0%	0.0%	都市創造部 土木課

② 生活道路等の安全性の確保

安全性や緊急性による優先度を踏まえ、生活道路等の適切な管理・整備を進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
⊘−1	道路維持管理補修事業	道路の路面状況等を把握するため、定期的なパトロールを行うとともに、市民から寄せられた情報などをもとに補修を行います。	•
②−2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	「香芝市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋の安全性・耐用年数の向上を図るため、修繕工事を実施します。	•
②-3	道路新設改良事業	道路の新設・拡幅整備を推進し、特に拡幅整備においては、部分的な待避所の設置や隅切りな と、状況に応じた整備を図ります。	•

◆指標の達成状況

¥ 311 131 × 221 36 17 17 0						
			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
市道の新設・改良箇所数	箇所	市道において、新設・改良工事を実施した箇所数(令和2年度からの 累計)	0	4	8	12

前年度実績値			今年度の進捗	7		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
10	14	11		0.0%	0.0%	都市創造部

■実施する主な事業の評価

No	市 型々	今年度の事業評価				今後の方向性	
No.	事業名		担当課	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	10.11.76
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価	必要性	成果の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
	/十区07年未入1861日		(A/B/C)	有効性 効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
⊕−1	主要幹線道路整備事業			100	現状維持	田地の個を与フしも焼ぎもと原復して東に菓チナス・ナル・ナの個田地については	
·尼寺関/	星線及び畑分川線の築造工事を行う。			69		・用地取得が完了した箇所から順次、工事に着手する。また、未取得用地については、 引き続き交渉を行う。 ・香芝市スポーツ公園整備事業と同一地権者である用地について、交付金の配分調整 を行うなど一体として事業を進める。	都市創造部 土木課
・土地・廸	物等の価格算定を行い、地権者に対して用地交渉を行う。			87	現状維持	を行うなど一体として事業を進める。	
2-1	道路維持管理補修事業			95	現状維持	・香芝市舗装長寿命化計画における、分類B,Cである都市計画道路については、劣化	
. 路面性:	犬調査の結果と現状確認を合わせて、緊急度の高い路線から補修を実施す			85		・香芝市舗装長寿命化計画における。分類B、Cである都市計画道路については、劣化 度が高い路線の改築を実施して長寿命化を引き続き図る。 また、分類Dである生活道路においては、劣化度に加え、地元要望も加味して、長寿	都市創造部 公園道路管理調
る。	/Bipi豆V/FID C C TIVE C、TANOX VIBIO BHWW JIMPS C 大心 5			95	現状維持	命化を図る。	
2-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業			90	現状維持		
-5年1回	の点検実施に該当する橋梁の点検を実施する。			95		今後も引き続き、橋梁、大型カルバート及び歩道橋において5年に1度の定期点検を実施するとともに、点検結果を基に要対策となった橋梁の修繕を実施する。	都市創造部 公園道路管理:
・点検結	シニステルのには、ゴサントは、アンストのでは、アンストランスのできます。 現により修繕が必要になった橋梁の修繕を実施する。			95	現状維持		万国之时日
②-3	道路新設改良事業			100	現状維持	・複数の重要館所における連絡を持ち、またのに実施するかど、 生物の両を やん ぬ	
				74		・複数の事業箇所における測量や設計を一体的に実施するなど、進捗管理を強化・徹底することにより、事業のスピードアップを図る。 ・市の財政員担を畳小にするような事業手法等を検討し、国庫補助金も活用しながら、総合的なコストを考慮した中で事業を進める。	都市創造部
・市内の	夹あいな道路の整備(拡幅工事等)を推進する。				TB/T/04++	・中の財政員担を取引にするような事業于法寺を検討し、国庫補助金も活用しながら、 総合的なコストを考慮した中で事業を進める。	土木課
				95	現状維持		

■■ 施策の方向性(改善策)

|--|







令和5年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 97-98 ページ)

6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤) 政策名 施策名 28 上水道の基盤強化

☆目指す姿

「快適な水道サービスと安定した水道事業を目指して」という基本理念の実現に向けて、 安心・安全・強靭な水道事業の運営が行われている。



■■ 施策の主な取り組み ① 安心・安全・安定した水道の供給

管路の耐震化および施設の適切な維持管理により、安心・安全な水道水の安定供給に努めます。また、応急給水用品の整備や飲料水貯水槽施設の設置などにより、災害時の持続可能な供給体制の充実を図ります。

■実施する主な事業

ſ	No.	名称	概要	総合戦略
	⊕-1	水道施設更新事業	漏水の可能性のある老朽管の更新及び最重要管である口径300mm以上の基幹管路の耐震化を重点的に行います。	•

▲指標の達成状況

▼拍悰の连戍仏流	7日1500年以代ル							
	No. 100 April 10		計画当初		目標値			
指標名	単位	算出方法(指標説明)		R6	R10	R14		
基幹管路の耐震化率		基幹管路(口径300mm以上の配水管)の耐震管の累計総延長/基幹管路総延長	11.9	28.6	45.3	62.1		

前年度実績値									
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管			
14.6	14.6	14.6		0.0%	0.0%	上下水道部 工務課			

② 健全な水道事業の運営

適正な水道料金を維持し、適切なサービスを継続して提供できるよう、健全な水道事業運営に 努め、今後県域水道一体化の検討も含め、経営基盤の強化を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②−1	水道事業の経営健全化事業	委託業務の適正化や事務の効率化に取り組み、効率的な事業運営に努めます。また、ホームページ等による情報提供やお客さまのニーズに合ったサービスの提供に取り組みます。	•

◆指標の達成状況

			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
経常収支比率	%	経常収益/経常費用	113.8	100以上	100以上	100以上

前年度実績値		今年度の進捗						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管		
101.0	100以上	-		0.0%	0.0%	上下水道部 業務課		

■実施する主な事業の評価

	ラ年度の事業評価 今後の方向性 ウェ									
No.	事業名	ラ牛及の争未計画			=C 66 Wile	フ核の方円は				
	777.2	クログライン という		3視点	所管判定 成果の方向性	方向性の内容(改善策)	担当所管			
	今年度の事業実施計画			必要性	成未の方向主	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	꼬크까를			
	7个及00字未入1661回		(A/B/C)	有効性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入				
				効率性						
⊕-1	水道施設更新事業			90	現状維持	【成果の方向性】				
				75		アセットマネジメントの更新計画に基づき、継続的に更新工事を実施する。	上下水道部			
・配水管の	の更新事業(15件)			75		【コストの方向性】 施設改良事業を可能な限り集約する等、効率化を行い、工事費の削減に努める。				
·鉛製給z	水管取替の実施(39戸)			75	現状維持	施設改長事業を可能な限り集約する寺、効率化を行い、工事費の削減に労める。				
				, 0						
2-1	水道事業の経営健全化事業			90	現状維持	【成果の方向性】				
					現状維持	【成果の方向性】 令和7年度の県域水道一体化事業統合に向けて、引き続き細部の検討と協議を進め				
・県域水道一体化に向けて、関係機関と共に諸調整を行う。				80		న్న	トト水道部			
						「コストの方向性】 県域水道一体化を見据えつつ、費用対効果や業務の必要性を鑑みた上で、引き続き業 家素紙の適正化や仕様の興味を行う。	業務課			
・業務委託	托の更なる適正化に向けて、業務仕様の検討などを行う。			80	現状維持	務委託の適正化や仕様の調整を行う。				





■ 施策の方向性(改善策)

6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤) 政策名 施策名 29 下水道の整備



下水道が安定的に機能し、誰もが衛生的に暮らすことができている。



■■ 施策の主な取り組み ① 下水道の整備・更新

管渠整備を促進し、普及率の向上を図るとともに、管路施設老朽化の防止に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	公共下水道管渠整備事業	幹線管渠の整備を進めるとともに面的整備を進め、供用開始区域の拡大と普及率の向上を図ります。また、管路施設の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、施設の更新を行います。	•

▲指標の達成状況

▼指標の建成水流						
			計画当初		目標値	
指標名	指標名 単位 算出方法(指標説明)		(R1)	R6	R10	R14
下水道の人口普及率	%	下水道処理人口(下水道を利用できる人数)/住基人口	73.2	80.4	87.7	95

前年度実績値		今年度の進捗								
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管				
77.7	80.0	77.8		0.0%	0.0%	上下水道部 下水道課				

② 水洗化の促進

公共下水道への未接続世帯に対し、下水道への接続を促すことにより、水洗化の普及促進および水洗化率の向上に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
⊚−1	水洗化促進事業	供用開始区域において、下水道の未接続世帯に対し個別訪問し、接続の促進を行います。	•

◆指標の達成状況

4 1H 197-1-7-1-7-1-7-1-7-1-7-1-7-1-7-1-7-1-7-								
			計画当初		目標値			
指標名	単位	算出方法(指標説明)		R6	R10	R14		
下水道の水洗化率	%	下水道接続人口(下水道を利用している人数)/下水道処理人口(下水道を利用できる人数)	90.6	95	96	97		

前年度実績値		今年度の進捗							
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管			
90.5	92	91.2		0.0%	0.0%	上下水道部 下水道課			

③ 持続的な下水道機能の確保

下水道施設の計画的な点検や排水に対する水質指導により、持続的な下水道機能の確保を図 ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略	i
3-1	下水道維持管理事業	マンホールポンプ施設の計画的な保守点検や、下水排水基準に適合しない汚水を排出する事業所への指導を行います。	•	ì

◆指標の達成状況

▼1日1示V/E/X1/\////						
He law de	名 単位 算出方法(指標説明)		計画当初		目標値	
指標名			(R1)	R6	R10	R14
法定水質基準遵守率	%	法律に基づく水質試験の基準を遵守した流域接続点の箇所数/市内の流域接続点の箇所数	100	100	100	100

前年度実績値			今年度の進捗	•		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
100	100	50		0.0%	0.0%	上下水道部 下水道課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性				
IVO.	尹未有		担当課	3視点	所管判定		+D.V.=C**	
	今年度の事業実施計画	実績と課題		必要性	成果の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	担当所管	
	/ 1 X V 7 N N 1001 E		(A/B/C)	有効性 効率性 コストの方向性		現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
⊕-1	公共下水道管渠整備事業			90	現状維持			
				100		・管渠整備事業においては、整備要望の機運が高く、人口密集地域を中心に整備を実施することで、普及率の向上を目指す。	上下水道部 下水道課	
	位堂・別所・上中・畑・尼寺・北今市・下田西・逢坂地内において下水道管渠)整備を実施する。			100 現状維持			下小坦訊	
②-1	水洗化促進事業			90	現状維持			
. 44 -	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			95		・普及啓発による水洗化率の更なる向上が、水質の改善、下水道使用料の増加に寄与することから、普及促進員による活動を継続して実施する。	上下水道部 下水道課	
度の接続	い迫木技術有人の音及合発を等门に打ファトが迫技術推進員」を雇用し、刑斗 件数(450件)以上を目標に啓発を実施する。			100	現状維持	3 のここが り、自及にための治動を他別のく 大心 3 の。	下小坦林	
3-1	下水道維持管理事業			90	現状維持			
	「水道接続点等21箇所において、水質検査を実施する。			80		・引き続き接続点での水質検査を実施し、法定水質基準を遵守した水質維持について努める。	工厂小旭即	
·流域下2				85	現状維持		下水道課	
				05				





■■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性

担当課評価 0 事業 В 0 事業 0 事業

成果の	の方向	性	コストの方向性			
拡充		事業	拡大		事業	
現状維持	3	事業	現状維持	3	事業	
縮小		事業	縮小		事業	
休廃止		事業	休廃止		事業	

7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営) 政策名 施策名 30 行財政運営の最適化

☆目指す姿

行政活動に対する検証と改善が行われ、健全な財政基盤のもと、持続可能な行財政運営 が実現している。



施策の主な取り組み① 総合計画・総合戦略の進行管理

総合計画(総合戦略を含む)に位置付ける施策及び事業に対する行政評価や都市経営市民会議の開催等により、事業の検証・改善を繰り返し行うことで、最適で計画的な行政運営を推進しませ

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	総合計画進行管理事業	総合計画(総合戦略合む)に位置付ける施策及び事業の行政評価を毎年度実施し、PDCAサイクルによる効果検証・改善を図ります。また、総合計画(総合戦略合む)の進行状況や行財政改革等に関して審議や検討を行う都市経営市民会議を運営し、各所管へのフィードバックを行います。	_

◆指標の達成状況

▼拍信の連成が近						
			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
「第5次香芝市総合計画」における各指標の 達成割合	%	目標を達成した指標の数/全指標の数(本指標は除く)	-	80	80	80
「第2期香芝市総合戦略」における各指標の 達成割合	%	目標を達成した指標の数/全指標の数(本指標は除く)	-	80	80	80

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
48.6	80	-		0.0%	0.0%	企画部 企画政策課
46.9	80	1		0.0%	0.0%	企画部 企画政策課

② 財政運営の健全化

各施策や事業を効率的・効果的に実施するため、財源の確保や将来の財政見通しを立てることにより、健全で持続可能な財政運営を推進します。

※参考指標とする理由及び実施する事業を設定していない理由 財政指標は市の全事務事業を適正かつ効率的に実施した結果として表れる数値であり、指標の達成を優先して目指すものではないため、 参考とすべき指標として位置付けます。また、特定の事業に係る指標ではなく、市の事業全体の結果に影響される指標であるため、実施する主な事業は設定していません。

◆指標の達成状況

¥ 31113(** × × × × × × × × × × × × × × × × × ×				
指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目指すべき 方向性
市債残高	億円	市債残高	305	減少させる
実質公債費比率		収入に対する負債返済の割合を示すための指標	15.2	県内市町村平均値を目指す
財政調整基金残高	億円 (%)	財政調整基金残高/標準財政規模	14.6 (9.6)	標準財政規模の 10%程度以上を確保する

前年度実績値			今年度の進捗	-		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
277		1				財務局 財政課
11.6		-				財務局 財政課
24.2						財務局

③ 公有財産の維持管理及び活用

「公共施設等総合管理計画」に基づき、財政負担の平準化を図り、良質で持続可能な公共施設 サービスを提供します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
3-1	公有財産維持管理事業	施設の安全性や機能性を保つため、定期点検や改修工事等の維持管理業務を実施します。また、「公共施設等総合管理計画」を更新するとともに、個別施設計画の策定・改訂を進め、計画に基づ 〈公共施設の活用等を推めます。	•

◆指標の達成状況

- 3H 131 - 1- 1- 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17						
He law to			計画当初		目標値	
指標名	単位 算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14	
個別施設計画策定数		個別施設計画を策定した施設類型数(平成30年度からの累計)	11	13	15	15

前年度実績値						
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
13	13	13		0.0%	0.0%	総務部 管財課

次年度の方向性

■実施する主な事業の評価								
No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			
INO.	争未在	実績と課題		3視点	所管判定		担当所管	
	今年度の事業実施計画			必要性 有効性	成果の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
			(A/B/C)	効率性	コストの方向性	現仏を以書し、高めていくための万泉寺にプいて記入		
①-1	総合計画進行管理事業			72	現状維持	・次年度は前期基本計画が終了するため、中期基本計画策定の策定が必要となるが、引き続き、 年3回の行政評価及び都市経営市民会議での審議により、各事業の進捗管理を行う。また、令和 4年度から開始した「個別事業の方向他の検討してDLでき、引き続き来版し、改造、改議、2々		
(事前記)	頭(総合戦略を含む)に位置付けた事業の行政評価の実施 、:5月、事中評価及び説明会:9月、事後評価:1月) 倉市民会議を開催し、審議結果を所管へフィードバックする。			72		年3回の行政課価及び都市経営市民会議での審議により、各事業の進捗管理を行う。また、令和 4年度から開始した「個別事業の方向性の検討」についても、引き続き実施し、改革で成長、スク ラップアンドビルドかなされる仕組みを強化する。併せて、評価によるコスト削減等の利点をわか りやく職員や市民へ周別する。これらの取り組みによって、ムダのない効率的で最適な行政連 営の実現を目指す。(成果の方向性の現状維持)		
個別事業	はの方向性に関する検討の実施(経営会議及び都市経営市民会議での審議、 計対象事業の抽出等)			77	現状維持	ニの多次を目指する(以来の)が自任の次の機能が ・コストの方向性については、米年度において、前期基本計画が終了することに伴い、中期基本計画を策定するタイミングとなることから、計画策定支援のための委託料などが発生するが、当初の策定スケジュールどおりであるため、コストの方向性は維持とする。(コストの方向性の現状維持)		
3-1	公有財産維持管理事業			85	現状維持	・総合管理計画に定められている施設類型別方針以外の施設についても個別施設計画の策定を進め、施設ごとの対応方針を定める。また、その対応方針に基づき計画的に重なさせ、	kta –	
・公共施設	な 没等総合管理計画の施設類型方針に基づいた個別施設計画は策定完了して 、施設類型方針以外の施設の個別施設計画策定を進める。また、引続き中和・			80		に更新を行う。 ・中和・西和広域連携検討会に引き続き参加し、公共施設の相互利用に向けて関係市町と協議を進める。 ・施設跡地に関して、サウンディング型市場調査等の実施により、活用方法を検討す		
西和広域 る。	連携検討会に参加し、公共施設の相互利用に向けて関係市町と協議を進め			80	現状維持			

В

■■ 施策の方向性(改善策) 担当課評価



当課評	平価		成果の方向性			コストの方向性			
0	事業		拡充		事業	拡大		事業	
0	事業		現状維持	2	事業	現状維持	2	事業	
0	事業		縮小		事業	縮小		事業	
			休廃止		車業	休廃止		車業	

7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営) 政策名 施策名 31 歳入の確保と財源の創出

☆目指す姿

市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。





■■ 施策の主な取り組み ① 適正課税の推進および収納(徴収)率の向上

公平・公正の観点から市税の適正課税を推進することにより、市民の信頼及び税収の確保を図ります。また、納付環境の利便性向上および納付意欲の向上に向けた取り組みを推進することにより、市税や保険料の収納(徴収)率の向上を図ります。

■実施する主な事業

	390工の事本		
No.	名称	概要	総合戦略
⊕-1	自主納付推進事業(税)	口座振替やコンビニ納付などの既存の納付方法に加え、キャッシュレス決済などの電子納付環境 を整備することで、時間や場所に捉われない納付方法を提供し、納付意欲の向上を図ります。	_
①-2	自主納付推進事業(保険料)	口座振替やコンビニ納付などの既存の納付方法に加え、キャッシュレス決済などの電子納付環境 を整備することで、時間や場所に捉われない納付方法を提供し、納付意欲の向上を図ります。	_
①-3	市民税・固定資産税の課税適正化事業	申告催告、実地調査及び関係官署等への照会などを通じて、賦課の公平化・適正化に継続的に 取り組みます。	_

▼拍信の達成水流						
			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
市税収納率(現年分)	%	収納済額/収納すべき額	99.05	99.1	99.2	99.3
国保料収納率(現年分)	%	収納済額/収納すべき額	93.24	95.0	95.8	96.6

前年度実績値			今年度の進捗	-		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
99.09	99.1	61.0		0.0%	0.0%	財務局 納税促進課
94.05	94.5	43.34		0.0%	0.0%	健康部 保険料収納課

② 財産調査の強化と適正な債権管理

財産調査の徹底により、適正な債権管理を推進します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
⊘−1		預貯金や生命保険などの換価可能な財産の調査および消滅時効の管理を行い、差押え・換価・ 執行停止などを適正に行います。	_
2-2		預貯金や生命保険などの換価可能な財産の調査および消滅時効の管理を行い、差押え・換価・ 執行停止などを適正に行います。	_

◆指標の達成状況

			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
滞納繰越額の減少率	%	(前年度滞納繰越額-当該年度滞納繰越額)/前年度滞納繰越額	4.7	4.8	4.9	5.0

前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度(当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
-0.04	4.5	_		0.0%	0.0%	財務局納税促進課

③ 自主財源の確保

本市への寄附を促進し、財源の確保を図ります。また、受益者負担の適正化やネーミングライツ、企業版ふるさと納税、未利用公有地の活用などの新たな財源確保策を検討します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
3-1	ふるさと寄附金事業	地場産品の発掘・企画によりふるさと納税返礼品の拡充を図り、サイト掲載ページの充実や市外へのPR活動を通して、本市への寄附を促進するとともに、本市の魅力を発信します。	•

◆指標の達成状況

			計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
ふるさと寄附金受入額	万円	ふるさと納税による寄附金受入額	5,110	7,000	8,500	10,000

前年度実績値		今年度の進捗									
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度	目標達成度 (R6年度比)	担当所管					
6,520	7,000	2,096		0.0%	0.0%	企画部 企画政策課					

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	
INO.	丁 未有		担当課	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)	
	今年度の事業実施計画	実績と課題	評価	必要性	成果の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	担当所管
	7十尺の手来大旭計画		(A/B/C)	有効性 効率性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	自主納付推進事業(税)			85	現状維持	・口座振替に係る手数料引き上げおよび共通納税においてQRコード収納分の件数が	
・ペイジー	口座振替の奨励及びスマホ決済やQRコードを活用した電子納付の奨励			80		大幅に増加することから、サービス利用料が増加する。*共通納税は昨年実績を当年 度で払う(コストの方向性)	財務局
・コンビニ	&、広報お知らせ版、各種通知書(59,000枚)への折込) 収納の啓発、コールセンターによる電話催告(9500件)				拡大	・近年の徴収率は高位で推移しており、成果の方向性は現状維持とする。(成果の方向性)	納税促進課
・現年度語	界税分の催告の通知(1800件)及び差押え等滞納処分の執行(35件)			67			
⊕–2	自主納付推進事業(保険料)			77	拡充	・事業経費は維持しながら、市と県の電話催告に加え、定期的に現年催告を送付し、引き続き効果的な納付督励を行う。(コストの現状維持)	
	に口座振替の案内文書を同封し口座振替率の向上 限幹料の滞納者に対し(年2回以上)催告書を送付			67		・各期別の督促状に口座振替の案内文書を同封し、口座振替率の向上を図る。 ・催告に同封している滞納処分に至るプロセスを明示した文書の内容を随時見直しな	健康部 保険料収納課
·月一回(ンターによる迅速な初期滞納者対応 月末)の夜間窓口による納付相談			77	現状維持	がら強化して自主納付を促すとともに、令和6年度より現年保険料についても滞納処分を実施する。(成果の拡大)	
	の具体的事例を明示した文書を作成し催告書等に同封して送付						
⊕–3	市民税・固定資産税の課税適正化事業			100	現状維持		
·市民税(個人及び法人)及び固定資産税(償却資産)未申告者の捕捉及び申告勧奨			95		・適正な課税を実現するために、各関係機関との連携のもと未申告者を捕捉し、継続的に申告勧奨を行う。 ・継続的に未申告者への申告勧奨を行うため、事業経費は現状を維持する。	財務局 税務課
	徐等の申告内容の適正化 R屋の解消			90	現状維持	「他がいい」に不平口台(い)中口初大で1] ノため、事未柱見はがれて他可する。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
⊘−1	滞納整理適正化事業(税)			85	拡充	・令和6年度より預金調査について、電子照会システム【pipitLINQ】を導入する。ラン	
・速やかた	、財産調査と滞納処分(25500件)			80		ニングコストが掛かり全体コストも増えるが、従前の方法で掛かっていた郵送代が削減される。(コストの方向性)	財務局 納税促進課
適正なが)納計画の履行(720件) 執行停止の遂行(300件)			67	拡大	・【pipitLINQ】の導入により調査期間が大幅に削減され、今までより効率的に滞納処分を実施できる。これにより、差押等の件数増加が見込まれる。(成果の方向性)	州北风风
				67			
②-2	滞納整理適正化事業(保険料)			70	拡充	97.第14.694.11、○○○□ * 64.* 第三人類 * 64.	
. 给排化	な証、切替通知、催告書を用いた滞納者との折衝			67		経費は維持しつつ引き続き適正な滞納処分の執行を行っていく。(コストの現状維持) また、従来は滞納躁越分のみを滞納処分の対象としていたが、令和6年度より現年保 険料についても、催告等により自主納付に至らなかった滞納者に財産がある場合は、	健康部 保険料収納課
·速やかな	MELS 対自地域、推占者を用いた体制者との折倒 財産調査・実態調査を行い、適正な滞納処分の執行 対し確実な履行状況管理				現状維持	速やかに滞納処分を実施する。(成果の拡大)	1木)央本斗以約3話
23 113 11				77			
3-1	ふるさと寄附金事業			90	拡充	新規返礼品提供事業者の獲得のため、広報紙やSNSで募集案内を発信するとともに、既存返礼品提供事業者と協力のうえ連携を取りつつ、返礼品の充実や新規ボータルサイトへの掲載をすることで発信力の降化を図り、高報館をさらに増加させる。(成果の拡充)	
・ふるさと	納税協力事業者の新規獲得			80		・ 寄附に伴うコストについては、サイト運営経費や返礼品調達経費など寄附額の増加に伴い必要となるものであり、次年度は新たなポータルサイトを導入し、寄附額増加を目指すため、コストの拡大が必要。(コストの サナ)	企画部
・ふるさと・ふるさと	:納税返礼品の拡充およびブラッシュアップ :納税(企業版ふるさと納税を含む)のPR				拡大	MAV) ・企業版ふるさと納税については、奈良県企業版ふるさと納税連絡協議会を活用して企業への発信力を強 化するとともに、マッチングの業務委託やブッシュ型で香芝市にゆかりのある企業に対し、PRパンフレット	企画政策課
・企業版/	るさと納税のメニュー化			72		を送付するなどをし、寄附金額の拡大を図る。(成果の拡充) ・企業に対し、PRをパンフレットを送付し、寄附金額増加を目指すため、コストの拡大が必要(コストの拡大)	

■■施策の方向性(改善策) 次年度の方向性





7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営) 政策名 施策名 32 情報とICTの利活用

🛖 目指す姿

ICTを活用し、市民がそれぞれのニーズに合った方法で情報やサービスを利用できてい







施策の主な取り組み ① 市政情報の提供と広報力の強化

市のホームページにおけるアクセシビリティの確保やオープンデータの充実などにより、利用し やすい市政情報の提供に努めます。また、さまざまな情報媒体の活用や効果的な表現による情 報発信を積極的に行い、市内外への発信力を強化することで、市のイメージや知名度の向上を 図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	広報紙発行事業	市民への情報発信媒体として、市政情報や市民のニーズに応じた適切で分かりやすい情報の提供を行い、市の魅力を発信します。	_
①-2	広報及び報道機関連携事業	SNS及びメディアの活用、報道機関への情報提供により、市政情報及び本市の魅力を市内外へ広く発信します。	•

◆指標の達成状況

▼1日1示りたり入れ			計画当初			
No. let .					目標値	
指標名	指標名 算出方法(指標説明)		(R1)	R6	R10	R14
市ホームページ「広報」平均アクセス数	件	市ホームページ「広報紙」ページの一月当たりの平均アクセス数	770	960	1,150	1,340
SNSのフォロワー数	人	本市が利用するSNSのフォロワー数の合計	284	560	840	1120
オープンデータ公開数	件	オープンデータとして公開されているデータ数	0	5	10	14

前年度実績値		今年度の進捗									
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管					
1,074	913	1,090		0.0%	0.0%	企画部 秘書広報課					
467	525	478		0.0%	0.0%	企画部 秘書広報課					
16	18	19		0.0%	0.0%	企画部					

② ICTを活用した業務の効率化・利便性の向上

Society5.0に対応し、さまざまな行政課題の解決に積極的にAIなどのICTを活用し、業務の効率化および利便性の向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1		行政事務や市民サービス等に積極的にICTを利用することで、業務の効率化や市民の利便性の向上を促進します。	_

◆指標の達成状況

No. let As		計画当初			目標値		
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14	
電子申請·施設予約利用件数	件	奈良電子自治体共同運営ポータルサイト「e古都なら」による電子申請・施設予約件数	1,423	2,700	3,000	3,300	
AIチャットボット利用件数	件	AIチャットボットの利用件数	0	19,000	20,000	21,000	

前年度実績値		今年度の進捗									
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管					
10,982	8,000	6,933		0.0%	0.0%	企画部 ICT推進課					
15,908	18,000	7,232		0.0%	0.0%	企画部					

③ 情報セキュリティの確保

ICTを利用した市民サービスや組織内利用システムの安定的な運用のため、組織内の情報機器を不正アクセスやコンピュータウイルス等の脅威から守り、情報ネットワークや職員の使用する情報端末のセキュリティを確保します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
3-1		情報セキュリティに対する職員研修の実施や、セキュリティ対策システムの導入および維持管理などを行います。	_

◆指標の達成状況

II-III-	WIII		計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
セキュリティインシデント件数	件	セキュリティインシデント発生件数	0	0	0	0

前年度実績値		今年度の進捗									
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	担当所管						
4	0	5		-	-	企画部 ICT推進課					

■実施する主な事業の評価

NO 事業名	NI.	± # 2	今年度の事業評価				今後の方向性	
今年度の事業実施計画 実績と課題 評価 (A/B/C) 必要性 (A/B/C) ※34規点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入 12日かけ 現状を改善し、高めていくための方策等について記入 0一1 広報紙発行事業 95 現状維持 90 ・心だ機かしばい知りかけばい知りがしばか知りと世族となるよう、市民ニーズの把握に向け、アプラート調を実施する。 ・情報を観しみやすく、わかりやすく幅けるための創趣工夫を継続する。 ・情報を観しみやすく、わかりやすく幅けるための創趣工夫を継続する。 ・情報を観しみやすく、わかりやすく幅けるための創趣工夫を継続する。 ・情報を観しみやすく、わかりやすく幅けるための創趣工夫を継続する。 ・情報を観しみやすく、わかりやすく幅けるための創趣工夫を継続する。 ・情報を観しみやすく、わかりやすく幅けるための創趣工夫を継続する。 ・情報を観しみやすく、わかりやすく幅けるための創趣工夫を継続する。 ・情報を観しみやすく、わかりやすく幅けるための創趣工夫を継続する。 ・一点の見かは、中心に対していると、各種媒体を活用したクロスメディア化 を図り、適時適切な情報提供を行う。 ・を図り、適時適切な情報を展に努める。 ・電子申請が可能な手続きの拡大 ・「不足の見直しに伴うAlチャットボットの利便性の向と ・「デンタルトランスフォーメーション(DX)推進計画の策定。 ・窓口の利便性由上。 ・「アンタルトランスフォーメーション(DX)推進計画の策定。 ・窓口の利便性の上。 ・「アンタルトランスフォーメーション(DX)推進計画の策定。 ・窓口の利便性の上。 ・「窓口の利便性の上。 ・「アンタルトランスフォーメーション(DX)推進計画の策定。 ・窓口の利便性の上。 ・「アンタルトランステル書)を接続する。 ・金工的を可能により可能をと聞いては、利用件数の向上を図る。 ・窓口の利便性の上。 ・「アンタルトランステルの拡充では無く、網段研修のであった。そのため、コストに大き作うのステルの拡充では無く、網段研修の徹底及び定用的な監査等によりでよっては本と作うのステルの拡充では無く、網段研修の変施など定用的な監査等によりに大き、他の受講。 企画部 ICT推進 ・全職員の情報セキュリティ研修の受講。 ・金組の情報セキュリティ研修の受講。	No.	事業名	, I Per as desired i limi	扣坐⊞	3視点			
① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		今年度の事業実施計画	実績と課題	評価		成果の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	担当所管
「広報かしば、京朝かしばお知らせ版を月2回、年23回発行する(1月号のお知らせ版 は広稿かしば、京朝かしばの表針)に発行する。		7年区の事業大旭日回		(A/B/C)			現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
お書かいは12月号と合作)。	⊕−1	広報紙発行事業			95	現状維持		
市民にとってより身近で親しみやすい広報紙となるよう、市民ニーズの把握に向け、アンケート調査を実施する。 95 現状維持 ①一2 広報及び報道機関連携事業 95 現状維持 広報及び報道機関連携事業 95 現状維持 ・古木ームページ テレビ、SNS(Facebook・LINE)など、各種媒体を活用したクロスメディア化を図り、適時適切な情報提供を行う。 を図り、適時適切な情報提供を行う。 を一 ICT活用事業 80 拡充 ・電子申請が可能な手続きの拡大。 ・「そみの月直しに伴うAIチャットボットの利便性の向上。 ・デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画の策定。 ・20 ・窓口の利便性回れ。 90 拡大 ・第10・キリ便性の自身に表し、利用件数の向上を図る。 ・ボスロの利便性の自た。 ・窓口の利便性の自た。 ・20 ・3一1 情報セキュリティ対策事業 100 ・全職員の情報セキュリティ対策事業 100 ・全職員の情報セキュリティ対策事業 20 ・企職の所能を受講。 企画部 ・企業日本の企業に対して、アンテントについてはいずれも人的要因に起因するものであった。そのため、コスト拡大を伴うシステムの拡充では無く、職員研修の徹底及び定期的な監査等によりもより対を回り子・高機の向上による対策を図る。 10と表験の向上による対策を図る。 企画部 10と表験の自上による対策を図る。					90			
本のである。	・市民にと	とってより身近で親しみやすい広報紙となるよう、市民ニーズの把握に向け、			77	現状維持		10日以北欧
・公戦総や市ホームページ、テレビ、SNS(Facebook・LINE)など、各種媒体を活用した内外へ過時適切な情報提供を行う。 80 現状維持 ・各種報道機関へ市政情報の積極的な情報提供を行う。 80 拡充 ・e古都ならの電子申請に関しては、申請様式の数および利用件数は増加傾向であり、コスト及び成果の方向性は現状維持とする。・AIチャルボットの利便性の向上。・デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画の策定。・窓口の利便性向上。・窓口の利便性向上。・窓口の利便性向上。・窓口の利便性向上。・窓口の利便性向上。 100 現状維持 ③一1 情報セキュリティ研修の受講。 現状維持 ・発生インシデントについてはいずれも人的要因に起因するものであった。そのため、コスト拡大を伴うシステムの拡充では無く、職員研修の徹底及び定期的な監査等によりセキュリティの機のの異菌。 ・企画部 ICT推進に対象を関する。	①-2	広報及び報道機関連携事業			95	現状維持		
の一の内外外の調の場面の指揮化を行う。 87 現状維持 ②一1 ICT活用事業 80 拡充 ・電子申請が可能な手続きの拡大。 ・・電子申請が可能な手続きの拡大。 ・・FAQの見直しに伴うAIチャットボットの利便性の向上。 ・・デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画の策定。 ・窓口の利便性向上。 ・窓口の利便性の対象を図り、住民負担を低減させた快・窓口の対象を図り、住民負担を低減させた快・窓口の対象を図り、企画部 コスト拡大を伴うシステムの拡充では無く、職員研修の徹底及び定期的な監査等によりセキュリティの機の自上による対象を図る。 ・全職員の情報セキュリティの側の受講。 ・発生インシデントについてはいずれも人的要因に起因するものであった。そのため、コスト拡大を伴うシステムの拡充では無く、職員研修の徹底及び定期的な監査等によりセキュリティの線の向上による対象を図る。 ICT推進計					80		・市ホームページを広報の基幹媒体に位置づけ、SNS等を活用したクロスメディア化 を図り、適時適切な情報発信に努める。	企画部 秘書広報課
③一1 情報セキュリティ対策事業 64 現状維持 ・全職員の情報セキュリティ研修の受講。 ・発生インシデントについてはいずれも人的要因に起因するものであった。そのため、コスト拡大を伴うシステムの拡充では無く、職員研修の徹底及び定期的な監査等によりセキュリティ商職の向上による対策を図る。 企画部ICT推進に	・各種報道	外へ適時適切な情報提供を行う。 直機関へ市政情報の積極的な情報提供を行う。			87	現状維持		
③一1 情報セキュリティ対策事業 64 現状維持 ・全職員の情報セキュリティ研修の受講。 ・発生インシデントについてはいずれも人的要因に起因するものであった。そのため、コスト拡大を伴うシステムの拡充では無く、職員研修の徹底及び定期的な監査等によりセキュリティ商職の向上による対策を図る。 企画部ICT推進に	⊘−1	ICT活用事業			80	拡充	・e古都ならの電子申請に関しては、申請様式の数および利用件数は増加傾向であり、 コスト及び成果の方向性は現状維持とする。	
③一1 情報セキュリティ対策事業 64 現状維持 ・全職員の情報セキュリティ研修の受講。 ・発生インシデントについてはいずれも人的要因に起因するものであった。そのため、コスト拡大を伴うシステムの拡充では無く、職員研修の徹底及び定期的な監査等によりセキュリティ商職の向上による対策を図る。 企画部ICT推進に					75		・AIチャットボットについて、利用状況が安定していることからコスト面は現状維持としつつ、更なるFAQの拡充や周知等により、利用件数の向上を図る。	
一般生インシデントについてはいずれも人的要因に起因するものであった。そのため、コスト拡大を伴うシステムの拡充では無く、職員研修の徹底及び定期的な監査等によりセキュリティ研修の受講。	・デジタル	レトランスフォーメーション(DX)推進計画の策定。			90	拡大	・窓口がもつ課題についてデジタル化によって解決を図り、住民負担を低減させた快適な窓口とするためシステム導入を検討する。	10 1 在進床
・全職員の情報セキュリティ研修の受講。	3-1	情報セキュリティ対策事業			100	現状維持	発生/シルボットフリアはいずいた 竹藤田にお田オスたのでもった。2015年	
・主戦員の情報とイエリナイ研修の支持。	・全職員の情報セキュリティ研修の受講。				IEN+9##		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	企画部 ICT推進課
							クピキュッティ 励興v/PJエによる別界で図る。	- 5 - 1122



■■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性

担当課評価 A 0 事業 B 0 事業 C 0 事業

成果の	の方向	性	コストの方向性			
拡充	1	事業	拡大	1	事業	
現状維持	3	事業	現状維持	3	事業	
縮小	縮小		縮小		事業	
休廃止		事業	休廃止		事業	

7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営) 政策名 施策名 33 行政組織の活性化・組織力の強化

☆目指す姿

付加価値の高い行政サービスが提供できるよう、職員一人ひとりが知識・技能・意欲の向上に努めている。



施策の主な取り組み① 適正な人事評価

評価基準を充実させ評価者に依存しない評価と昇任等へ反映できる制度を確立し、職員の育成と士気高揚を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
⊕-1		評価指標の細分化や適正化を進め、公正な人事評価を実現するとともに、これを昇任等に確実 に反映します。	_

▲指揮の達成状況

			計画当初目標値					
指標名	単位 算出方法(指標説明)		(R1)	R6	R10	R14		
人事評価アンケート調査満足度	%	人事評価アンケートで「良い」「とても良い」と回答した人数/全回答者数(市職員対象)	-	70	80	90		

前年度実績値		今年度の進捗										
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	担当所管							
69	70	-		0.0%	0.0%	企画部 人事課						

② 職員研修の推進

タイムマネジメントやリスクマネジメントの他、法律的素養及び接遇力の向上に重点をおくとと もに、時勢に応じて求められる能力の向上に資する研修を実施します。

■実施する主な事業 個々の職員への重要と思う内容や分野の調査を踏まえた上で、より効果的な研修を企画・実施 するとともに、その他必要となる研修の回数・内容の拡充を図ります。 ②−1 研修推進事業

◆指標の達成状況

▼ 10 18(*)						
		算出方法(指標説明) 要主催の研修実施回数	計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明) 	(R1)	R6	R10	R14
研修実施回数		人事課主催の研修実施回数	10	11	12	12

*/T						
前年度実績値			今年度の進捗	,		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
12	12	5		0.0%	0.0%	企画部

③ 効果的な人員配置

各法令等の制定・改正・廃止等や社会動向を踏まえた上で必要な人員を見定め、正規職員のみならず、各種人的資源を活用し、より効果的・効率的な人員配置を目指します。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
3-1	超過勤務時間数逓減推進事業	超過動務の実態把握に努め、適宜、適切となるよう人員の配置を見直します。	_
3-2	ヒアリング調査事業	本人またはその上司・同僚等から職員の不調につながる事案の通報があった場合に、必要と考えられる場合に本人を含む関係人へヒアリング調査を行い、本人へのフォローアップと不調因子の改善、その発生の防止を図ります。	_

◆指標の達成状況

No. 100 Au		Att. I M. (INCITED AND)	計画当初		目標値	
指標名	単位	算出方法(指標説明)	(R1)	R6	R10	R14
超過勤務時間数	時間	選挙や災害対応を除く超過勤務の総時間数	38,000	37,240	36,100	34,200
メンタルヘルス不調者数	人	メンタルヘルス不調による病気休暇取得者数	7	5	3	0

前年度実績値			今年度の進捗	-		
(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
46,520	45,100	28,933		-76.1%	0.0%	企画部 人事課
6	5	9		-128.6%	0.0%	企画部

■実施する主な事業の評価

	でする工み 事業の 計画						
No.	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性	
INO.		実績と課題	担当課評価	3視点	所管判定 成果の方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、	担当所管
	今年度の事業実施計画		(A/B/C)	有効性	コストの方向性	現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	人事評価適正化事業			85	現状維持	人事評価システムをすべての職員が活用できるよう方法を検討する。また、システムの 活用方法について未だ多くの問い合わせがあることから、より詳細なマニュアル作成	. —
	システムによる入力方法の理解度、人事評価の満足度等について確認するた			67		活用方法について未だ多くの問い合わせがあることから、より詳細なマニュアル作成を行う。 を行う。 アンケート内容をもとに評価指標について実情に合った指標であるか適宜検討する。	企画部 人事課
の、人争	平価アンケートを実施し状況確認を行う。			67	現状維持	7.2.7 T P3 T C OCICET IMINITIFIC 201 C C FINICI 2013 TO THE COURT OF T	
②-1	研修推進事業			80	現状維持	研修センターで取り扱っていない研修や、必要性の高い研修(コンプライアンスや個人	A
	事務能力や法務能力等の専門知識の向上を進めていくために、研修計画に基 き続き必要な研修の実施を行えるよう進めていく。			80	現状維持	研修センターで取り扱っていない研修や、必要性の高い研修(コンプライアンスや個人情報等)について適宜実施する。また、職員の研修における満足度を高めるためには 委託業者の選定について検討する。	企画部 人事課
75.51	さ続さ必安な町移り夫他を行えるよう進めていく。			67	現状維持		
3-1	超過勤務時間数逓減推進事業			85	拡充	お温勤務の状況について所管にヒアリングを実施しているが、未だ時間外勤務時間数	A
	^条 時間について、課としての優先順位や協力体制、業務分担の見直しを促しな ^{高勤務} 時間数の低減に努めていく。			67	771 DAWLE	超過勤務の状況について所管にヒアリングを実施しているが、未た時間外勤務時間数 は多い現状となっているため、職員一人一人の意識改善や、管理職を対象にマネジメ ントカ向上に関する研修を行うなど、超過勤務時間の削減を図る。	企画部 人事課
かり、超減	回製が物質自致の性が減に劣めている。			72	現状維持		
3-2	ヒアリング調査事業			85	現状維持		
・職員に対	する健康相談室の実施について、周知啓発を進めるとともに、職員からの る場合や、超過勤務時間の多い職員、また高ストレス者に対する面談を産業			75		健康問題に伴う休職者が引き続き多い傾向であることから、健康相談室や共済組合が実施する事業の周知に注力する。	企画部 人事課
	る場合で、起題動が呼同の多い場合、また同人で入省に対する国族と産業を図りながら適宜行い、職員にとって働きやすい環境に努めていく。			72	現状維持		

■■ 施策の方向性(改善策)

|--|

3	当課評価	成果の	
	0 車業	垃女	

B 0 事業 C 0 事業

成果の	の方向	唯	コスト	の方向	句性
拡充	1	事業	拡大		事業
現状維持	3	事業	現状維持	4	事業
縮小		事業	縮小		事業
休廃止		事業	休廃止		事業

令和5年度評価指標管理シート

指標對 311											R1	R2		R3			R4				R5		R6			県内	順位(「奈良いちへ	[1]		総合戦略におけ	る位置づけ
施策 No. 評価種別	評価対象名	担当部局	担当所属	指標名	単位	評価の方向	マイナス指標の種別	算出方法(指標説明) データの5	出典	単年・ 指標の 累計 種類		実績値 (年度末)	目標値 中間値		目標達成度				成度 目標(R6年度	位 中間値		度 目標値 3年度	(9月末) (年度末)		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		R2 R3	R4 R5 R	備考	基本目: (1)稼ぐ・(2)つなが(無し
											(牛疫木)	(牛皮木)	(9月末)	(年度末) (当 年度	胜) 比)	(9)	(年度末	年度比)	比)	(9月末)	(年度末) (当該 年度比) (R6 日	ε ⁻	(9月末) (年度末)	(当該 (R6年) 羊度比) 比)	12市	i) KI	K2 K3	K4 K5 K	1	(1)稼ぐ・ (2)つなが (り・ひとの 流れ	遊・子育 (4)魅力 て
1 総合計画	妊産婦の健康づくりの推 進	健康部	保健センター	プレママ教室(母親教室)参加満足度	%	+		保健センター実施のアンケー プレママ教室参加者アンケートで「満足度」 ※アンケート対象は、プレママ 本人だけでなく、一緒に教室	-ト調査の集計(1年度分 マ教室年間参加者(妊婦 Eに参加した家族の回答	単年⊠ 成果指	標 98.5	87.5 1	00.0 99.0	99.2 99.	2% 99.2%	6 100.0 1	00 99.1	99.1%	99.1% 10	100		100.0			-						•
1 総合計画	妊産婦の健康づくりの推 進	健康部	保健センター	産後4か月の時点において香芝市で今 後子育てしていきたい人の割合	%	+		4か月児健診時のアンケート(健やか親子2 1奈良県統一アンケート)で「そう思う」「どち らかといえばそう思う」と回答した人数/全 年度分の集計)		単年⊠ 成果指	標 96.2	97.0 1	00.0 94.2	95.5 95.	5% 95.5%	6 100.0 9	5.2 95.1	95.1%	95.1% 10	94.9		100.0			0 39	9 19					•
1 総合計画	乳幼児の健康づくりの推 進	健康部	保健センター	乳幼児健診受診率	%	+		回答者数 各健診受診者数/4か月児健診、1歳6か月 児健診、3歳6か月児健診対象者数 ※保健センター事業報告	確認(健康カルテ)に	単年 成果指	標 97.7	97.5	98.0 95.5	97.9 99.	9% 99.7%	99.0	97 98.3	99.3%	100.1% 9	98.2		98.2			-						•
1 総合計画	乳幼児の健康づくりの推 進	福祉部	児童福祉課	こんにちは赤ちゃん訪問率	%	+		生後4か月までの家庭の訪問率 児童福祉課		単年※ 活動指	標 86.7	90.4 1	00.0 99.0	98.1 98.	.1% 98.1%	6 100.0	97 99.1	99.1%	99.1% 10	99.3		100.0			0 39	36			R3年度の県内の訪問率は秋以 に発表予定	S&	•
2 総合計画	子育て家庭への支援	福祉部	児童福祉課	3つの子育て支援拠点で開催する行事 の参加率	%	+		参加者数/3つの子育て支援拠点で年1回 ずつ開催する行事の定員総数		単年⊠ 成果指	標 72.5	93.0	- -	-		100.0	94 93.6	93.6%	93.6% 10	86.1		100.0			-				新型コロナウイルス感染拡大防. のため、親子行事を中止としました。	上	•
2 総合計画	子育て家庭への支援	福祉部	児童福祉課	ファミリー・サポート・センター新規登録 者数	٨	+		ファミリーサポートセンターの利用会員・サ ポート会員の新規登録者数 児童福祉課		単年⊠ 成果指	標 49	37	50 36	73 146	i.0% 146.09	% 75.0	18 43	57.3%	86.0% 7	75 32		50.0			_						•
2 総合計画	子育て家庭への支援	福祉部	児童福祉課	自立支援プログラム策定により就労に つながった割合	%	+		就労につながった件数/就労を目標とした 自立支援プログラムの策定件数		単年図 成果指	標 0	0	100 0	0 0.0	0.0%	6 50.0	0 0	0.0%	0.0% 5	0		100.0			_				新型コロナウイルス感染拡大防 対策のため、教員向けの研修会 が、開催されなかった。	Ŀ	•
2 総合計画	児童虐待防止の推進	福祉部	児童福祉課	児童虐待防止の啓発回数	0	+	н	広報誌等による啓発回数 児童福祉課		単年※ 活動指	標 14	17	17 22	22 129	0.4% 146.79	× 22.0	10 31	140.9%	206.7% 3	31 7		15.0			_	П					•
2 総合計画	児童虐待防止の推進	福祉部	児童福祉課	児童虐待終結率	%	+		香芝市要保護児童対策協議会において終結 と判断されたケース/虐待として管理して いるケース		単年図 成果指	標 61.0	64.5	65.0 40.0	58.0 89.	2% 82.99	6 65.0	20 54	83.1%	77.1% 6	5 20		70.0			_						•
3 総合計画	就学前教育・保育の推進	福祉部	保育課	保育所等の待機児童数	٨	-	維持	4月1日時点の保育所等利用待機児童数(厚 生労働省の要領による) 等利用待機児童数調査』	引日現在の『保育所』	単年⊠ 成果指	標 0	0	0 -	0	-	0.0	0 0		-	0 -		0.0			O 39m3	THI I					•
3 総合計画	就学前教育・保育の推進	福祉部教育部	ことも課	保育サービスの実施数	事業	+		4月1日時点において市立及び私立保育所・ 幼稚園・認定こども園で実施している延長 保育・病児保育・一時預かり事業(一般型/		単年⊠ 成果指	標 46	47	48 -	48 100	0.0% 98.0%	6 51.0	51 51	100.0%	104.1% 5	55		49.0			-						•
3 総合計画	就学前教育・保育の推進	福祉部	保育課	認定こども風の設置数	施設	+	н	<u>幼稚園型)の数</u> 4月1日時点の市内の認定こども園数(累計) こども課 ※幼保再編計画と同じ目	目標値	累計 成果指	標 9	9	9 -	9 100	0.0% 81.8%	6 10.0	10 10	100.0%	90.9% 1	0 10		11.0			_	П					•
3 総合計画	就学前教育・保育環境の 整備	教育部	教育総務課	保育所・幼稚園・認定こども園施設の長 寿命化	棟	+		長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2 年度からの累計) 教育総務課 ※香芝市学校施設等長寿 設計画)	寿命化計画(個別施	累計 活動指	標 0	0	1 0	0 0.0	0.0%	6 1.0	0 0	0.0%	0.0%	1 0		3.0									•
4 総合計画	学びの推進・支援	教育部	学校支援室	学校に行くのが楽しい子どもの割合	%	+		全国学力・学習状況調査(文部科学省)で 「楽しいと思う」「どちらかと言えばそう思 う」と回答した人数、全回答者数(小学校6 年生・中学校3年生対象)	調査」より	単年図 成果指	標 84.0	-	84.1 79.4	79.4 94.	4% 94.1%	6 84.2	83 83	98.6%	98.3% 8	84 80.9		84.4			-				全国学力・学習状況調査が中止 なったため、評価ができなかった	٤.	•
4 総合計画	学びの推進・支援	教育部	学校支援室	国語・算数(数学)の勉強が好きな子ども の割合	%	+		全国学力・学習状況調査(文部科学省)で 「好き」どちらかと言えば好き」と回答した 学校教育課 人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3 ※「全国学力・学習状況認	調査」より	単年図 成果指	標 62.0	-	62.5 56.5	56.5 90.	4% 88.39	6 63.0	56 56	88.9%	87.5% 6	55.6		64.0			_				全国学力・学習状況調査が中止 なったため、評価ができなかった	٤.	•
4 総合計画	学びの推進・支援	教育部	学校支援室	国語・算数(数学)の平均正答率	%	+	н	年生対象) 全国学力·学習状況調査(文部科学省)で問題に正解した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象) デ校教育課 ※「全国学力・学習状況調査(大学報報)	調査」より	単年図 成果指	標 65.0	-	65.5 63.9	63.9 97.	.6% 95.4%	6 66.0	62 62	93.9%	92.5% 6	66 63		67.0			_	П			全国学力・学習状況調査が中止 なったため、評価ができなかった	<u>ک</u> د.	•
4 総合計画	学びの推進・支援	教育部	学校支援室	児童・生徒のICT活用を指導する能力	%	+		子校においる教育の情報にの天態寺に関す る調査(文部科学名)で指導する能力4項目 に対して「できる」「やゆできる」と回答した 教員数/全回答者数(市内)中学校教員対 の実態等に関する調査」	らける教育の情報化 はより	単年図 成果指	標 56.0	69.0	72.0 –	86.3 119.	.9% 141.59	90.0	- 86.3	95.9%	141.5% 9	0 -		61.0			_				R3実績値はR4.3月実施の調査 により確定		•
4 総合計画	安心して学べる教育環境 の整備	教育部	教育総務課	小学校・中学校施設の長寿命化	%	+	н	長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2 年度からの架計) 教育総務課 ※香芝市学校施設等長寿 設計画しより		累計 活動指	標 0	0	0 0	0	-	0.0	0 0		-	1 0		0.0				П					•
4 総合計画	安心して学べる教育環境 の整備	教育部	教育総務課	学校トイレの洋式化	棟	+		トイレの洋式化改修工事が完了した便器数 (累計)/改修工事対象便器総数 設計画しより	寿命化計画(個別施	単年 活動指	標 39.2	50.9	54.4 50.9	54.5 100	0.2% 79.79	6 59.1 5	9.6 59.6	100.8%	87.1% 65.	.2 65.2		68.4									•
5 総合計画	地域ぐるみの子ども支援	教育部	生涯学習課	学校・地域パートナーシップ事業地域ポ ランティア参加者数	٨	+		学校・地域パートナーシップ事業地域ボラン ティア年間延べ参加者数		単年図 成果指	標 35.695	33.284 3	5.700 —	32.000 89.	6% 88.99	6 25.000.0	- 35.021	140.1%	97.3% 3550	00 -		36,000.0			不可						•
5 総合計画	地域ぐるみの子ども支援	福祉部	保育課	学童保育所の待機児童数	٨	-	維持	こども課 5月1日時点の待機児童数 ※厚生労働省による5月 児童健全育成事業の実施	引1日現在の『放課後 施状況調査』	単年図 成果指	標 6	9	0 -	0		0.0	0 0	_	-	0 0		0.0			〇 39市庫	拼					•
5 総合計画	青少年の健やかな育成	教育部	生涯学習課	青少年交流事業参加者数	٨	+		子どもフェスティバル及び青少年指導員協議会等による体験学習の参加者数 生涯学習課 ※社会教育委員会議事業計	業経過報告事業集	単年図 成果指	標 2.390	0 2	2,400 0	0 0.0	0.0%	6 2.000.0	41 54	2.7%	2.2% 250	62		2.500.0			不可						•
5 総合計画	青少年の健やかな育成	教育部	生涯学習課	「少年の主張」作文参加割合	%	+		「少年の主張」作文応募者数/対象学年総 数(小学校5・6年生及び中学校1・2・3年 生)	業経過報告事業集	単年図 成果指	標 83.8	74.9	84.0 90.7	91.0 108	1.3% 108.39	85.0 8	1.0 84.0	98.8%	100.0% 8	85 81.2		84.0			不可						•
6 総合計画	総合的な福祉サービスの 提供	福祉部	社会福祉課	総合福祉センター貸室の利用率	%	+		年間稼働枠数/年間利用可能枠数 社会福祉課		単年図 成果指	標 50.0	30.3		-		53.0	22 35	66.6%	64.2% 5	37.6		55.0			-				R3は、総合福祉センター中規模 繕工事に伴う閉館につき、非設 定。	26	•
6 総合計画	総合的な福祉サービスの 提供	福祉部	社会福祉課	総合福祉センターサービス提供満足度	%	+		施設に関するアンケートで「満足」と回答した人数/全回答者数(センター来訪者対象)		単年図 成果指	標 -	-		-		50.0	1852 83	165.4%	118.1% 8	55 ******		70.0			_				R3は、総合福祉センター中規模 繕工事に伴う閉館につき、非設 定。	26	•
6 総合計画	地域で支え合う仕組みづ くり	福祉部	社会福祉課	地域福祉計画目標達成率	%	+		各事業の評価指数の合計/各事業の評価 指数の最大値の合計 社会福祉課		単年図 成果指	標 70	78	80 -	78 97.	5% 97.5%	6 80.0	78	97.5%	97.5% 8	0 ********		80.0			_				R3実績値は確定作業中(令和4 6月10日現在)。7月末確定予算	年	•
6 総合計画	地域で支え合う仕組みづ くり	福祉部	社会福祉課	小地域福祉活動実施地域	%	+		地域福祉推進委員会又はふれあいいきいき サロンが設置されている地域数(第計)/設 置対象地域数(全47地域)	上協議会)からの報告	累計 成果指	標 68	70	72 65	65 90.	3% 82.6%	6 75.0	65 65	86.7%	82.6% 7	2 68		78.7			_						•
7 総合計画	地域医療体制の充実	健康部	保健センター	二次教急の応需率	%	+		受け入れた件数/受け入れ要請件数 	番体制運営協議会	単年図 成果指	標 76.5	72.4	77.0 -	69.1 89.	7% 86.49	6 78.0	-	-	- 7	19 –		80.0			-				R2実績値については、県からテタがまだ届いていない。		•
7 総合計画	地域医療体制の充実	健康部	保健センター	こども教急電話相談(#8000)の認知 度	%	+		4か月児健診時のアンケート(健やか親子 21奈良県統一アンケート)で「知っている」 と回答した人数/全回答者数 4か月児健診時のアンケー 年度分の集計)	「一ト調査の集計(1	単年図 成果指	標 92.8	88.7	93.5 89.2	91.2 97.	5% 96.0%	6 93.0 9	2.8 93.5	100.5%	98.4% 9	94.3		95.0			0 39	9 21					•
7 総合計画	感染症対策の推進	健康部	保健センター	MR(麻疹風疹)の接種率	%	+		各接種者数/MR1期(1歳児)、MR2期(年 長児)接種対象者数 (保健センター事業報告	告に挙ずる	単年※ 活動指	標 91.0	96.8	97.0 47.5	90.1 92.	9% 96.9%	6 91.0 5	0.9 93.7	103.0%	100.8% 9	47.5		93.0			0 39	1期= 19 2期= 27	1期= 15 2期= 21				•
7 総合計画	感染症対策の推進	健康部	保健センター	高齢者インフルエンザ予防接種の接種率	%	+		65歳以上のインフルエンザ予防接種の接種 者数/65歳以上の人口 保健センター ※保健センター事業報告		単年 活動指	標 52.2	77.5	60.0 0	57.2 95.	3% 104.09	55.0	0 57.5	104.5%	104.5% 5	68 0		55.0			-	21					•
8 総合計画	健康的な生活習慣の推進	健康部	保健センター	5大がん検診受診者数	٨	+		保健センター 5大がん検診の受診者数 ※保健センター事業報告 の受診者数を足す)	告に挙ずる(すべて	単年図 成果指	標 6.034	4.460 6	,000 1,162	5,587 93.	.1% 90.1%	6 5.800.0 16	09 5,875	101.3%	94.8% 6,10	00 1.424		6.200.0			_						•
8 総合計画	健康的な生活習慣の推進	健康部	国保医療課	特定健康診査受診率	%	+		特定健診実施者/特定健診受診対象者 特定健診・特定保健指導		単年図 成果指	標 35.6	36.1	54.0 7.8	35.8 66.	3% 59.79	6 54.0	3.6 35.5	65.7%	59.2% 5	54 7.5		60.0			〇 39市里	ਸ਼ 18	11 16	21	R1年度及びR2年度は数値 が確定したため、修正しまし た。	,	•
0 002=135	ふの健康ペンローサー	健康部	保健センター	自發度子物の連小		_	26/1/4/	人口10万人当たりの自殺者数※(暦年単 地域における自殺の基礎	#482d	単年図 成果指	運 10 4	121	12.0 -	11 0	38 00 00	11.6	- 13.9		- 13.	4		11.4			0 39	9 10	23		R3年度の「実績」と「順位」 自殺死亡率は中間値の算出は 可。R3自殺者数は8月末時点で	54	•
	心の健康づくりの推進			自殺死亡率の減少	D+		麻ツボ	児童福祉課						11.8 114											3	, 10	23		٨.		
	心の健康づくりの推進 望ましい食生活の定着推	福祉部	児童福祉課	子ども・若者相談支援件数	# A	+		の報告による集計 参加者数/離乳食・食生活・料理講習会等 各教室のすべての参加者	者数を各教室すべて	単年図 成果指		36						92.6%		27		50.0									•
8 総合計画	進	健康部	保健センター	食に関する教室の参加率	%	+		の定員総数 の定員数で割った数の集	制	単年図 成果指	標 57.0	49.0	57.0 0	53.3 93.	5% 82.09	55.0	33 46.9	85.3%	12.2% 5	47.1		65.0			_						•

指標第 311									R1	R2		R3			R4			R5			R6			県内順位	(「奈良いちへ!!	1)			総	合戦略における位置	づけ
施策 評価種別	評価対象名	担当部局	担当所属 指標名	単位	評価の方向 マイナ 標の	ス指 原図 第出方法(指標説明)	データの出典	単年・ 累計	実績値 指標の 種類 (年度等	支續值	目標値 中	中間値 実績	値 目標達成度	目標値	中間値 実績値	目標達成度	目標値 中間値 実	共積値 目標	速成度	目標値 中間	丹値 実績値 目標達成		範囲 (20本		順位	!		備考		基本目標	10
No. a+im/es/y	評価対象名	IU크마이	担当別属 拍標台	*111	計画の方向標の	到 弄正力法(拍標說明)	テータの正典	累計	種類 (年度末	(年度末)	(9	(年度	末) (当該 年度比) (R6年 比)	褒 (9	9月末)(年度末) (年	(当族 (R6年度 比)	(9月末) (年	年度末) (当該 年度比	(R6年度 比)	(9,5	未) (年度末) (当該 年度比) (R	把握(可否 此)	(39市町村・12市)	R1 R	2 R3	R4 R5	R6		(1)稼ぐ・ 雇用	(2)つなが り・ひとの 流れ (3)結射 工	育 (4)魅力
8 総合計画	望ましい食生活の定着推	健康部	保健センター 食事バランスが取れている人の割合	%	+	食育調査で「1日2回以上食事をとり、主食 +主菜+副菜を食べる」と回答した人数/ 全回答者数(20歳以上の市民の方対象)	保健センター ※香芝市市民健康づくりアンケート調査	単年図	成果指標 41.4	41.4	55.0 2	29.7 38.	3 69.6% 69.6	% —						55.0											•
9 総合計画	自立支援・介護予防・重度化防止の推進	健康部	介護福祉課 地域活動による『通いの場』の設置割合	%	+	全回答者数(20歳以上の市民の方対象) 「いきいき百歳体操」が行われた地域数/設置対象地域数(全50地域)	介護福祉課 ※各年度末時点のいきいき百歳体操実施個	単年区	活動指標 30	38	50	40 4	0 80.0% 47.6	% 58.0	42 46 79	9.3% 54.8%	70 48			34.0											•
		健康部	介護福祉課 地域で孤立せず生活できている高齢者	%	+	介護保険意向調査で「心配事や愚痴を聞い てくれる人が「人以上いる」と回答した人数 /全回答者数(65歳以上の市民の方対象)	所数		成果指標 89	_	_			89.5	- 89.7 10	00.2% 100.2%	- 89.7		8	39.5			_					3年に1度の介護保険計画策定時 に意向調査を行う(次回の調査は R4年度)			•
	D#47++#474	健康部	介護福祉課 認知症サポーター養成人数		+			累計	成果指標 3,843	3,959	4,200 4,	,127 4,27	2 101.7% 89.0	% 4.393.0 4	,428 4,509 10	02.6% 93.9%	1,709 4.628			4,800.0								(V474-02/			•
		健康部	介護福祉課 居宅サービス費(1人当たりの給付額)	円/月	- 維	居宅サービスに係る給付費を利用者数で除	A SEPTEM SEE		成果指標 104,14		110.000 10		74 104.1% 104.1	196 110,000.0 10	03,190 102,021 10	07.3% 107.3%	110, 000 102,485			110,000.0		_									
	障がい者が地域で安心し て暮らせる仕組みづくり	福祉部	社会福祉課 意思疎通支援事業の登録者数		+	した金額 香芝市意思珠通支援者名簿(手話通訳・要 約筆記)に登録されている人数(累計)	社会福祉課		成果指標 33	33	35	32 3	2 91.4% 91.4	% 35.0	32 32 91	1.4% 91.4%	35 33		3	35.0											
	かんい (本人のおけった)	福祉部	社会福祉課 手話奉仕員の養成人数		+	手話奉仕員養成講座を受講した延べ人数	社会福祉課	累計	成果指標 500	Н	530		9 99.8% 96.2				570 572			550.0			_								•
	障がい者が地域で安心し て暮らせる仕組みづくり	福祉部	社会福祉課 障がい者の職場体験受け入れ人数		+	(平成14年度からの延べ人数) 市が職場体験として受け入れた人数	社会福祉課		活動指標 4		4		4 100.0% 50.0			6.7% 50.0%	6 0			8.0											-
	障がい者が地域で安心し で暮らせる仕組みづくり	福祉部	社会福祉課優先調達金額	千円	+	障がい者就労施設等からの物品等の調達金 額			活動指標 498		700	242 55	2 78.9% 92.0		70 637 10		800 134			500.0								R3実績値は確定作業中(令和4年 6月10日現在)。6月末確定予定。		•	•
	生活困窮者への相談支援・就労支援の充実	福祉部	生活支援課 生活支援課		+	観 就労につながった件数/一般就労を目標と した支援プランの策定件数			成果指標 75	+	77		9 63.6% 61.3			7.2% 85.0%	79 100			30.0											•
	1 ### 24 A ## L ## III	市民環境部	市民協働課 市民集会参加者数		+	した支援ブランの策定件数 「人権を考える香芝市民集会」の参加者数			成果指標 150	Н		150 15			150 150 10		150 150			180.0											
	機会の提供 人権啓発の推進と学習 機会の提供	市民環境部	市民協働課 「市民協働課 「大樂女学加有数 「大学女学加有数	%	+	「人権を考える替之中氏果云」の参加有数 人権に関する市民アンケートで「市が実施する人権啓発事業を知っている」と回答した			成果指標 64.0			56.0 56.				7.8% 63.0%	65 63.6			70.0			5								
				0/		人数/全回答者数(事業参加者対象) 市職員の女性管理職数/市職員の管理職																	T 20#8t#	-	2 2			毎年度4月1日時点			
	男女共同参画によるまち づくりの推進 男女共同参画によるまち づくりの推進	市民環境部市民環境部	市民協働課 市職員の管理職に占める女性割合 市民協働課 市の審議会への女性委員登用率	%	+	数 審議会等における女性委員数/審議会等に	112-4100000		成果指標 29.7	Н		30.4 30.			31.4 31.4 10 23.5 23.5 78		30 37.5			30.0			39市町村 39市町村	9 1	3 3 4 12			毎年度4月1日時点	•	• •	•
		市民環境部		76		017 030900				Н							85 83.5			38.0			-	9 1	4 12				•		
	自治会活動の支援		市民協働課 自治会加入率 市民協働課 自治連合会と地域団体との協働事業実	70	+	自治会加入世帯数/4月1日時点の世帯数 自治連合会と地域団体との協働事業実施回 数			成果指標 87.	Н			3 99.1% 96.9		84.2 84.1 98		85 83.5			1.0			KI								
	自治会活動の支援 市民公益活動団体の支	市民環境部	施口数		+	数まちづくり提案活動支援事業補助金の申請			成果指標 (0		0 - 0.09			00.0% 100.0%	17 20					1	5								•
13 総合計画	援	市民環境部			+	TT9X			成果指標 19	\vdash	10		9 90.0% 36.0			06.7% 64.0%	17 20			25.0			Kn								
	文化の発信・創造・交流の支援	教育部	生涯学習課 ふたかみ文化センター稼働率	%	+	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	生涯学習課		成果指標 44.2	Н						9.8% 87.8%	43 35.7			45.0			KI .							•	•
	文化の発信・創造・交流の支援	教育部	生涯学習課 ふたかみ文化センター利用者数	^	+	ふたかみ文化センターの年間利用者数	生涯学習課		成果指標 89.79	\vdash			99.8% 56.6			07.2% 66.3%	70.000 31.584			7,500.0			K							•	
	文化の発信・創造・交流 の支援 文化の発信・創造・交流	市民環境部	市民協働課 地域交流センター稼働率	%	+	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	市民協働課		成果指標 23.6	Н		20.3 23.				15.4% 110.8%	29 27.3		-	25.0		1	5							•	
	文化の発信・創造・交流の支援	市民環境部	市民協働課 地域交流センター利用者数	^	+	地域交流センターの利用者数	市民協働課		成果指標 48.62	\vdash	23.000 15						19000 25610			55.000.0			fi .							•	•
	多文化理解と国際交流 の推進	市民環境部	市民協働課 国際交流事業実施回数		+	国際交流事業の実施回数	市民協働課		活動指標 2		3		2 66.7% 66.7			20.0% 200.0%	4 3			3.0		1	-							•	•
	生涯学習機会の充実	教育部	生涯学習課中央公民館利用率	%	+	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	生涯学習課 ※指定管理者からの報告 生涯学習課						0 60.0% 63.6			8.6% 72.7%	35 27		1	33.0		不									•
	生涯学習機会の充実	教育部	生涯学習課中央公民館利用者数	٨	+	中央公民館の利用者数 年間稼働枠数/年間利用可能枠数	生涯学習課 ※指定管理者からの報告		成果指標 69.09				00 50.0% 28.6		0625 31,374 10					70.000.0		不									•
	スポーツ活動の充実	教育部	生涯学習課 社会体育施設利用率	%	+		生涯学習課 ※指定管理者からの報告		成果指標 49	\blacksquare	49	55 5	5 112.2% 107.8				56.1 54		!	51.0		不									•
	スポーツ活動の充実	教育部	生涯学習課 社会体育施設利用者數	٨	+	社会体育施設の利用者数	生涯学習課 ※指定管理者からの報告		成果指標 181.14		190.000 10		04 107.2% 92.5			3.2% 93.5%	246.000 119.797			220,000.0		不									•
	図書館機能の充実	教育部	市民図書館 蔵書回転率		+	年間貸出冊数/蔵書冊数(蔵書1冊当たり の貸出回数)	奈良県の公共図書館		成果指標 1.7	\vdash			8 128.6% 100.0				1.7 0.9			1.8) 12市	3	3						•
	図書館機能の充実	教育部	市民図書館 市民図書館来館者数	٨	+	市民図書館の来館者数	図書館要覧		成果指標 一		153.000 10		12 122.7% 121.9		9,948 185.882 98		99,611		1	154,000.0											•
	~	教育部	文化財課博物館入館者数	٨	+	二上山博物館の入館者数	生涯学習課			+			0 116.4% 80.0		128 7,905 11				1	0.000.8										•	•
	~	教育部	文化財課 博学連携参加者数	٨	+	博学連携参加者数	生涯学習課								675 1,070 15					300.0										•	•
	文化財の保護・啓発	教育部	文化財課 指定文化財の件数	件	+	国・県・市指定文化財の件数(累計)	生涯学習課(二上山博物館)		成果指標 42				4 100.0% 102.3			5.6% 100.0%	44 44			13.0										•	•
16 総合計画	文化財の保護・啓発	教育部	文化財課 尼寺廃寺跡学習館利用者数	٨	+	尼寺廃寺跡学習館の利用者数	生涯学習課(二上山博物館)			1,435 1	1,500	705 1,36	9 91.3% 85.6	% 1,500.0	621 1,566	97.9%	1600 915			1.600.0										•	•
17 総合計画	企業の活性化	地域振興局	商工観光課 企業立地件数	件	+	事業計画を認定した企業数(令和元年度からの累計)		累計	成果指標 1	2	7	4	6 85.7% 100.0	9.0	7 7 7	7.8% 116.7%	8 8			6.0		否							•	•	4
17 総合計画	企業の活性化	地域振興局	商工観光課 各種補助金申請件数	件	+	市補助金4種に対する申請件数(令和元年度からの累計)			成果指標 7		21	20 2	3 109.5% 54.8	% 33.0	31 32 97	7.0% 76.2%	39 38			12.0		否							•	•	
17 総合計画	企業の活性化	地域振興局	商工観光課 香芝ブランド認定件数	件	+	地域ブランド「KASHIBA+」認定件数(令和元年度からの累計)			活動指標 23		27	24 2	5 92.6% 75.8	% 27.0	25 25 92	2.6% 75.8%	26 25			33.0		否							•	•	
17 総合計画		地域振興局	商工観光課 市内での創業者数	٨	+	市の各種制度を活用して創業した人数(累計)	商工振興課算出ファイル名「★創業支援者 実績(H27°).xlsx」にて管理	累計	成果指標 10	18	22	19 2	4 109.1% 36.4	% 34.0	25 27 79	9.4% 40.9%	32 27			56.0		否							•	•	
18 総合計画	IDPS版IF例のAMA/J相近	産業振興局	農林課 農業施設の改修達成率	%	+	改修済み箇所/改修予定箇所	展林課で算出	単年⊠	活動指標 100	100	100	5 10	0 100.0% 100.0	0% 100.0	5 100 10	00.0% 100.0%	100 5		1	0.00									•	•	•
18 総合計画	農業体制の整備および 市内農作物の魅力創造	産業振興局	農林課市内酒造会社の香芝産酒米使用率	%	+	香芝産酒米使用量/酒米使用量	酒造会社(澤田酒造㈱・㈱大倉本家)へ使用量を照会のうえ算出	単年図	成果指標 13	14	15	8 1	5 100.0% 83.3	% 16.0	8 15 93	3.8% 83.3%	17 8			18.0									•	•	•

指標對 311									R1	1 R2			R3			R4		R5				R6		県内	順位(「奈良いち	√ !!」)			総	合戦略における位置づけ	
施策 No. 評価種別	評価対象名	担当部局	担当所属 指標名	単位	評価の方向	マイナス指標の種別 算出方法(指標説明)	データの出典	単年・ 累計	指標の	(年度末)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 目標 (当該 年度末) 年度比	原達成度 (R6年度	目標値 中間値 (9月末)	実績値 目標達成 (年度末) (当該 年度比) (R	波度 目標値 (6年度 比)	中間値 実績値 (9月末) (年度末)		党度 目標値 R6年度	中間値 (9月末)(生精値 目標達成度 年度末) (当該 (R6年 年度比) 比)	把握の (30	_	R2 R3	順位 R4	R5 R6	備考	(1)稼ぐ・(基本目標 2)つなが リ・ひとの 流れ (3)結婚・ 出産・子育 て	位置付き無し
									(48)	A) (+QA)		(9/3/4/)	年度比)	D ED	(954)	(年成本/ 年度比)	比)	(754) (484)	年度比)	比)	(3/3/4/)	华度北) 比)	12	事)	KZ K3	N4 1	NO NO		(1)稼ぐ・	流れて	1782/J
19 総合計画	観光情報の発信	地域振興局	商工観光課 観光客数	٨	+	市内4地点※の年間推定来訪者数、観光 源を活用したイベント参加者数の合計	資 観光入込客統計	単年⊠	成果指標 40.49	96 34.746	37.000	21.700	32.905 88.99	% 80.3%	37,000.0 18201	32.388 87.5% 79	9.0% 3700	0 21.960		41,000.0	0		否						•	•	
19 総合計画	観光資源の魅力向上	地域振興局	商工観光課 観光客の満足度	%	+	観光客アンケート調査で「香芝市への観」 満足」と回答した人数/全回答者数(二」 山・どんづる峯への来訪者対象)	光に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	単年⊠	成果指標 30	0 48	48	-	48 100.09	% 120.0%	50.0 -	71 142.0% 17	77.5% 50	0 –		40.0			否						•	•	
20 総合計画	災害時緊急体制の確立	生活安全部	危機管理課 災害用備蓄充足率	%	+	想定避難者数に対する食糧備蓄率・飲料 備蓄率・毛布備蓄率、指定避難所数に対 るボータブル発電機備蓄率の平均値		累計	活動指標 56	6 74	74	83	79 106.89	105.3%	84.0 85	94 111.4% 12	24.8% 9!	5 97		75.0			否								•
20 総合計画	防災・減災対策の強化	都市創造部	都市計画課 住宅耐震化率(耐震シェルター含む)	%	+	耐震性を有する住宅数/住宅総数	·平成30年住宅·土地統計調查 ·香芝市耐震改修促進計画	累計	成果指標 90	0 -	-	-								94.0			-					住宅土地統計調査(総務省)の データを用いている。 (調査は5年毎で次回調査は令和			•
20 総合計画	防災・減災対策の強化	都市創造部	土木課 浸水常襲地域内における家屋浸水解消 戸数	戸	+	減災対策(対策対象戸数全298戸)によ 浸水被害が解消された家屋戸数(累計)	り 浸水常襲地域における減災対策緊急プログラム	累計	成果指標 142	2 142	142	142	142 100.09	100.0%	142.0 142	142 100.0% 10	00.0% 142	2 142		142.0			否					5年·令和6年公表予定)			•
20 総合計画	防災・減災対策の強化	都市創造部	土木課 ため池治水対策率	%	+	対策量/大和川総合治水対策協議会に る計画対策量	大和川流域整備計画実施要領	累計	活動指標 40	0 45	52	45	52 100.09	98.1%	52.0 52	52 100.0% 98	8.1% 52	2 52		53.0			否	П		П					•
20 総合計画	消防団体制の充実	生活安全部	危機管理課 消防団員数	Д	+	消防団の団員数	課内資料	単年⊠	成果指標 132	2 134	134	132	132 98.59	% 100.0%	132.0 133	133 100.8% 10	00.8% 132	2 131		132.0			否								•
20 総合計画	自主防災力の向上	生活安全部	危機管理課 自主防災組織活動率	%	+	訓練等を実施した自主防災組織数/自 災組織数	課内資料	単年図	成果指標 44	4 11	11	4	11 100.09	% 18.3%	44.0 9	33 75.0% 55	5.0% 50	0 7		60.0			否								•
21 総合計画	防犯意識の向上	生活安全部	生活安全課年間刑法犯認知件数	件	-	維持 香芝市内における年間刑法犯認知件数(年単位)	暦 奈良県警察の公開情報	単年⊠	成果指標 238	8 232	232	157	221 104.79	% 103.9%	231.0 157	240 96.1% 95	5.7% 230	0 -		230.0			0 12	2市 5	5 5						•
21 総合計画	防犯意識の向上	生活安全部	生活安全課 「特殊詐欺」認知件数	件	-	市内における年間刑法犯認知件数のうち (特殊詐欺)といわれる罪種別認知件数 年単位)	5 暦 奈良県警察の公開情報	単年⊠	成果指標	5 3	3	1	1 166.79	% 180.0%	5.0 6	7 60.0% 60	0.0%	5 -		5.0			0 12	2市 5	2 1						•
21 総合計画	防犯意識の向上	生活安全部	生活安全課 侵入窃盗関係認知件数	件	-	市内における年間刑法犯認知件数のうち 「住宅対象侵入窃盗」及び「事業所対象侵 窃盗」といわれる罪種別認知件数の直近	5 5 4 奈良県警察の公開情報	単年図	成果指標 2′	7 26	26	15	18 900.09	% 450.0%	26.0 17	19 800.0% 40	00.0% 25	5 -		25.0			0 12	市 6	9 8						•
21 総合計画	防犯意識の向上	生活安全部	生活安全課 「こども110番の家」の協力率	%	+	年間の平均件数(簡年単位) 「子ども110番の家」の協力世帯数/世 数	生活安全課算出	累計	成果指標 4.	.1 4.1	4.2	4.2	4.2 100.09	97.7%	4.2 4	4 96.2% 94	4.0% 4.2	2 4		4.3			×								•
21 総合計画	消費者保護の推進	地域振興局	商工観光課 消費生活相談の解決率	%	+	助言・情報提供・斡旋・紹介により処理し 件数/年間相談件数	₹ PIO-NET	単年図	成果指標 92	2 96	96		96 100.09	96 10434.8%	96.0 -	95 99.0% 103	326.1% 96	6 –		0.9			否								•
22 総合計画	交通安全対策の推進	生活安全部	生活安全課 交通事故発生件数	件	-	減少 年間交通事故発生件数(曆年単位)	奈良県警察の公開情報	単年図	成果指標 182	2 160	160	120	179 13.69	% 25.0%	170.0 94	147 291.7% 29	91.7% 170	0 -		170.0			0 12	2市 9	7 8						•
22 総合計画	交通安全対策の推進	生活安全部	生活安全課 高齡者運転免許自主返納支援事業補助 金申請者数	件	+	高齢者運転免許自主返納支援事業補助申請者数	金生活安全課で算出	単年図	成果指標 一	- 62	260	46	126 48.59	% 48.5%	260.0 68	138 53.1% 53	3.1% 130	0 65		260.0			-								•
22 総合計画	交通安全対策の推進	生活安全部	生活安全課 放置自転車等撤去台数	台	-	減少年間放置自転車等撤去台数	自転車等放置禁止区域で撤去した実績台数	単年図	成果指標 11'	7 69	90	30	70 174.19	% 671.4%	90.0 32	75 155.6% 60	00.0% 90	0 54		110.0	,										•
22 総合計画	交通安全施設の整備	都市創造部	公園道路管理課施設整備率	%	+	対策済みの箇所数/通学路交通安全ブロックに基づく要対策箇所数(累計)	コグ 農政土木管理課で算出	累計	活動指標 85	5 85	90	85	72 80.09	% 75.8%	85.0 82	78 91.8% 82	2.1% 8	5 86		95.0			_								•
23 総合計画	ごみ減量と資源化の推 進	市民環境部	廃棄物対策課 1人当たりの1日のごみ排出量	g	-	減少 家庭系ごみ総量/365日/人口	ごみ減量と資源化の推進計画	単年⊠	成果指標 675	5 667	647	-	648 96.49	% 19.0%	610.0 -	630 69.2% 31	1.7% 582	2 -		533.0								年度末に数値が出る			0
23 総合計画	ごみ減量と資源化の推進	市民環境部	廃棄物対策課 ごみの資源化率	%	+	資源化量/家庭系ごみ総量	ごみ減量と資源化の推進計画	単年図	成果指標 15	5 14	16	-	13 80.29	% 56.5%	16.7 -	13 77.8% 56	6.5% 17.9	9 -		23.0			否					年度末に数値が出る			0
23 総合計画	環境保全対策の推進	市民環境部	廃棄物対策課 不法投棄相談件数	件	-	減少 相談件数	香芝市市民衛生課管理データ(不法投棄受付簿)	単年⊠	成果指標 25	5 26	24	7	21 400.09	% 200.0%	24.0 4	14 1100.0% 55	50.0% 24	4 14		23.0			否					人口、世帯規模の違う市町村と比 較し、順位付けをするのはフェアで ないと考えましたので否としまし			•
23 総合計画	環境保全対策の推進	市民環境部	環境対策課 公害苦情相談件数	件	-	減少相談件数	香芝市市民衛生課管理データ(公害苦情受 付簿)	単年⊠	成果指標 45	5 64	43	25	39 300.09	% 85.7%	40.0 26	37 160.0% 11	14.3% 3!	5 10		38.0			否					た。 人口、世帯規模の違う市町村と比 較し、順位付けをするのはフェアで ないと考えましたので否としまし			•
24 総合計画	美しい自然環境・景観の 保全	都市創造部	公園道路管理課森林・街路・公園維持管理面積	ha	+	維持管理体制の整っている森林面積、後 植樹面積、公園面積の総数(累計)	路農政土木管理課で算定	累計	活動指標 44	4 44	44	44	44 100.09	% 100.0%	45.0 45	45 100.0% 10	02.3% 4!	5 45		44.0								Γ.			•
25 総合計画	良好な市街地の形成	都市創造部	都市計画課 空き家率	%	-	空き家数/住宅総数	香芝市空家等対策計画	累計	成果指標 8	8 -	-	-								8.2			-					住宅土地統計調査(総務省)の データを用いている。 (調査は5年毎で次回調査は令和		•	•
25 総合計画	持続可能な地域公共交通の確立	生活安全部	生活安全課 コミュニティバス利用者数	٨	+	コミュニティバスの利用者数	生活安全課集計	単年図	成果指標 58.66	60 31.262	34,388	17,451	34.677 100.89	% 53.3%	36.576.0 21176	41,887 114.5% 64	4.4% 45.50	22.460		65,000.0	0							5年·令和6年公表予定)			•
25 総合計画	持続可能な地域公共交通の確立	生活安全部	生活安全課 デマンド交通利用者数	٨	+	デマンド交通の利用者数	生活安全課集計	単年図	成果指標 43.47	78 35.692	39.261	20.506	41,117 104.75	% 87.5%	42,412.0 22752	44,658 105.3% 95	5.0% 47.00	23.767		47,000.0	0		_								•
25 総合計画	持続可能な地域公共交通の確立	生活安全部	JR西日本の利用者数(奈良県統計年鑑 発表年度の数値であり、利用実績値とし では各2年前のデータ)	, f A	+	JR西日本市内3駅の利用者数(千人未満繰上)	奈良県統計年鑑(2年のタイムラグ)R1: H29年度	単年図	成果指標 1.57	76 1,594	-	_	1,581 -	- 100.3%	1,196.0 —	1,290 107.9% 81	1.9% 1,35	5 -		1,576.0	0		O 127	市町 6	6			奈良県統計年鑑(2年のタイムラグ)R1:H29年度			•
25 総合計画	持続可能な地域公共交通の確立	生活安全部	生活安全課 生活安全課 生活安全課 生活安全課 としては各2年前のデータ)	重 千人	+	近畿日本鉄道市内5駅の利用者数(千人 満は繰上)	未 奈良県統計年鑑(2年のタイムラグ)R1: H29年度	単年図	成果指標 8,91	13 8,927	-	- 8	8,914 –	- 100.0%	6.695.0 —	6,904 103.1% 77	7.5% 7,58	7 –		8.913.0	0		O 22th	町村 4	4			奈良県統計年鑑(2年のタイムラグ)R1:H29年度			•
25 総合計画	持続可能な地域公共交通の確立	生活安全部	生活安全課 奈良交通の利用者数	千人	+	奈良交通市内パス4路線の利用者数	奈良交通株式会社で運行する市内バス4路線の利用者数(R1:3路線)	単年図	成果指標 1.88	35 1,451	2,074		1,549 74.79	% 92.3%	1,477.0 —	1,680 113.7% 10	00.1% 1,66	1 -		1,679.0	0							年度末に数値が出る			•
25 総合計画	持続可能な地域公共交通の確立	生活安全部	生活安全課 タクシー(西大和交通圏)の 利用者数	千人	+	西大和交通圏全体のタクシーの利用者数	奈良運輸支局提供	単年図	成果指標 865	5 832	915	-	618 67.59	% 71.4%	606.0 -		- 692	2 –		865.0			_					年度末に数値が出る			•
26 総合計画	公園整備の推進	都市創造部	土木課 住民1人当たりの都市公園の敷地面積	mí	+	都市公園面積/人口	都市公園台帳住民基本台帳	累計	活動指標 5.	1 5.2	5.2	5.2	5.2 100.09	94.5%	5.2 5.2	5.2 100.0% 94	4.5% 5.2	2 5.2		5.5										•	•
26 総合計画	パリアフリー化の推進	都市創造部	都市計画課	%	+	特定事業(パリアフリー化工事等)が完了 た事業数/特定事業の全事業数	し 香芝市バリアフリー基本構想	累計	活動指標 32.9	9 38.9	43.1	38.9	38.9 90.39	% 71.5%	52.8 41.6	47.0 89.0% 86	6.4% 54.4	4 –		54.4											•
26 総合計画	地域拠点としての駅周辺 整備	都市創造部	駅周辺整備率(踏切・暫定広場整備を含む)	%	+	整備した箇所数(累計)/整備対象箇所数		累計	活動指標 68	8 72	72	72	72 100.09	96 100.0%	72.0 72	72 100.0% 10	00.0% 72	2 72		72.0										•	•
27 総合計画	幹線道路の整備	都市創造部	土木課都市計画道路供用済延長	km	+	これまでに供用を開始した都市計画道路 長(累計)	延 GIS等による図測	累計	活動指標 27.3	3 27.3	27.3	27.3	27.3 100.09	98.6%	27.3 27.3	27.3 100.0% 98	8.6% 27.3	3 27.3		27.7			否								•
27 総合計画	生活道路等の安全性の確保	都市創造部	土木課 市道の新設・改良箇所数	箇所	+	市道において、新設・改良工事を実施した 所数(令和3年度からの累計)	- 簡 令和3年度以降に整備を完了した箇所数を 掲載	累計	活動指標	- 2	3	2	6 200.09	96 150.0%	6.0 6	10 166.7% 25	50.0% 14	4 11		4.0			否								•
28 総合計画	安心、安全、安定した水道の供給	上下水道部	工務課 基幹管路の耐震化率	%	+	基幹管路(口径300mm以上の配水管) 耐震管の累計総延長/基幹管路総延長	の管路更新計画	累計	活動指標 11.9	9 11.9	14.3	14.3	14.6 102.19	% 51.0%	14.6 14.6	14.6 100.0% 51	1.0% 14.6	6 14.6		28.6			_								•
28 総合計画	健全な水道事業の運営	上下水道部	業務課 经常収支比率	%	+	经常収益/経常費用	公営企業決算状況調査	単年⊠	成果指標 113.	.8 105.5	100以上	103.2	107.0 -		100kl± -	101.0 —	— 100k	± -		1005Li	Ŀ										•
29 総合計画	下水道の整備・更新	上下水道部	下水道課 下水道の人口普及率	%	+	下水道処理人口(下水道を利用できる人 /住基人口	数)下水道課	累計	活動指標 73.2	2 75.3	76.1	75.3	76.8 100.99	95.5%	78.0 76.0	77.7 99.6% 96	6.6% 80	77.8		80.4			-			-					•
29 総合計画	水洗化の促進	上下水道部	下水道課 下水道の水洗化率	%	+	下水道接続人口(下水道を利用している 数)/下水道処理人口(下水道を利用で 人数)	人でる下水道課	累計	成果指標 90.6	6 90.1	91.0	91.0	90.0 98.99	% 94.7%	91.0 90	90.5 99.5% 95	5.3% 92	2 91.2		95.0											•
						人致)					I																				

指標数 311										R1	R2		R3			R4		R5			R6		県	内順位(「奈良いち	/!!J)			総合	対略における位置づけ	
施策 No. 評価種別	評価対象名	担当部局	担当所属	皆標名	単位	評価の方向 マイナ	ス指 種別 算出方法(指標説明)	データの出典	単年・ 累計	指標の	美積値 (年度末)		中間値 実績値 (9月末) (年度末			実績値 目標送 (年度末) (当該 年度比)	全成度 目標 (R6年度 比)	値 中間値 実績値 (9月末) (年度末)			中間値 実績値 目標達成 9月末) (年度末) (当該 年度比)	+D+E/O	範囲 (39市 町村・ R1	R2 R3	随 R4 R5	R6	備考	(1)稼ぐ・(2	基本目標 2)つなが J・ひとの 流れ (3)結婚・ 出産・子育 て (4	位置付無し
										(+82	(484)		(404	/ 年度比) 比)	(984	(十級本/ 年度比)	比)	(9/34) (4/84)	年度比) :	2	プラスト (十尺木) 年度比)	比)	12市)	NZ N3	K4 K3	No		(1)稼ぐ・ (2)	流れてて	/ME/J
29 総合計画	持続的な下水道機能の確保	上下水道部	下水道課 法定水質基準遵守	7率	%	+	法律に基づく水質試験の基準を遵守した流 域接続点の箇所数/市内の流域接続点の 箇所数	下水道課	単年⊠	成果指標 100	100	100	50 100	100.0% 100.0	0% 100.0 5	100 100.0%	100.0% 1(50		100.0		_								•
30 総合計画	総合計画・総合戦略の進 行管理	企画部	企画政策課 「第5次香芝市総 標の達成割合	合計画」における各指	%	+	目標を達成した指標の数/全指標の数(本 指標は除く)	企画政策課	単年図	成果指標 一	-	80	- 55.7	69.6% 69.6	5% 80.0	48.6 60.8%	60.8%	30 -		80.0		-					各年度の年度末実績により達成割 合を算出するため、中間値は「-」 としている。			0
30 総合計画	総合計画・総合戦略の進 行管理	企画部	企画政策課 「第2期香芝市総 標の達成割合	合戦略」における各指	%	+	目標を達成した指標の数/全指標の数(本 指標は除く)	企画政策課	単年図	成果指標 一	-	80	- 53.0	66.3% 66.3	80.0	46.9 58.6%	58.6% 8	30 -		80.0		_					各年度の年度末実績により達成割 合を算出するため、中間値は「-」 としている。			0
30 総合計画	財政運営の健全化	財務局	財政課 市債残高	1	億円	-	市債残高	公債台帳	単年図	活動指標 305	300		29			277 —	_	-									減少させる			0
30 総合計画	財政運営の健全化	財務局	財政課 実質公債費比率		%	-	収入に対する負債返済の割合を示すための 指標	財政課	単年⊠	活動指標 15.2	13.5		12.	3		11.6 —	-	-									県内市町村平均値を目指す			0
30 総合計画	財政運営の健全化	財務局	財政課 財政調整基金残る	5 (修)	円間60回	+	財政調整基金残高/標準財政規模	財政課	単年図	活動指標 14.	15.8 (10.0		20.4	5		24.2 (14.7) —	-	-									標準財政規模の10%程度以上を 確保する			0
30 総合計画	公有財産の維持管理及 び活用	総務部	管財課 個別施設計画策算	2数	件	+	個別施設計画を策定した施設類型数(平成 30年度からの累計)	個別施設計画、香芝市公共施設等総合管理 計画、香芝市公共施設再編計画、香芝市公 共施設保全計画	累計	活動指標 11	11	11	12 12	109.1% 92.3	3% 12.0 1	2 13 108.3%	100.0%	13 13		13.0		否								•
31 総合計画	適正課税の推進および 収納(徴収)率の向上	財務局	納税促進課 市税収納率(現年	分)	%	+	収納済額/収納すべき額	課内資料(毎年5月末の出納閉鎖後の収納 済額による)	単年図	成果指標 99.1	98.9	99.1	62.6 99.1	100.0% 100.0	0% 99.1 61.	99.09 100.0%	100.0% 99	0.1 61		99.1		可	12市 7	7 8						0
31 総合計画	適正課税の推進および 収納(徴収)率の向上	健康部	保険料収納課 国保料収納率(現	年分)	%	+	収納済額/収納すべき額	5月末(出納閉鎖期間も含むため)のTASK の数値から算出。(収納額)/(調定額)* 100(%)	単年⊠	成果指標 93.2	93.7	93.7 4	43.7 94.32	100.7% 100.3	3% 94.5 45.0	3 94.05 99.5%	100.1% 94	.5 43.3		94.0		0	12市 7	7 5						0
31 総合計画	財産調査の強化と適正な債権管理	財務局	納税促進課 滞納繰越額の減少	>率	%	+	(前年度滞納繰越額-当該年度滞納繰越 額)/前年度滞納繰越額	課内資料(毎年5月末の出納閉鎖後の滞納 繰越調書による)	単年図	成果指標 4.7	2.7	3	- 4.5	150.0% 93.8	3% 4.5	0.04 -0.9%	-0.8% 4	.5 -		4.8		否		2						0
31 総合計画	自主財源の確保	企画部	企画政策課 ふるさと寄附金受	入額	万円	+	ふるさと納税による寄附金受入額	ふるさと納税現況調査(総務省)における報告	単年⊠	成果指標 5,110	5.272 6	6,000 1,	,414 5,521	92.0% 78.9	9% 8.000.0 1,31	1 6,520 81.5%	93.1% 700	2.096		7.000.0		0	9	13					•	
32 総合計画	市政情報の提供と広報力の強化	企画部	秘書広報課 市ホームページ「」	広報」平均アクセス数	件	+	ホホームページ「広報紙」ページへの1ヶ月 あたりの平均アクセス数	【O4 データ統計(行政評価指標)】 ホームページアクセス統計(ICT推進課にて 更新)	単年図	成果指標 770	1,155 1	1,340 3	3,311 2,846	212.4% 296.5	5% 1.090.0 1,06	1,074 98.5%	111.9% 9	13 1.090		960.0							●R3実績値が計画当初目標値を 大幅に上回っているのは、LINE 公式アカウントの導入(R2.12月		•	
32 総合計画	市政情報の提供と広報力の強化	企画部	秘書広報課 SNSのフォロワー	数	Д	+	本市が運営するSNSのフォロワー数の合計		単年⊠	成果指標 284	421	450	441 448	99.6% 80.0	0% 485.0 45	9 467 96.3%	83.4% 52	25 478		560.0		-					~)によりサイトへのアクセスが容 (R6目標値560-R3実績値 448)÷3(R4・R5・R6の3か年) =37(R4目標増加数)		•	
32 総合計画	市政情報の提供と広報力の強化	企画部	ICT推進課 オープンデータ公	開数	件	+	オープンデータとして公開されているデー タ数	香芝市公式サイト オープンデータページ(未整備)	単年図	活動指標 0	1	2	1 1	50.0% 20.0	0% 3.0	1 16 533.3%	320.0% 1	8 19		5.0		否							•	
32 総合計画	ICT を活用した業務の 効率化・利便性の向上	企画部	ICT推進課 電子申請·施設予	約利用件数	件	+	奈良電子自治体共同運営ポータルサイト「e 古都なら」による電子申請・施設予約件数		単年⊠	成果指標 1,423	1,431 2	2,000 2.	2,488 16.98	849.3% 629.	1% 5.000.0 5,16	10,982 219.6%	406.7% 8,00	00 6.933		2.700.0		否								0
32 総合計画	ICT を活用した業務の 効率化・利便性の向上	企画部	ICT推進課 AIチャットポットネ	刊用件数	件	+	AIチャットボットの利用件数	AIチャットポットシステム(予定)	単年⊠	成果指標 0	2,525 5	5,000 14	4,211 18,000	360.0% 94.7	7% 10.000.0 7,61	15,908 159.1%	83.7% 18.0	00 7.232		19,000.0		否								0
32 総合計画	情報セキュリティの確保	企画部	ICT推進課 セキュリティインS	デント件数	件	- 維	持セキュリティインシデント発生件数	年間インシデント件数(台帳未整備)	単年⊠	成果指標 0	1	0	0 0		- 0.0	2 4 -	_	0 5		0.0		否								0
33 総合計画	適正な人事評価	企画部	人事課 人事評価アンケー	ト調査満足度	%	+	人事評価アンケートで「良い」「とても良い」 と回答した人数/全回答者数(市職員対象)	アンケート結果	単年図	成果指標 一	-	60	0 60	100.0% 85.7	7% 65.0	69 106.2%	98.6%	70 0		70.0		-								0
33 総合計画	職員研修の推進	企画部	人事課 研修実施回数		0	+	人事課主催の研修実施回数	年度実績	単年⊠	活動指標 10	7	10	5 12	120.0% 109.1	1% 10.0	5 12 120.0%	109.1%	12 5		11.0		-								0
33 総合計画	効果的な人員配置	企画部	人事課 超過勤務時間数	鸭	間/年	- 増加	抑制 選挙や災害対応を除く超過勤務の総時間数	出退動システム管理の超過勤務時間データ	単年図	成果指標 38.00	36.000 3	35.800 27	7,166 35,45	0 101.0% 104.8	8% 41.500.0 29,99	7 46.520 87.9%	75.1% 451	00 28,933		37.240.0		-								0
33 総合計画	効果的な人員配置	企画部	人事課 メンタルヘルス不	調者数	Д	- 減	少 メンタルヘルス不調による病気休暇取得者 数	出退動システム管理の病気休暇届出データ	単年⊠	成果指標 7	5	5	7 5	100.0% 100.0	0% 5.0	6 50.0%	50.0%	5 9		5.0		-								0
1 その他	こんにちは赤ちゃん事業	福祉部	児童福祉課 養育支援訪問件委	t	件	+	年度での訪問延べ件数	児童福祉課事業概況	単年図	活動指標 59	18	30	32 50	166.7% 71.4	1% 50.0 1	3 38 76.0%	54.3%	50 25		70.0		-							•	
1 その他	妊娠出産包括支援事業	健康部	保健センター 香芝市の出生数		%	+	香芝市の出生数/香芝市の全人口(10月)	市民課データ(年度)	単年	成果指標 8.4	8.2	8.2	4.0 8.6	104.9% 104.5	9% 8.2 3.	7.4 90.2%	90.2%	8 3.8		8.2		_							•	
1 その他	妊娠出産包括支援事業	健康部	保健センター 妊娠届出時のセル	フブラン作成率	%	+	セルフプランの作成数/妊娠届数	保健センターでの確認	単年	活動指標 100	100	100	100 100	100.0% 100.0	0% 100.0 10	100 100.0%	100.0% 1(100		100.0									•	
1 その他	一般不妊治療費助成事務	健康部	保健センター 助成交付申請した た人の割合	:人の内、出産まで至っ	%	+	申請した人の出生数/申請数	保健センターでの確認	単年	成果指標	- 100	100 4	47.6 41.6	41.6% 138.1	7% 50.0 26.	6 41.4 82.8%	138.0%	50 34.2		30.0		_								0
1 その他	乳幼児健診事業	健康部	保健センター 4か月児健康診査		%	+	受診者数/対象者数	母子保健実績報告	単年	成果指標 98.2	97.0	98.0	96.2 97.9	99.9% 99.9	9% 99.0 97.	7 98.3 99.3%	100.3%	99.3		98.0		0	12市 6	8					•	
1 その他	乳幼児健診事業	健康部	保健センター 1歳6か月児健康	診査の受診率	%	+	受診者数/対象者数	母子保健実績報告	単年	成果指標 99.1	98.1	98.5	96.2 98.7	100.2% 100.1	7% 99.0 97.	99.0 100.0%	101.0%	99 97.0		98.0		0	12市 2	2					•	
1 その他	乳幼児健診事業	健康部	保健センター 3歳6か月児健康	診査の受診率	%	+	受診者数/対象者数	母子保健実績報告	単年	成果指標 97.2	97.3	98 9	94.2 97.2	99.2% 99.2	2% 99.0 96.	97.7 98.7%	99.7%	99 98.4		98.0		0	12市 3	3					•	
1 その他	乳幼児相談及び教室事 業	健康部	保健センター 10か月児相談の	受診率	%	+	受診者数/対象者数	母子保健実績報告	単年	成果指標 96.9	97.9	98 9	96.3 98.0	100.0% 100.0	0% 99.0 98.	98.1 99.1%	100.1%	99 97.6		98.0		_							•	
1 その他	乳幼児相談及び教室事 業	健康部	保健センター 子育て交流会の服	引催回数	0	+	子育て交流会の年間開催回数	保健センター事業報告	単年	活動指標 11	0	12	4 9	75.0% 75.0	0% 12.0	5 11.0 91.7%	91.7%			12.0		-							•	
1 その他	乳幼児相談及び教室事 業	健康部	保健センター 3歳6か月児のう	歯(むし歯)率	%	+	3歳6か月児健診時う歯(むし歯)率	母子保健実績報告	単年	成果指標 14.4	12.8	12 1	10.6 11.8	98.3% 118.0	0% 11.0 6.	8.3 75.5%	83.0%	8 9.97		10.0		_							•	
1 その他	乳幼児相談及び教室事業	健康部	保健センター 乳幼児相談延べれ	数	件	+	乳幼児相談年間延べ件数	保健センター事業報告(育児相談)	単年	活動指標 699	283	300	257 496	165.3% 66.1	1% 400.0 18	427 106.8%	56.9% 45	50 164		750.0		-					感染予防のため定員を減少		•	
2 その他	地域子育て支援拠点事業	福祉部	児童福祉課 地域子育で支援技	N点の利用者数	Д	+	4カ所の地域子育て支援拠点の利用者数	児童福祉課事業状況	単年	成果指標 23.95	3 7,585 1	10.000 6,	,738 14.48	144.9% 50.8	3% 21.600.0 10.22	9 22.935 106.2%	80.5% 230	00 13.130		28.500.0		_					新型コロナウイルス感染拡大防止 のため、親子行事を中止としまし た。		•	
2 その他	ひとり親家庭相談・支援事業	福祉部	児童福祉課 自立支援プログラ	ムの策定値	%	+	相談者を分母にし、プログラム策定数を分子にする	プログラム策定率	単年	成果指標 100	100	100	100 0	0.0% 0.0	% 100.0	0 0.0%	0.0%	50 0		100.0		-					2名の申し込みがあったが、継続した支援に繋がらなかった。		•	
	ひとり親家庭相談・支援事業	福祉部	児童福祉課 ひとり親家庭支援 数	制度のPR及び発信回	0	+	ひとり親制度に関する広報紙掲載・出前講 座・ガイドブック・ホームページ・児童扶養手 当現況届時等に配布	児童福祉課PR等発信リスト	単年	活動指標 6	6	8	6 8	100.0% 80.0	0% 8.0	8 100.0%	80.0%	8 5		10.0		_							•	
2 その他	地域子育て支援拠点事業	福祉部	児童福祉課 サポーター登録率		%	+	当現沈願時寺に配布 サポーター会員登録数/サポーター養成講 座受講者数		単年	成果指標 87.0	44.4	70 5	56.0 85.7	122.4% 85.7	7% 85.0	65 76.5%	65.0% 8	35 -		100.0									•	
2 その他	地域子育て支援拠点事業	福祉部	児童福祉課 ブックスタート資料	以配布率	%	+	配布数/4か月児健診受診児	資料配布数	単年	活動指標 100	100	100	100 100	100.0% 100.0	0% 100.0 10	0 100 100.0%	100.0% 1(100		100.0		_							•	
2 その他	家庭児童相談・支援事業	福祉部	児童福祉課 管理児童に対する	支援計画の作成率	%	+	在宅支援アセスメントシート作成児童数/要 保護児童対策地域協議会で管理児童数(児 童T人当たり)	年度未の実対応ケース数	単年	成果指標 C	51	70	45 45	64.3% 45.0	0% 50.0	0 0.0%	0.0%	_		100.0		-							•	
		•					童1人当たり)		<u> </u>																					

指標對 311									R	R1 R2			R3		F	34		R5			R6		県内順位	立(「奈良いちへ!!」)			総合戦	路における位置づけ	
施策 No. 評価種別	評価対象名	担当部局	担当所属 指標名	単位	評価の方向 マイナ	「ス指 種別 算出方法(指標説明)	データの出典	単年・ 累計	指標の	責値 実績値 (年度末)	目標値	中間値 (9月末)		標達成度 (R6年度		責値 目標達成度	1	中間値 実績値		度 目標値	中間値 実績値 目標達成 (当該 (当時 (9月末) (年度末) (年度末)	4mater on	† R1 R	順位 12 R3 R4	4 R5 R	備考		基本目標 つなが (3)結婚・	位置付け 無し
									(48	克木)(牛皮木)		(9月末)	(年度末) (当該 年度比	E) E)	(9月末) (年	发末) (当該 年度比) (R6年E 比)		(9月末) (年度末)	年度比)	E)	(9月末) (年度末) (当該 年度比)	(397 可否 此) 可否 12市	R1 F	12 R3 R4	1 K5 H	6	(1)稼ぐ・ (2) 元 雇用 流	つなが (3)結婚・ ひとの 出産・子育 たれ て (4)魅力	
3 その他	保育所・幼稚園・認定こ ども園運営事業	教育部	教育総務課 保育所・幼稚園・認定こども園の改修工事	件	+	改修工事の件数	教育総務課	単年図	活動指標	6	10	6	6 60.09	0% 200.0%	10.0 5	7 70.0% 233.3	% 10	5		3.0		-						•	
3 その他	特別保育等補助事業	福祉部	保育課 子ども・子育て支援の実施事業数	事業	+	4月1日時点の延長保育・病児保育・一時預かり(一般型)事業の実施数	公立・私立の実施数合計	単年	成果指標 2	29 30	31	-	31 100.0	0% 96.9%	35.0 35	35 100.0% 109.4	% 35	35		32.0								•	
4 その他	小学校施設維持管理事業	教育部	教育総務課 各小学校の改修工事	件	+	改修工事の件数	教育総務課	単年	活動指標	0 43	40	7	13 32.59	5% #DIV/0!	15.0 12	16 106.7% -	- 15	10		0.0		-						•	
4 その他	小学校施設維持管理事業	教育部	教育総務課 各中学校の改修工事	件	+	改修工事の件数	教育総務課	単年	活動指標	0 13	10	3	6 60.09	9% #DIV/01	10.0 2	3 30.0% -	- 5	5		0.0		-						•	
4 その他	学力向上推進事業	教育部	学校支援室 教職員研修による資質能力の向上	%	+	教職員研修を受講した教職員にアンケート を実施し、満足度の指数を集計する	学校教育課	単年	成果指標 -		50	58.3	64.9 129.8	8% 99.8%	65.0 81.5 7	7.6 119.4% 119.4	% 80	72.9		65.0		-				令和2年度は、コロナ禍により教育部が計画する教職員研修が中止 となったためアンケート未実施	=	•	
4 その他	教育相談支援事業	教育部	学校支援室 関係機関と連携できている不登校児童 生徒の割合	%	+	年間30日以上の不登校児童生徒数のうち、関係機関と連携している子どもの割合	学校教育課	単年	成果指標 42.	.5 51.2	45.5	47.2	51.3 112.7	7% 97.7%	52.0 48.8 59	9.6 114.6% 113.5	% 60	49.7		52.5		-						•	
5 その他	学童保育所施設維持管 理事業	福祉部	保育課学童保育所施設の運営維持	%	+	施設の運営の継続(稼働率)			10	100	100	100	100 100.0	0% 100.0%	100.0 100 1	00 100.0% 100.0	% 100	100		100.0		-						•	
5 その他	学童保育運営事業	福祉部	保育課 放課後子ども教室との一体的な又は連携によるプログラム実施回数	Д	+	実施回数の合計(校)	-	単年	活動指標	0 0	8	-	0 0.09	% #DIV/0!	8.0 -	0 0.0% -	- 8	7		0.0		不可						•	
5 その他	学校・地域パートナー シップ事業	教育部	生涯学習課 地域未来塾、放課後こども教室の延べ実 施学校教	校	+	学校・地域パートナーシップ 事業地域未来 塾、放課後こども教室の延べ実施学校数	生涯学習課 ※学校・地域パートナーシップ事業補助金 実績報告書	単年	成果指標 1	12 1	14	2	2 14.39	14.3%	8.0 4	4 50.0% 28.69	% 12	10		14.0		不可						•	
5 その他	青少年体験交流推進事業	教育部	生涯学習課 体験学習の開催数		+	香芝市青少年指導員協議会による体験学習 の開催数	生涯学習課 ※社会教育委員会議事業経過報告事業集 計	単年	成果指標	3 0	3	0	0 0.09	% 0.0%	14.0 2	4 28.6% 80.09	% 4	2		5.0		不可						•	
5 その他	青少年健全育成事業	教育部	生涯学習課 青パトの巡視回数		+	青少年センターで実施する下校等巡視、夜間特別巡視、祭礼巡視、県合同立入調査の 実施回数	生涯学習課 ※青少年センター巡視日誌	単年	成果指標 5	51 53	55	27	50 90.99	9% 83.3%	60.0 16	24 40.0% 40.09	% 55	17		60.0		不可						•	
6 その他	総合福祉センター管理運営事業	福祉部	社会福祉課 どんづるぼう温泉利用者数	Д	+	年間の温泉利用者の数	社会福祉課	単年	成果指標 82.7	761 6,629	-	-	- #VALU	UEI #VALUEI	80.000.0 16,962 54.	006 67.5% 60.09	% 80.000	38.954		90,000.0						R3は、総合福祉センター中規模修 繕工事に伴う閉館につき、非設 定。		•	
6 その他	地域福祉推進事業	福祉部	社会福祉課 ボランティア等登録者数	人数	+	市ボランティアセンターへの個人及び団体 登録者数及び地域福祉推進委員、ふれあい いきいきサロン活動等の累積人数	社会福祉課 ※事業委託先(社会福祉協議会)からの報告 による。	累計	成果指標 2.69	91 2,490	2,700	2,200	2,169 80.39	76.1%	2.300.0 2154 2,2	31 97.0% 78.39	% 2,400 2	2,147		2.850.0		-				新型コロナウイルスの影響から、実 人数の把握に時間を要するため、 毎年度末にのみ把握する。		•	
6 その他	地域福祉推進事業	福祉部	社会福祉課 地域福祉推進委員会組織数	団体	+	各年度末時点の地域福祉推進委員会の数	社会福祉課 ※事業委託先(社会福祉協議会)からの報告 による。	累計	成果指標 1	15 15	19	14	14 73.79	7% 77.8%	15.0 14	14 93.3% 77.89	% 17	15		18.0		-						•	
7 その他	夜間休日応急体制充実 事業	健康部	保健センター 藁城地区病院群輪番制運営協議会	D	+	蜀城地区病院群輪番制運営協議会年間開 催回数	保健センターで確認	単年図	活動指標	2 2	2	1	2 100.0	0% 100.0%	2.0 1	2.0 100.0% 100.0	% 1	1		2.0		-						•	
7 その他	夜間休日応急体制充実 事業	健康部	保健センター 香芝市医師会連携会議開催回数	D	+	年度の連携会議開催回数	保健センターで確認	単年⊠	活動指標	3 2	3	5	13 433.3	3% 433.3%	3.0 6	7.0 233.3% 233.3	% 6	3		3.0		-						•	
7 その他	夜間休日応急体制充実 事業	健康部	保健センター 北葛城地区医師会連携会議開催回数	D	+	年度の連携会議開催回数	保健センターで確認	単年⊠	活動指標	1 5	1	5	8 800.0	0% 800.0%	1.0 0	1.0 100.0% 100.0	% 1	0		1.0		-						•	
7 その他	予防接種事業	健康部	保健センター 2か月児予防接種勧奨通知率	%	+	毎月2か月児への予防接種勧奨通知率	保健センターで確認	単年⊠	活動指標 10	100	100	100	100 100.0	0% 100.0%	100.0 100 1	00 100.0% 100.0	% 100	100		100.0								•	
7 その他	予防接種事業	健康部	保健センター MR2期接種勧奨通知率	%	+	毎年度4月時点での年長児へのMR2期案 内勧奨率	保健センターで確認	単年⊠	活動指標 10	100	100	100	100 100.0	0% 100.0%	100.0 100 1	00 100.0% 100.0	% 100	100		100.0		-						•	
7 その他	予防接種事業	健康部	保健センター 高齢者肺炎球菌予防接種案内通知率	%	+	毎年度4月時点での対象者への案内通知率	保健センターで確認	単年⊠	活動指標 10	100	100	100	100 100.0	0% 100.0%	100.0 100 1	00 100.0% 100.0	% 100	100		100.0		_						•	
8 その他	健康づくりに関する教育 事業	健康部	保健センター健康づくりに関する教室の参加人数	Д	+	香芝市健康運動普及推進員協議会やスト レッチリーダーが開催する教室の参加者数	保健センター事業報告	単年⊠	成果指標 5.66	65 1,286	1,300	168	1,608 123.7	7% 26.8%	1.900.0 481 1,9	65 103.4% 32.89	3,000	444		6.000.0		_						•	
8 その他	健康づくりに関する教育 事業	健康部	保健センター 健康かしば21講演会の参加満足度	%	+	参加者アンケートでの満足度	保健センターで集計	単年⊠	成果指標 7	78 -	80	-	100 125.0	0% 142.9%	100.0 - 79	5.0 75.0% 107.1	% 80	94.7		70.0		_						•	
8 その他	健康づくりに関する教育 事業	健康部	保健センター健康づくりボランティアの人数	Д	+	香芝市健康運動普及推進員、ストレッチリー ダー、食のサポーターかしば、がん予防推進 員の登録者数	保健センター事業報告	単年⊠	成果指標 13	98	98	84	83 84.79	7% 59.3%	93.0 95	98 105.4% 70.09	% 120	122		140.0		-						•	
8 その他	医療費適正化事業	健康部	国保医療課 特定保健指導実施率	%	+	保健指導修了者÷対象者数×100	特定健診·特定保健指導状況(速報値)	単年図	成果指標 20	0.8 22.2	42	0	10.7 13.39	9.3%	42.0 0 1	1.7 27.9% 19.59	% 120	0		60.0		〇 39市町	स 22 2	22 24				•	
8 その他	精神保健事業	健康部	保健センター 心の健康相談室の利用延べ人数	Д	+	心の健康相談室の年間利用延べ人数	保健センター事業報告	単年図	成果指標 1,25	58 1,187	1,200	566	1,146 95.59	88.2%	1.200.0 584 1,0	97 91.4% 84.49	% 1100	538		1,300.0		-						•	
8 その他	精神保健事業	健康部	保健センター 心の健康講演会参加者満足度	%	+	心の健康講演会参加者アンケート満足度	保健センター事業報告	単年⊠	成果指標 9	91 85	90	86	86 95.69	95.6%	90.0 - 84	1.2 93.6% 93.69	% 90	100		90.0		-						•	
8 その他	精神保健事業	健康部	保健センター ゲートキーパー養成講座参加者内容理 解度	%	+	ゲートキーパー養成講座参加者アンケート 内容理解度	保健センターで集計	単年図	成果指標 9	95 92	95	92	93 97.99	9% 103.3%	95.0 94.8 9	5.8 100.8% 106.4	% 96	98		90.0		-				アンケートの理解度が「ゲートキー パーの役割」「気づき方と聴き方」 の2項目に分かれたため、両方の 回答合算で数値を算出していま		•	
	精神保健事業	健康部	保健センター 心の健康相談窓口リーフレットの配布数	枚	+	心の健康相談窓口リーフレットの年間配布 数	保健センターで集計	単年⊠	活動指標 2.00	00 3,000	2,000	500	2,500 125.0	0% 113.6%	2.500.0 200 3,0	00 120.0% 136.4	% 2500 <mark>2</mark>	2.000		2.200.0		_						•	
8 その他	子ども・若者相談支援事 業	福祉部	児童福祉課 子ども・若者相談支援啓発回数	件	+	広報紙等啓発件数	児童福祉課啓発リスト	単年	活動指標	4 6	7	7	7 100.0	70.0%	7.0 5	6 85.7% 60.09	% 6	5		10.0		-						•	
8 その他	食育推進事業	健康部	保健センター 離乳食教室参加者満足度	%	+	年間の離乳食教室参加者アンケート満足度	保健センターで集計	単年図	成果指標 9	92	90	_	88 97.89	97.8%	90.0 92 93	2.6 102.9% 102.9	% 93	97.2		90.0						70+12/09/201= 511++++		•	_
8 その他	食育推進事業	健康部	保健センター 料理講習会参加率	%	+	参加者数/教室の定員数	保健センターで集計		成果指標 9	95 -	-	-	- #VALU	UEI #VALUEI	90.0 47 66	5.7 74.1% 74.19	% 70	40		90.0		-				コロナ禍の影響により未実施		•	
9 その他	介護予防·日常生活支援 総合事業	健康部	介護福祉課 いきいき百歳体操体験説明会の実施回 数	0	+	個人・団体へいきいき百歳体操について説 明した回数	介護福祉課 ※香芝市地域包括支援センター運営協議会 報告	単年⊠	活動指標	5 7	10	2	3 30.09	30.0%	7.0 2	4 57.1% 40.09	% 7	4		10.0								•	
9 その他	介護予防·日常生活支援 総合事業	健康部	介護福祉課 介護予防リーダーの活動回数	D	+		介護福祉課 ※各年度末時点のKEEP香芝協議会の報告		活動指標 6	50 24	68	15	63 92.69	87.5%	70.0 32	76 108.6% 105.6	% 72	35		72.0		-						•	
9 その他	介護予防·日常生活支援 総合事業	健康部	介護福祉課 通所サービスC利用者の自立度	%	+	V-9 G0707E1G	介護福祉課 ※香芝市地域包括支援センター運営協議会 報告		成果指標 3	37 33	37	70	56 151.4	4% 133.3%	50.0 16	37 74.0% 88.19	% 42	66		42.0								•	
9 その他	高齢者のための支援体 制整備事業	健康部	介護福祉課 認知症サポーター養成講座の開催数	D	+	認知症サポーター養成講座の開催数	介護福祉課 ※香芝市地域包括支援センター運営協議会 報告		活動指標 1							13 118.2% 130.0		11		10.0		-						•	
9 その他	高齢者のための支援体 制整備事業	健康部	介護福祉課総合相談件数	件	+	地域包括支援センターの総合相談数の数	介護福祉課 ※香芝市地域包括支援センター運営協議会 報告		成果指標 1.44	44 2,484	2,500	1,457	2,983 119.3	3% 248.6%	3.300.0 1,429 3,0	91 93.7% 257.6	% 2,976 1	1,347		1,200.0								•	
9 その他	高齢者のための支援体 制整備事業	健康部	介護福祉課 第2層協議体(気になる会議)開催	地域数	+	第2層協議体(気になる会議)の地区の数	報告	単年	活動指標	5 6	7	4	4 57.19	66.7%	7.0 4	4 57.1% 66.79	% 6	7		6.0		-						•	
9 その他	高齢者のための支援体 制整備事業	健康部	介護福祉課 認知症サポーターフォロー講座開催数	D	+	認知症サポーターフォロー講座の開催数	介護福祉課 ※香芝市地域包括支援センター運営協議会 報告	単年	活動指標	1 1	3	0	3 100.0	0% 300.0%	3.0 1	3 100.0% 300.0	% 1	1		1.0		_						•	

6標對 311									R1	1 R2			R3			R4		R5			R6		県内順	位(「奈良いちへ!!」))				総合	戦略における位置づけ	
施策 No. 評価種別	評価対象名	担当部局	担当所属 指標名	単位	評価の方向 マイ 標の	ナス指 類出方法(指標説明)	データの出典	単年・ 累計	指標の	地 実績値	目標値	中間値		標達成度		接值 目標達成度		中間値 実績値			間値 実績値 目標達成 (当時 (R	4mateuro		順位	04 05	D/	備考		(1)稼ぐ・(2	基本目標	位置付無し
									(丰度:	末) (年度末)		(9月末) ((年度末) (当該 年度比	t (R6年度 比) 比)	(9月末) (3	F度末) (当族 年度比) (R62 比)	3~	(9月末) (年度末)	年度比)	E)	(年度末) (年度末) (当該 年度比) (R	が達め 可否 (39市 町村・ 12市)) RI	R2 R3 I	R4 R5	R6			(1)稼ぐ・ (2)	(3)結婚・ ・ひとの 流れ て (4)	7)魅刀
9 その他	介護保険給付適正化事業	健康部	介護福祉課 実地指導数	件	+	実地指導を行った介護サービス事業所の数	実績値は介護福祉課 事業実績 目標値は第8期介護保険計画	単年	活動指標 24	4 25	20	14	21 105.0	0% 72.4%	26.0 13	31 119.2% 106.	9% 29	13		29.0		-									0
9 その他	介護保険給付適正化事業	健康部	介護福祉課 ケアブランチェック数	件	+	例外給付や実地指導等によるケアブランの 点検数	実績値は介護福祉課 事業実績 目標値は第8期介護保険計画	単年	活動指標 672	2 615	600	373	802 133.7	7% 114.6%	280.0 208	734 262.1% 104.	9% 600	359		700.0		-									0
9 その他	介護保険給付適正化事業	健康部	介護福祉課 給付費通知送付数	件	+	年2回送付する給付費通知の件数	実績値は介護福祉課 事業実績 目標値は第8期介護保険計画	単年	活動指標 4,61	16 4,612	4,800	2,402 4	4,879 101.6	5% 91.2%	5.000.0 2537 5	075 101.5% 94.8	5,000	2,616		5.351.0		-									0
10 その他	地域生活支援事業	福祉部	社会福祉課 更生訓練等受給者数	٨	+	市が更生訓練費の支給決定を行った人数	社会福祉課	単年	活動指標	5 8	10	11	14 140.0	0% 107.7%	15.0 13	15 100.0% 115.	4% 15	11		13.0		_								•	•
11 その他	自立支援促進事業	福祉部	生活支援課 一般就労を目標とした支援ブラン策定 件数のうち、就労を開始した件数の割合	%	+	就労開始件数÷プラン策定件数	生活支援課	単年	成果指標 60	0 69	77	41	49 63.6	% 61.3%	78.0 45	54 69.2% 67.5	5% 79	70		80.0		-								•	•
12 その他	人権啓発事業	市民環境部	市民協働課 くらしを考える講座参加人数	٨	+	くらしを考える講座(「人権を考える香芝市 民集会」を除く)の参加人数	香芝市	単年⊠	成果指標 255	5 453	600	229	685 114.2	2% 228.3%	250.0 92	214 85.6% 71.3	3% 250	100		300.0		-									0
12 その他	人権啓発事業	市民環境部	市民協働課 PR及び発信回数	件	+	人権啓発のための市ホームページや Facebook投稿の件数	香芝市	単年⊠	活動指標	3 6	6	5	6 100.0	0% 100.0%	6.0 3	6 100.0% 100.	0% 6	6		6.0		-									0
12 その他	男女共同参画推進事業	市民環境部	市民協働課 男女共同参画セミナー開催回数	0	+	男女共同参画に関するセミナーの年間開催 回数	香芝市	単年図	活動指標 4	4 3	4	1	3 75.0	% 60.0%	4.0 3	4 100.0% 80.0	0% 4	2		5.0		-							•	• •	•
13 その他	自治会活動支援事業	市民環境部	市民協働課 PR及び発信回数	D	+	自治会加入に関する市ホームページ周知、 入会案内パンフレット作成などの活動回数	香芝市	単年	活動指標	2 3	3	2	3 100.0	75.0%	3.0	3 100.0% 75.0	0% 3	0		4.0		-									•
13 その他	自治会活動支援事業	市民環境部	市民協働課 自治連合会加入自治会数	自治会	+	香芝市自治連合会に加入している自治会の 数	香芝市	単年	成果指標 39	9 42	42	42	42 100.0	0% 89.4%	42.0 42	42 100.0% 89.4	4% 43	43		47.0		-									•
13 その他	市民公益活動団体支援事業	市民環境部	市民協働課 説明会開催回数	D	+	まちづくり提案活動支援事業補助金に関す る説明会開催回数	香芝市	単年	活動指標(0 1	2	2	2 100.0	0% 100.0%	2.0 1	2 100.0% 100.	0% 2	1		2.0		-									•
13 その他	市民公益活動団体支援事業	市民環境部	市民協働課 広報・周知回数	D	+	まちづくり提案活動支援事業補助金に採択 された団体の活動について、広報・周知する 回数	香芝市	単年	活動指標	1 2	2	2	2 100.0	0% 100.0%	2.0 2	2 100.0% 100.	0% 2	1		2.0		-									•
14 その他	地域交流センター管理・ 運営事業	市民環境部	市民協働課 地域交流センター利用者数	٨	+	地域交流センターの年間利用者数	香芝市	単年	成果指標 48.62	20 22.657	23.000	15.938	38.845 168.9	9% 77.7%	39.000.0 25450 4	3,451 124.2% 96.9	9% 49000	25610		50.000.0		-								•	•
14 その他	地域交流センター管理・ 運営事業	市民環境部	市民協働課 自主事果実施回数	D	+	地域交流センターでの自主事業の年間実施回数	香芝市	単年	活動指標	9 19	15	0	54 360.0	0% 360.0%	54.0 0	52 96.3% 346.	7% 54	26		15.0		-								•	•
14 その他	文化・国際交流活動事業	市民環境部	市民協働課PR及び発信回数	件	+	国際交流・多文化共生に関する市ホーム ページやFacebook投稿の件数	香芝市	単年	活動指標	2 1	3	3	6 200.0	0% 150.0%	10.0 26	51 510.0% 1275	.0% 20	21		4.0		-								•	•
14 その他	文化施設管理·運営事業	市民環境部	生涯学習課 自主事業実施回数	D	+	ふたかみ文化センターでの自主事業の年間 実施回数	香芝市	単年	活動指標 73	3 50	70	38	59 84.3	% 65.6%	60.0 51	74 123.3% 82.2	2% 75	44		90.0		-								•	•
15 その他	生涯学習機会提供事業	教育部	生涯学習課 家庭教育学級人数	٨	+	活動補助金申請書類	家庭教育学級別人数一覧(エクセル)	単年	成果指標 208	8 40	100	49	49 49.0	24.5%	3.0 60	4 133.3% 2.0	1% 4	67		200.0		不可									•
15 その他	生涯学習機会提供事業	教育部	生涯学習課 各種講座参加者数	٨	+	かしばアカデミー、生涯学習講座参加者数	各申込受付簿(エクセル)	単年	成果指標 201	7 124	300	123	331 110.3	3% #DIV/0!	55.0 230	406 738.2%	- 550	360				不可									•
15 その他	生涯学習機会提供事業	教育部	生涯学習課 美術展覧会作品出品数	点	+	美術展覧会目録	目録用(エクセル)	単年	成果指標 13	1 137	140	0	135 96.4	% 96.4%	350.0 -	141 40.3% 100.	7% 140	-		140.0		不可									•
15 その他	スポーツ活動支援事業	教育部	生涯学習課 スポーツ・レクリエーションイベント参加 者数	٨	+	スポーツイベント参加者数	ニュースポーツデー参加者数(メモ)、スポーツフェスティバル参加人数(メモ)、スポーツ 教室参加者数(メモ)	単年	成果指標 81'	7 0	400	0	0 0.09	% 0.0%	140.0 62	143 102.1% 13.0	900	293		1,100.0		不可									•
15 その他	資料情報提供事業	教育部	市民図書館 蔵書新鮮度(図書)	%	+	受入冊数÷蔵書冊数×100	奈良県の公共図書館	単年	活動指標 2.	.1 2	2.2	1.3	2.1 95.5	84.0%	2.2 1.1	2.1 95.5% 84.0	0% 3	1.4		2.5		O 127	fi 10	10							•
15 その他	資料情報提供事業	教育部	市民図書館 市民1人当たりの貸出冊数	m	+	貸出冊数÷人口	奈良県の公共図書館	単年	成果指標 5.	.1 3.8	4	2.5	4.9 122.5	92.5%	5.0 2.5	4.5 90.0% 84.9	9% 4.8	2.4		5.3		O 127	₱ 2	3							•
15 その他	資料情報提供事業	教育部	市民図書館 レファレンス件数	件	+	年間のレファレンス(調査相談)の受付件数	奈良県の公共図書館	単年	活動指標 2.20	1,444	1,600	1,166	1,844 115.3	76.8%	1.900.0 887 1,	596 84.0% 66.5	1600	908		2,400.0		O 127	ħ 4	4							•
15 その他	資料情報提供事業	教育部	市民図書館 団体貸出冊数	m	+	年間の団体利用者に対する貸出冊数	奈良県の公共図書館	単年	成果指標 18.53	36 14,719	15,000	6,346	14.745 98.3	75.6%	16.000.0 6,062 14	.425 90.2% 74.0	11000	6,578		19,500.0		O 127	₹ 3	3							•
15 その他	資料情報提供事業	教育部	市民図書館 電子書籍の貸出冊数	m	+	「かしば電子図書館」における電子書籍の貸 出冊数	図書館要覧	単年	成果指標	- 2.180	20.000	17.934	31.089 155.4	4% 88.8%	32.000.0 8,643 18	1.899 59.1% 54.0	20000	8,946		35,000.0		-									•
15 その他	資料情報提供事業	教育部	市民図書館 図書館ホームページの蔵書検索ページ へのアクセス件数	件	+	図書館ホームページの「簡単検索」・「詳細検索」のページへのアクセス数の合計	図書館要覧	単年	活動指標		-	-					— 868000	448.099		870,000.0		_				R53 ブペ 可能	年度に図書館ホーム^ ページへのアクセス件奏 ととなることの代替指	ベージのトッ 数の計測が不 線標			•
15 その他	読書普及活動事業	教育部	市民図書館 児童向け定例行事の平均参加者数	٨	+	児童向け定例行事総参加者数÷児童向け定例行事総開催回数	図書館委覧	単年	成果指標 17.8	8 10.7	10	8.3	8.3 83.0	46.1%	8.5 8.1	7.9 92.9% 43.9	8 8	9.07		18.0		-									•
15 その他	読書普及活動事業	教育部	市民図書館 一般向け講座等の参加者数	٨	+	一般向け講座等の参加延べ人数の合計	図書館要覧	単年	成果指標 143	3 87	100	56	158 158.0	92.9%	165.0 145	509 308.5% 299.	4% 120	77		170.0		_									•
15 その他	読書普及活動事業	教育部	市民図書館 図書館ホームページへのアクセス件数	件	+	図書館ホームページのトップページへのアクセス件数	図書館委覧	単年	成果指標 51.11	19 94,406	52.000	42.838	79.728 153.3	3% 147.6%	80.000.0 35,079 6	7.299 84.1% 124.	6% -	-		54,000.0		-				※R2 限の意 ※FG 計測な	年度は、新型コロナに伴う体 影響で例外的にアクセスが増え oogle Analytics4」への移 が不可能となるため、R5年度	N館や一部利用制 込た。 多行に伴い、件数の 夏以降は、中止。			•
16 その他	博物館活性化事業	教育部	文化財課博物館入館者数	٨	+	博物館に入館した人数	香芝市二上山博物館入館者数(香芝市二上 山博物館)	単年⊠	成果指標 7.75	4,196	5,500	2,950	5,400 116.4	1% 80.0%	7.000.0 4128 7	905 112.9% 98.8	8000	4857		8.000.0		-								•	•
16 その他	博物館活性化事業	教育部	文化财課事業参加者数	٨	+	博物館事業に参加した人数	香芝市二上山博物館イベント参加者数(香芝市二上山博物館)	単年図	活動指標 7.75	4,471	6,000	838	7,125 118.8	89.1%	7.500.0 7127 9	953 132.7% 124.	4% 10000	1409		8.000.0		-								•	•
16 その他	博物館活性化事業	教育部	文化財課 博学連携参加者数	٨	+	学校から博物館に入館した人数、博物館から学校へと学芸員を派遣した際の講座受講 人数	博学連携参加者数管理シート(エクセル)	単年⊠	成果指標 758	8 21	50	214	636 1272.0	0% 79.5%	700.0 675 1,	070 152.9% 133.	8% 1100	1042		800.0		_								•	•
16 その他	文化財の保護啓発事業	教育部	文化財課 指定文化財の件数	件	+	国・県・市指定文化財の件数	香芝市内所在指定文化財シート(エクセル)	累計	成果指標 42	2 44	44	44	44 100.0	0% 104.8%	45.0 43	43 95.6% 102.	4% 44	44		42.0		〇 39市町	村 9	8						•	•
17 その他	企業支援事業	地域振興局	商工観光課 企業訪問件数	件	+	新規相談件数	商工振興課算出	累計	活動指標 4	4 6	9	7	11 122.2	2% 55.0%	14.0 12	12 85.7% 60.0	0% 14	14		20.0		否							•	•	
17 その他	企業支援事業	地域振興局	商工観光課	٨	+	産業展来場者数	商工振興課算出	単年図	成果指標	- 684	240	_	- #VALU	UEI #VALUEI	570.0 -	407 71.4% 33.9	500	_		1.200.0		否				20]ナ禍の影響によりラ	未実施	•	•	
17 その他	企業支援事業	地域振興局	商工観光課制度融資の利用件数	件	+	制度融資の利用件数	商工振興課算出ファイル名「★H22~融資申請一覧マスター、xlsx」にて管理	累計	成果指標 79	9 88	118	102	124 105.1	1% 49.6%	164.0 146	182 111.0% 72.8	3% 230	205		250.0		否							•	•	
17 その他	創業促進事業	地域振興局	商工観光課 創業支援アドバイザー利用者数	٨	+	創業支援アドバイザー利用者数	商工振興課算出	累計	成果指標 4	4 7	10	10	11 110.0	0% 47.8%	15.0 15	15 100.0% 65.2	2% 19	19		23.0		否							•	•	
17 その他	創業促進事業	地域振興局	商工親光課 創業促進補助金交付件数	件	+	創業促進補助金交付件数	商工振興課算出	累計	成果指標	1 3	6	4	4 66.7	% 30.8%	7.0 6	6 85.7% 46.	2% 9	_		13.0		否							•	•	

指標劉 31										F	R1 R2			R3		ı	R4		R5				R6		県内順	位(「奈良いちへ!!」	1)			総	合戦略における位置で	ilt
施策 No 評価	別 評価対象名	担当部局	担当所属	指標名	単位	評価の方向 マイナ	ス指 動! 算出方法(指標説明)	データの出典	単年・ 累計	指標の	責値 実績値	目標値	中間値				積值 目標達成度		中間値実績値				実績値 目標達成度	範囲 把握の 可否 (39) 町村		順位			備考	(1) Phr.	基本目標 (2)つなが (3)結婚	位置付無し
NC.						100			Mel	在 (年	度末) (年度末)		(9月末)	(年度末) (当該 年度比) (R	16年度 比)	(9月末) (年	度末) (当該 年度比) (R6年 比)	夜	(9月末) (年度末)	年度比)	(R6年度 比)	(9月末)	(年度末) (当該 年度比) (R6年 比)	12市 12市	R1	R2 R3	R4 R5	R6		(1)稼ぐ・ 雇用	(2)つなが り・ひとの 流れ (3)結婚 出産・子輩 て	(4)魅力
17 2.4	也 創業促進事業	地域振興局	立て紹 业部	語 一		+	香芝みらい塾受講者数	商工振興課算出	mer.	活動指標	10 16	22		31 140.9% 44	4.20/ 4.2		46 107.0% 65.7	7% 58			70.0			否							•	
17 20.	5 柳来此连手来	ACIANTINOP(NE)	MI II WO LEK	阿上立との定形による創来を文評自外	^	T			mai	/公第07日1宗	10 10	22		31 140.2% 44	+.3% 43.1		46 107.0% 03.7	70 30			70.0			п								
17 ₹σ.	也 創業促進事業	地域振興局	商工観光課	認定連携創業支援等証明書発行件数		+	市・よろず支援拠点・中小企業診断士会発行件数	商工振興課算出	累計	成果指標	1 3	6	-	6 100.0% 40	0.0% 9.0	0 9	14 155.6% 93.3	3% 20	7		15.0			否						•	•	
18 ₹0	也 農産物鳥獣被害防山 業	上事 産業振興局	農林課	有害鳥獸捕獲	頭	一 増加	印制 有害鳥獣の捕獲数(イノシシ・アライグマ)	有害鳥獣の捕獲報告書類	単年	成果指標	72 131	120	51	80 133.3% 10	00.0% 120.	0 43	98 118.3% 77.5	% 120	76		80.0			-						•	•	•
18 ₹σ	地産地消推進事業	産業振興局	農林課	米粉用米生産面積	a	+	米粉用米の作付け面積	営農計画書(一体化用紙)	単年	成果指標 13	39 160	160	138	138 86.3% 10	135.	0 101 1	101 74.8% 74.8	135	101		135.0	0		-						•	•	•
18 ₹σ	也産地消推進事業	産業振興局	農林課	みそ用大豆生産面積	a	+	みそ用大豆の作付け面積	営農計画書(一体化用紙)	単年	成果指標	7 11	20	10	10 50.0% 10	00.0% 10.0	0 8	0 0.0% 0.09	% 10	14		10.0			-						•	•	•
18 ₹0	也 地産地消推進事業	産業振興局	農林課	酒米の生産面積	a	+	酒米の作付け面積	営農計画書(一体化用紙)	単年	成果指標	56 79	135	122	122 90.4% 15	52.5% 150.	0 137 1	37 91.3% 171.3	3% 150	158		80.0			-						•	•	•
19 ₹σ	観光イベント実施事	業地域振興局	商工観光課	! 香芝ウォーク参加者数	٨	+	香芝ウォーク受付者数	商工振興課算出	単年⊠	成果指標 29	91 679	300	-	444 148.0% 88	8.8% 500.	0 - 2	206 41.2% 41.2	400	_		500.0	0		否						•	•	
19 ₹σ.	也 観光イベント実施事	業地域振興局	商工観光課	! 岳のぼり参加者数	Д	+	岳のぼり参加者数	商工振興課算出	単年	成果指標 25	52 -	-	-	- #VALUEI #V	VALUEI 200.	0 206 2	206 103.0% 82.4	1% 250	362		250.0	0		否					コロナ禍の影響により未実施	•	•	
19 ₹ <i>0</i> .	也 観光資源魅力向上導	事業 地域振興局	商工観光課	観光案内看板設置数	基	+	観光案内看板設置数	商工振興課算出	単年	成果指標	2 2	2	-	2 100.0% 10	00.0% 2.0	0 -	3 150.0% 150.0	0% 2	2 -		2.0			否						•	•	
19 ₹ σ.	也 観光資源魅力向上事	事業 地域振興局	商工観光課	想光地整備事業数	回数	+	どんづる峯の周回遊歩道の整備、清掃及び 植物の定点観察に係る調査回数	どんずる峰調査委託数	単年	成果指標	1 1	1	1	1 100.0% 10	00.0% 1.0	0 1	1 100.0% 100.0	0% 1	1		1.0			否						•	•	
20 ₹0	地域防災対策計画限事業	関連 生活安全部	危機管理課	国等の主催する災害対策専門研修への 延べ人数	Д	+	内閣府や研究機関が主催する研修へ参加した延べ人数	7 課内資料	単年⊠	活動指標	3 1	3	0	1 33.3% 33	3.3% 3.0	0 2	5 166.7% 166.7	7% 3	2		3.0			-								•
20 ₹0	地域防災対策計画限 事業	野連 生活安全部	危機管理課	第三級陸上特殊無線技士免許保有率	%	+	免許を保有している危機管理課職員数/ 機管理課職員数	環内資料	単年図	活動指標(56 83	66	60	50 75.8% 62	2.5% 50.0	0 33	50 100.0% 62.5	% 66	50		80.0											•
20 ₹0	也 防災用品等備蓄事業	業 生活 安全 部	危機管理課	! 食料備蓄の更新	%	+	賞味期限をむかえる食糧の更新率	課内資料	単年⊠	成果指標 10	00 100	100	18	100 100.0% 10	00.0% 100.	0 100 1	100.0% 100.0	0% 100	100		100.0	0		_								•
20 ₹0	地 消防団活性化事業	生活安全部	危機管理課	火災発生時の消防団員の参集率	%	+	参集団員数/招集された団員数	課内資料	単年区	活動指標 4	40 47	40	39	41 102.5% 10	02.5% 50.0	0 45	44 88.0% 110.0	0% 50	43		40.0											•
20 ₹0	也 防災意識啓発事業	生活安全部	危機管理課	! 自主防災組織活動事業費補助件数	件	+	自主防災組織活動費事業費補助金の補助 作数	課内資料	単年⊠	成果指標	19 20	23	1	16 69.6% 53	3.3% 23.0	0 2	15 65.2% 50.0	0% 23	3 3		30.0	0		_								•
20 ₹ σ	也 防災意識啓発事業	生活安全部	危機管理課	・ 市民等への防災意識啓発回数	0	+	啓発活動(出前講座の実施回数+広報等の 回数等)の回数	课内資料·広報紙	単年図	成果指標	12 4	4	2	6 150.0% 40	0.0% 6.0	0 2	6 100.0% 40.0	12	7		15.0			_								
20 2 0	· 住宅耐震化啓発支援	爰事 都市創造部	都市計画課	! 住宅耐震化	件	+	耐震改修工事補助事業の実施件数	都市計画課集計	単年	成果指標	0 0	2	0	0 0.0% 0	.0% 2.0	0 1	1 50.0% 50.0	1% 2	3		2.0)		_								•
20 ₹σ	*	都市創造部		浸水対策箇所における対策数		+	対策数の累計(調査・工事・浚渫等)	土木源で算定		成果指標	2 1	1	0	0 0.0% 0			1 100.0% 100.0		3		1.0			-								
20 2 0				関係機関協議回数		+	奈良県および関連市町村との協議回数	土木課で算定		活動指標	_ 1	2	1	2 100.0% 20			5 250.0% 500.0	nec 2	1		1.0											
						+		商工振興課算出		活動指標	3 0	2	0	0 0.0% 0			3 23.00	1			1.0			否 39市								•
21 2 0					件		市内施設にて啓発を行った年間回数			活動指標	3 0	2	0		.0% 1.0	0		'	0		1.0	,							コロナ禍の影響により未実施			
21 ₹σ.						+	市主催で出前講座を行った回数	商工振興課算出				_	_	- #VALUEI #V	VALUEI									否 39市	es .							
	b 防犯意識啓発事業			! 啓発活動実施回数	0		啓発活動を実施した回数(単年度末時点) 味和政務に関する特部の発信回数(単年度			活動指標							11 183.3% 183.3				6.0			— 39ms	fi .							•
	b 防犯意識啓発事業			防犯啓発の情報発信回数		+	防犯啓発に関する情報の発信回数(単年度 末時点)										37 246.7% 148.0				25.0			— 39市第	村							•
22 ₹0	也 交通安全対策啓発事	事業 生活安全部	生活安全課	啓発及び街頭立哨実施回数	D	+	啓発活動と街頭立哨実施回数(単年度末時点)	生活安全課で算出									33 143.5% 143.5				23.0			-								•
	· 交通安全対策啓発		生活安全課	! 広報発信回数		+	広報発信回数(単年度集計)	生活安全課で算出	単年	活動指標	7 7	12	7	12 100.0% 50	0.0% 16.0	0 9	23 143.8% 95.8	3% 24	12		24.0			-								•
	自転車等駐車場管理業		生活安全課	自転車等駐車場年間のベ利用台数	万台	+	自転車等駐車場の年間のベ利用台数(単年 度集計)		単年	成果指標 10	07 86.4	100	40.8	88.0 88.0% 88	8.0% 100.	0 44	88 88.0% 88.0	100	46		100.0	0		-								•
	也 自転車等駐車場管理 業		生活安全課	自動車駐車場年間のベ利用台数	台	+	自動車駐車場の年間のベ利用台数(単年度集計)		単年	成果指標 41.0	694 23.433	40.000	10.625	23.632 59.1% 59	9.1% 40.000	13715 30.	.400 76.0% 76.0	40.000	19,113		40.000.8	1.0		-								•
22 ₹0.	放置自転車対策推進 業	生活安全部	生活安全課	年間指導日数	0	+	駅周辺の放置自転車等の指導日数(年度末集計)	生活安全課で算出	単年	活動指標 12	20 120	120	60	120 100.0% 10	00.0% 120.	0 60 1	20 100.0% 100.0	120	59		120.0	0		-								•
	也 ごみ減量及び資源化 進事業		廃棄物対策認	果 リユースイベント等の実施回数	0	+	実施回数	香芝市	単年⊠	活動指標	1 4	12	6	12 100.0% 60	00.0% 12.0	0 6	13 108.3% 650.0	0% 12	0		2.0			-								0
23 ₹0	ごみ減量及び資源化 進事業	比推 市民環境部	廃棄物対策調	果 3Rに関する啓発回数	D	+	実施回数	香芝市	単年⊠	活動指標	1 2	2	1	2 100.0% 20	00.0% 2.0	0 2	2 100.0% 200.0	0% 2	1		1.0)		-								0
23 ₹0	生活環境保全事業	市民環境部	環境対策課	環境調査の実施回数	D	+	実施回数	香芝市	単年⊠	活動指標	4 4	4	0	4 100.0% 10	00.0% 4.0	0 0	4 100.0% 100.0	0% 2	0		4.0			-								•
23 ₹0	生活環境保全事業	市民環境部	環境対策課	! 環境に関する広報の実施	0	+	広報誌、お知らせ版への掲載回数	香芝市	単年⊠	活動指標	12 12	12	6	12 100.0% 10	00.0% 12.0	0 6	12 100.0% 100.0	0% 24	5		12.0											•
23 ₹0.	也 不法投棄防止啓発事	事業 市民環境部	廃棄物対策調	果 不法投棄防止啓発広報数		+	広報誌、お知らせ版への掲載回数	香芝市	単年⊠	活動指標	1 2	2	0	2 100.0% 10	00.0% 2.0	0 1	2 100.0% 100.0	0% 2	1		2.0			-								•
23 ₹0	也 不法投棄防止啓発導	事業 市民環境部	廃棄物対策認	果 不法投棄監視パトロール	D	+	パトロールを実施した回数	香芝市	単年⊠	活動指標 2	24 24	24	12	24 100.0% 10	00.0% 24.0	0 12	24 100.0% 100.0	0% 24	14		24.0											•
24 ₹σ.	也 屋外広告物規制事業	都市創造部	都市計画課	景観の適正化		+	違反広告物簡易除去の活動回数	都市計画課集計	単年⊠	活動指標	3 3	3	1	2 66.7% 66	5.7% 3.0	0 1	2 66.7% 66.7	7% 3	1		3.0			-								0
24 ₹0	也 街路美化推進事業	都市創造部	公園道路管理	課 維持管理面積	ha	+	維持管理面積の合計	農政土木管理課で算定	累計	活動指標	4 4	4	4	4 100.0% 10	00.0% 4.0	0 4	4 100.0% 100.0	0% 4	4		4.0											•
24 ₹0.	都市公園維持管理報事業	補修 都市創造部	公園道路管理	課 維持管理面積	ha	+	維持管理面積の合計	農政土木管理課で算定	累計	活動指標 4	40 40	40	40	40 100.0% 10	00.0% 41.0	0 41	41 100.0% 102.5	5% 41	41		40.0											•
	ਰਾਕ																															

指標数 311									R1	R2		F	13		R4		F	₹5		R6		県内	n順位(「奈良いち^	/!!J)			総	合戦略における位置づけ	
施策 No. 評価種別	評価対象名	担当部局	担当所属 指標名	単位	評価の方向	マイナス指標の種別 算出方法(指標説明)	データの出典	単年・ 累計	指標の	値 実績値 末) (年度末)	目標値	中間値 実(9月末) (年		年度 目標値	中間値 実績値 (9月末) (年度末)		目標値 中間値 実施	養値 目標 (当該 年度比)	主成度 目相 (R6年度 比)	(9月末) (年度末) (当該 (9月末) (年度末)	ATTACK OF	範囲 (39市 町村・ 12市)	R2 R3	松 R4 R5	R6	備考	(1)稼ぐ・	基本目標 (2)つなが り・ひとの 流れ (3)結婚・ 出産・子育 て	位置付け無し
									(48)	A) (+&A)		(7/3/4)	・ 学表比) 比	2)	(9/3/4) (4/8/4)	年度比) 比)	(9/34) (44)	学度比)	H)	(フパネ) (十段本) 年度比)	比)	12市)	NZ NS	K4 K5	NO .		(1)稼ぐ・ 雇用	流れて	(4/18/)
24 その他	河川維持管理事業	都市創造部	公園道路管理課維持管理面積	ha	+	維持管理面積の合計	農政土木管理課で算定	累計	活動指標 0.5	5 0.5	0.5	0.5).5 100.0% 100	0.5	0.5 0.5	100.0% 100.0%	0.5		0	5	-								•
25 その他	地域公共交通事業	生活安全部	生活安全課 利用促進発信回数	D	+	利用促進発信回数	生活安全課で算出	単年⊠	活動指標 (0 1	1	0	1 100.0% 100	0.0% 1.0	0 1	100.0% 100.0%	1 0		1.	0	-								•
25 その他	空家等対策関係事業	都市創造部	都市計画課 空き家に関する補助の活用件数	件	+	空き家の除却及び利活用に係る経費の補 件数	助 都市計画課集計	単年⊠	成果指標 (0 0	3	0	1 33.3% 33.	3% 3.0	2 2	66.7% 66.7%	3 0		3	0	-							•	•
26 その他	香芝総合公園整備事業	都市創造部	都市計画課総合公園事業用地の取得率	%	+	総合公園事業用地の取得率(累積値)	都市計画課集計	累計	成果指標 93.3	3 93.3	100	93.3 9	3.3 93.3% 93.	3% 93.3	93 93.3	100.0% 93.3%	100 93.3		100	0	-							•	•
26 その他	パリアフリー推進事業	都市創造部	都市計画課 パリアフリーの推進・啓発	0	+	バリアフリー教室の実施回数	都市計画課集計	単年	活動指標	1 1	1	0	0 0.0% 0.0	0% 1.0	1 1	100.0% 50.0%	1 0		2	0	-								•
26 その他	香芝市スポーツ公園整備 事業	葡 都市創造部	土木課 香芝市スポーツ公園(ブール)事業用地 の取得率	%	+	香芝市スポーツ公園(ブール)事業用地の 得率	取 測量成果を基に、用地取得を完了した面積 の割合を算出	累計	成果指標 8	1 81	100	81	81 81.0% 81.	0% 81.0	81 81	100.0% 81.0%	81 81		100	0	-							•	•
26 その他	街区公園·親水緑地整備事業	都市創造部	土木課 関係機関協議回数	0	+	自治会等との協議回数	土木課で算定	単年	活動指標 2	2 1	1	1	1 100.0% 100	0.0% 1.0	1 1	100.0% 100.0%	1 0		1.	0	-								•
26 その他	既存道路パリアフリー化事業	都市創造部	土木課 整備延長	m	+	香芝市バリアフリー基本構想における重 整備地区内の整備延長累計	** 香芝市バリアフリー基本構想	累計	成果指標 230	0 230	230	230 2	30 100.0% 60.	.5% 230.0	230 230	100.0% 60.5%	230 230		380	.0	-								•
26 その他	駅周辺整備事業	都市創造部	土木課 関係機関協議回数	0	+	鉄道事業者等との協議回数	土木課で算定	単年	活動指標	3 8	5	5	5 100.0% 500	3.0	3 3	100.0% 300.0%	3 1		1	0	-							•	•
26 その他	歩道等パリアフリー事業	都市創造部	公園道路管理課 パリアフリー化延長	m	+	パリアフリー化済みの路線延長	農政土木管理課で算定	累計	活動指標 700	850	1,500	850 1,	440 96.0% 72.	.0% 1,970.0	1,440 1,970	100.0% 98.5% 2	2370 1970		2.00	2.0	-								•
27 その他	主要幹線道路整備事業	都市創造部	土木課都市計画道路整備延長	m	+	都市計画道路の整備(工事)着手延長	尼寺関屋線・畑分川線および畑分川線(I 工区)の着手延長を掲載	累計	成果指標 280	0 490	490	490 4	90 100.0% 74.	2% 590.0	590 620	105.1% 93.9%	660 660		660	.0	-								•
27 その他	道路新設改良事業	都市創造部	土木課 狭隘な道路の整備延長	m	+	幅員4m未満道路の整備済総延長	土木課で算定	累計	成果指標 640	0 660	660	660 6	60 100.0% 59.	.5% 770.0	660 820	106.5% 73.9%	975 850		1.11	1.0	-								•
27 その他	道路維持管理補修事業	都市創造部	公園道路管理課 地元要望達成率	%	+	対処済み件数 / 要望件数	農政土木管理課で算定	単年	活動指標 70	0 60	70	40	62 88.6% 77.	5% 70.0	64 74	105.7% 92.5%	70 82		80	0									•
27 その他	橋梁点検及び長寿命化 修繕事業	都市創造部	公園道路管理課要修繕橋梁の改善率	%	+	修繕済み橋梁数 / 要修繕橋梁数	農政土木管理課で算定	累計	活動指標 20	0 20	87	20	53 60.9% 53.	.0% 80.0	53 80	100.0% 80.0%	80 87		100	.0	-								•
28 その他	水道施設更新事業	上下水道部	工務課 配水管布設替延長	m	+	布設総延長	工事集計表.xlsx(香芝市)	単年	活動指標 2.45	1,807	2,308	600 1,	256 54.4% 41.	9% 1.267.0	234 1,946	153.6% 64.9%	2461 800		3.00	2.0	-								•
28 その他	水道施設更新事業	上下水道部	工務課 鉛製給水管布設替率	%	-	減少鉛製給水管/給水戸数	工事集計表.xlsx(香芝市)	累計	活動指標 3.6	6 3.4	3.3	3.3	3.3 100.0% 9.7	7% 3.1	3.2 3.1	100.0% 16.1%	3.0 3.0		0	5	-								•
28 その他	水道施設更新事業	上下水道部	工務課 配水管路の耐震化率	%	+	耐震管延長/配水管路延長	工事集計表.xlsx(香芝市)	累計	活動指標 5.9	9 6.5	7.6	6.7	7.3 96.1% 44.	.2% 8.2	7.7 8.1	98.8% 49.1%	9.1 8.4		16	5	-								•
28 その他	水道施設更新事業	上下水道部	工務課 有収率	%	+	年間有収水量/年間総配水量	香芝市水道事業決算書	単年	成果指標 94	4 96	95	90	92 96.8% 97.	94.0	- 95.7	101.8% 101.8%	94.0 -		94	0	-								•
29 その他	公共下水道管渠整改築 事業	上下水道部	下水道課 下水道施設が起因する道路上で事故発 生件数	件	-	維持 下水道施設が起因する道路上での事故外 件数	生下水道課	単年	成果指標 (0 0	0	0	o –	- 0.0	0 0		0 0		0	0									•
29 その他	水洗化促進事業	上下水道部	下水道課 下水道の新規接続件数	件	+	下水道の新規接続件数	下水道課	単年	活動指標 425	5 539	560	306 5	89.3% 83.	3% 550.0	253 450	81.8% 75.0%	550 247		600	.0									•
29 その他	下水道維持管理事業	上下水道部	下水道課 異物流入によるマンホールポンプ緊急 対応件数	件	-	減少 緊急工事件数	下水道課	単年	活動指標 3	3 0	0	0	2 33.3% 33.	3% 0.0	0 1	— 66.7%	0 0		0	0									•
30 その他	総合計画進行管理事業	企画部	企画政策課都市経営市民会議開催数	0	+	都市経営市民会議の年間開催数	企画政策課	単年⊠	活動指標	3 4	3	1	2 66.7% 66.	.7% 3.0	1 3	100.0% 100.0%	3 1		3	0	-								0
30 その他	公有財産維持管理事業	総務部	管財課 施設更新等検討箇所数	件	+	施設更新等の検討をした施設数【累計値】	個別施設計画	累計	活動指標(0 0	1	0	3 300.0% 75.	.0% 4.0	5 5	125.0% 125.0%	5 5		4	0	-								•
30 その他	公有財産維持管理事業	総務部	管財課 未利用地活用箇所数	件	+	未利用地の活用を検討した物件数【累計化	直] 固定資産台帳	累計	活動指標 (0 0	0	1	1 100.0% 50.	.0% 1.0	1 1	100.0% 50.0%	2 2		2	0	-								•
31 その他	ふるさと寄附金事業	企画部	企画政策課 返礼品目数	8	+	ふるさと納税返礼品数(毎年度未時点) ※募集時期限定品や一時品切れ中の品もむ	ふるさと納税現況調査(総務省)における報告	累計	活動指標 248	8 257	280	272 2	63 93.9% 75.	.1% 300.0	277 350	116.7% 100.0%	400 387		350	.0	-							•	
31 その他	ふるさと寄附金事業	企画部	企画政策課 返礼品協力事業者数	件	+	ふるさと納税協力事業者登録件数(毎年 末時点)	度 ふるさと納税事業者台帳(企画政策課)	累計	活動指標 4	1 48	55	51	53 96.4% 75.	7% 60.0	55 60	100.0% 85.7%	65 65		70	0	-							•	
31 その他	ふるさと寄附金事業	企画部	企画政策課 PR及び発信回数	D	+	ふるさと納税(企業版ふるさと納税を含ま に関する市ホームページ周知、Faceboo 投稿、イベント実施などの活動回数	3) は がるさと納税PR活動管理シート(企画政策 課)	単年図	活動指標	5 7	7	7	11 157.1% 110	0.0% 8.0	5 13	162.5% 130.0%	10 4		10	0	_							•	
31 その他	市民税・固定資産税の課 税適正化事業	財務局	税務課 未申告者にかかる申告書提出件数	件	+	未申告者のうち、申告書の提出を受けた		単年	成果指標 1,20	0 986	1,000	650 8	98 89.8% 74.	.8% 1.000.0	332 346	34.6% 28.8%	1000 698		1.20	0.0	-								0
31 その他	市民税・固定資産税の課 税適正化事業	財務局	税務課 未評価家屋にかかる新規課税件数	件	+	未評価家屋にかかる新規課税	決算資料	単年	成果指標 15	5 25	30	22	45 150.0% 75.	.0% 50.0	19 31	62.0% 51.7%	50 10		60	0	-								0
31 その他	自主納付推進事業(税)	財務局	納稅促進課 差押件数(現年分)	件	+	現年分の差押件数を計上	課内資料	単年図	活動指標 89	9 60	100	12	65 65.0% 62.	5% 80.0	11 69	86.3% 66.3%	30 4		104	0	-								0
31 その他	滞納整理適正化事業 (税)	財務局	約稅促進課 差押件数	件	+	差押件数を計上	課内資料	単年図	活動指標 198	8 290	300	58 1	59 53.0% 53.	.0% 150.0	50 141	94.0% 47.0%	100 15		300	.0	_								0
31 その他	滞納整理適正化事業(保 険料)	健康部	保険料収納課 国民健康保険料収納率(滞納分)	%	+	収納額/滞納分調定額	公会計システム(TASK)	単年	成果指標 29.7	7 32.4	33.3	16.5 28	8.59 85.9% 85.	.6% 33.3	16.19 26.69	80.2% 79.9%	33 14.3		33	4	0	12市 1	2 2						0
31 その他	自主納付推進事業(保険料)	健康部	保険料収納課 国民健康保険料口座振替利用者率	%	+	現年度分保険料口座振替による納付件数 現年度分保険料(普通徴収)件数	源内資料	単年	成果指標 38.0	38.6	39	29.5 39	0.67 94.0% 91.	6% 39.0	28.8 43.82	112.4% 109.6%	44 32.3		40	0	-								0
31 その他	滞納整理適正化事業(保 険料)	健康部	保険料収納課 後期高齢者医療保険料収納率(滞納分)	%	+	収納額/滞納分調定額	公会計システム(TASK)	単年	成果指標 33.6	6 34.5	34.5	21.3 2	7.7 80.3% 79.	.1% 34.5	11.91 23.09	66.9% 66.0%	35 15.6		35	0	0	12市 10	7 8						0
31 その他	自主納付推進事業(保険料)	健康部	保険料収納課 後期高齢者医療保険料収納率(現年分)	%	+	収納済額/調定額	課内資料	単年	成果指標 99.6	6 99.7	99.7	50.7 99	0.69 100.0% 99.	9% 99.8	46.39 99.55	99.7% 99.7%	99.7 50.8		99	8	0	12市 9	7 10						0
31 その他	自主納付推進事業(保険料)	健康部	保険料収納課後期高齢者医療保険料口座振替利用者率	%	+	現年度分保険料口座振替による納付件数 現年度分保険料(普通徴収)件数	沙 澳内資料	単年	成果指標 54.2	2 53.9	53.9	43.7 53	3.84 99.9% 99.	7% 53.9	39.2 51.17	94.9% 94.8%	54 38.5		54	0	_								0
31 その他	自主納付推進事業(保険料)	健康部	保険料収納課 介護保険料収納率(現年分)	%	+	収納済額/調定額	課內資料	単年	成果指標 99.4	4 99.6	99.5	50 99	0.55 100.1% 99.	9% 99.7	50.89 99.59	99.9% 100.0%	99.7 50.4		99	6	0	12市 3	3 3						0
31 その他	滞納整理適正化事業(保 険料)	健康部	保険料収納課 介護保険料収納率(滞納分)	%	+	収納額/滞納分調定額	公会計システム(TASK)	単年	成果指標 25.8	8 31.4	31.4	13.2 2	1.28 67.8% 67.	.6% 31.4	14.39 24.13	76.8% 76.6%	31 12.2		31	5	0	12市 1	1 4						0

指標	311										R	1 R2			R3			R4			R5				R6			県内順位(「奈	奈良いちへ!!」)			*	総合戦略における位置づけ	
											1	美積値	目標値	中間値	上積値 目標達	成度	標値 中間値	実績値	目標達成度	目標値 中間	位 実績値	目標達成度	目標値	中間値	実績値 目標達成度	_	範囲		順位		備考		基本目標	位置付け
施策 No.	評価種別	評価対象名	担当部局	担当所属	指標名	単位	評価の方向	イナス指 駅の種別 算出方法(指標説明)	データの出典	単年・ 累計	指標の 種類 (年度	(年度末)		(9月末) (5	年度末) (当該 年度比)	(R6年度 比)	(9月末)	(年度末) (当	湖族 (R6年度 肚) 比)	(9月:	末) (年度末)	(当該 年度比) 比	年度	(9月末)	(年度末) (当該 年度比) (R6年) 比)	把握の 可否	(39市 町村・R1 12市)	R2	R3 R4	R5 R6		(1)稼ぐ・ 雇用	(2)つなが り・ひとの 流れ (3)結婚・ 出産・子育 て (4)魅力	,
																											12中)			+		+	mai C	_
31	その他	自主納付推進事業(保険 料)	健康部	保険料収納課	介護保険料口座振替利用者率	%	+	現年度分保険料口座振替による納付件数/ 現年度分保険料(普通徴収)件数	源内資料	単年 原	成果指標 25.	.1 25.1	25.1	19.7 2	5.36 101.0%	100.2% 2	25.5 19.2	24.83 97.	.4% 98.1%	25 16.	.5		25.3			-								0
32	その他	広報紙発行事業	企画部	秘書広報課	SNSでの発信回数	件	+	広報紙発行に関するSNSでの投稿件数	[04 データ統計]Facebook統計	単年図 治	舌動指標 2	3 23	23	12	23 100.0%	100.0% 2	23.0 12	23 100	0.0% 100.0%	23 13	2		23.0								広報紙発行回数(お知らせ版11回、広報かしば12回の計23回)を目標値としている。			0
32	その他	広報及び報道機関連携 事業	企画部	秘書広報課	LINEのお友達数	Д	+	本市が運営するLINEのお友達数の合計	【04 データ統計】LINE統計	単年◎ ♬	成果指標	0 1,690	15,000	24.945 3	0.058 200.4%	76.3% 31	1.500.0 31,803	32.969 104	1.7% 83.7% 3	33.61	16		39,400.0								人口(R4.4月末時点78,803人 に対する登録数の割合を、R3末 の38.1%から、R6年度までに5 0%(39,400人)に引き上げるこ		•	
32	その他	ICT活用事業	企画部	ICT推進課	電子申請可能な手続・申込数	件	+	電子申請システムによる電子申請手続件数	電子申請システム	単年	舌動指標 2	8 33	35	56	100 285.7%	250.0%	50.0 90	150 300	0.0% 375.0%	150 13	34		40.0			_					令和6年度目標について見直し (上方修正)。			0
32	その他	ICT活用事業	企画部	ICT推進課	AIチャットボット登録質問数	件	+	AIチャットボットに登録されている質問数	AIチャットボット	累計	舌動指標	0 2,026	2,050	2,150 2	,149 104.8%	97.7% 2.	200.0 2,204	2,236 101	1.6% 101.6% 2	.300 2.77	74		2.200.0			_								0
32	その他	情報セキュリティ対策事 業	企画部	ICT推進課	ウイルス検出数	件	-	維持ウイルス検出数	ウイルスパスター管理サーバー	単年⊠ %	舌動指標	0 2	0	0	2 –	-	0.0 1	1		0	0		0.0			-					R01実績値に誤記があったため、 修正させていただきます。			0
33	その他	人事評価適正化事業	企画部	人事課	評価指標細分化進捗率	率	+	細分化指標の作成進捗率(毎年度末)	細分化指標作成工程表(Excel)	単年⊠ 湯	舌動指標 -	- -	70	70	70 100.0%	70.0% 8	80.0	80 100	0.0% 80.0%	80 8	30		100.0			-								0
33	その他	研修推進事業	企画部	人事課	調査実施回数	0	+	調査実施回数(毎年度未時点)	研修管理ファイル(Excel)	単年⊠ 湯	舌動指標	0 0	1	0	1 100.0%	100.0%	1.0 0	1 100	0.0% 100.0%	1	0		1.0			-								0
33	その他	超過勤務時間数逓減推進事業	企画部	人事課	超過勤務時間数調査	0	+	調査回数(毎年度末時点)	超過勤務時間数調査ファイル(Excel)	単年図 治	舌動指標 -	- 12	12	6	12 100.0%	100.0%	12.0 6	12 100	0.0% 100.0%	12	6		12.0											0
33	その他	ヒアリング調査事業	企画部	人事課	ヒアリング調査件数	件	+	ヒアリング調査件数(毎年度末時点)	ヒアリング記録簿(Excel)	単年図 治	舌動指標 -	7	8	0	10 125.0%	100.0%	10.0 0	4 40.	.0% 40.0%	10	0		10.0			_								0